文部科学省 平成24年度
「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」選定事業

平成28年度 活動報告書

順天堂大学
島根大学
鳥取大学
岩手医科大学
東京理科大学
明治薬科大学
立教大学

文部科学省　平成 24 年度

「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」

選定事業

平成 28 年度活動報告書

順天堂大学

島根大学

鳥取大学

岩手医科大学

東京理科大学

明治薬科大学

立教大学

目　次

第 1 編　**事業概要報告（平成 28 年度）**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

1. 事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

1-1　参加大学名（設置者名）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

1-2　プログラム名 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

1-3　事業名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

1-4　本事業の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

第 2 編　**本年度開講コース**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

1. 本年度開講コース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

1-1　順天堂大学 次世代先導的がん研究者養成コース ・・・・・・・・・・・・・・・6

1-2　順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース（インテンシブ）・・・・・・7

1-3　島根大学 地域がん専門医育成コース ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

1-4　島根大学・鳥取大学 山陰がん認定医療スタッフ育成コース（インテンシブ）・・・9

1-5　鳥取大学 がん看護専門看護師養成コース・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

1-6　鳥取大学 がん看護認定看護師養成コース・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

1-7　岩手医科大学 緩和ケア地域連携を支援する指導的医療人育成コース・・・・・・12

1-8　岩手医科大学 先導的がん臨床研究に精通した医療人育成コース（インテンシブ）13

1-9　東京理科大学 がんシステム・創薬研究者養成コース・・・・・・・・・・・・・14

1-10 明治薬科大学 がん薬物療法のファーマシー・サイエンティスト養成教育コース　15

1-11 立教大学 医学物理研究コース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

1-12 がんに特化した講座の設置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

第 3 編　**平成 28 年度の取り組み**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

1. 外部評価委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

1-1　がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン外部評価委員会・・・・・・・・・・20

2. シンポジウム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

2-1　がんプロ研究シンポジウム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

2-2　がんプロ国際シンポジウム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27

2-3　がんプロ研究シンポジウム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30

2-4　がんプロ地域シンポジウム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32

2-5　がんプロ市民公開シンポジウム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34

3. ワークショップ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38

3-1　連携 7 大学ＦＤ研修会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38

3-2　臨床研究研修会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45
4. 各大学企画講座 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53
4-1　順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース（インテンシブ）
【医師・研究者向け講義】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53
4-2　順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース（インテンシブ）
【医学物理・放射線関係講義】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・55
4-3　順天堂大学 企画講座
「高校生セミナー 顕微鏡の世界 －正常細胞とがん細胞の違いー」・・・・・・・・56
4-4　順天堂大学 企画講座「クローナル造血の臨床的意義」・・・・・・・・・・・・ 59
4-5　順天堂大学 企画講座「全国がんプロ e-learning クラウド受講講習会」・・・・・61
4-6　順天堂大学 企画講座「“Updated Fluid-Mosaic Membrane Model and the Use of Membrane Lipid Replacement for Chronic Illnesses and Cancer”」・・・・・63
4-7　順天堂大学 企画講座「“Understanding human disease pathogenesis using genomics approaches”」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・65
4-8　順天堂大学 文京区立小学校・中学校でのがん教育講演・・・・・・・・・・・・67
4-9　順天堂大学 さくらキャンパスでのがん教育・・・・・・・・・・・・・・・・・68
4-10 順天堂大学 講習会「小学校段階で必要ながん教育の在り方を考える」・・・・・69
4-11 順天堂大学 宇宙服アートプロジェクト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・71
4-12 順天堂大学 難病の診断と治療研究センター糖鎖創薬研究室
開設記念シンポジウム「糖鎖創薬：臨床からの期待」・・・・・・・・・・・・・73
4-13 順天堂大学 公開シンポジウム『がん教育』について考える・・・・・・・・・・75
4-14 順天堂大学 キャンサーボード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・77
4-15 順天堂大学 ＳＲＥカンファレンス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・82
4-16 島根大学・鳥取大学
山陰がん認定医療スタッフ育成コース（インテンシブ）夏季セミナー・・・・・84
4-17 島根大学・東京理科大学 トランスレーショナルリサーチセミナー・・・・・・・89
4-18 島根大学 平成 28 年度 緩和ケア市民公開講座
「つながる、緩和ケア～がんと診断された時から在宅まで切れ目なく～」 ・・・91
4-19 島根大学 江津市民公開講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・93
4-20 島根大学 川合小学校がん教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・95
4-21 島根大学 企画講座「神在りの圀 がんメディカルカフェ」 ・・・・・・・・・・98
4-22 島根大学 企画講座「患者さんと家族のためのセミナー」・・・・・・・・・・・99
4-23 島根大学 企画講座「メディカルオンコロジスト養成気管支鏡
ハンズオンセミナー」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・100
4-24 島根大学 企画講座「第 3 回 島根呼吸器診療スキルアップセミナー」・・・・・101

4-25 島根大学 企画講座「日本臨床腫瘍研究グループ（JCOG）および
国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）長島班の病院見学 ・・・・・102
4-26 島根大学 企画講座（後援事業一覧） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・103
4-27 鳥取大学 平成 28 年度がん医療セミナー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・106
4-28 鳥取大学 市民公開講座「きっと思います。こんな風に死にたい。」 ・・・・・108
4-29 鳥取大学 企画講座「鳥取大学医学部付属病院がんセミナーICT」・・・・・・・110
4-30 岩手医科大学 がんプロセミナー「本邦における臨床研究の現状と展望」 ・・・114
4-31 岩手医科大学 講演会「肺癌治療における緩和ケアの重要性」 ・・・・・・・・116
4-32 岩手医科大学 臨床研究セミナー
「-臨床研究プロトコールの作り方、初心者、中級者を対象に-」・・・・・・・118
4-33 岩手医科大学 キッズキャンサーセミナー ・・・・・・・・・・・・・・・・・120
4-34 岩手医科大学 市民公開講座「知っ得、なっ得、乳がんの“いろは”」・・・・・ 123
4-35 岩手医科大学 肺癌国際シンポジウム
～地域から首都圏、そしてアジアまで俯瞰する肺がん研究 2016～ ・・・・・・125
4-36 岩手医科大学 講演会「病理診断」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 129
4-37 岩手医科大学 講演会「婦人科がんに対する妊孕性温存治療の現状と課題」・・ 131
4-38 岩手医科大学 講演会 「頭頸部悪性腫瘍に使用される分子標的薬の実際
－効果と副作用、臨床における役割と展望－」・・・・・・・・・・・・・・・133
4-39 岩手医科大学 講演会
「大腸がんの予防-内科的・外科的治療および予防法について-」・・・・・・ 135
4-40 岩手医科大学 腫瘍センター講演会「がんのゲノム医療実現に向けて」・・・・ 137
4-41 岩手医科大学 国際シンポジウム「今後の国際共同試験のあり方について」・・ 139
4-42 岩手医科大学 講演会「若年乳がん患者における妊孕性の温存」・・・・・・・ 142
4-43 岩手医科大学 腫瘍センター講演会「がん薬物療法の曝露対策の現状と課題」・ 144
4-44 岩手医科大学 高校生キャンサーセミナー・・・・・・・・・・・・・・・・・ 146
4-45 東京理科大学 企画講座「第 32 回 薬学講座」・・・・・・・・・・・・・・・ 148
4-46 東京理科大学 企画講座「がんチーム医療と臨床試験」・・・・・・・・・・・ 150
4-47 明治薬科大学 講演会「Clinical Competency of Pharmacists impacting the
Care of Oncology Patients」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 151
5. 連携大学ＩＣＴ特別講義・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・152
5-1 連携大学 ICT 特別講義
『Hematology/Oncology Clinical Pharmacy Practice in the USA』・・・・ 152
5-2 連携大学 ICT 特別講義
『Molecular Pathogenesis and Oncotarget in Pancreatic Tumor. 』
『Recent Updates in Lung Cancer』・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 154
5-3 連携大学 ICT 特別講義『がんチーム医療における薬剤師』・・・・・・・・・・156

5-4 連携大学 ICT 特別講義
『日本における医薬品開発の現状と課題、医薬品審査の観点から』・・・・・・158
5-5 連携大学 ICT 特別講義
『がんプロによって構築された地域連携と生涯教育の将来展望』・・・・・・・160
5-6 連携大学 ICT 特別講義『高齢者のがん薬物療法の現状と課題』・・・・・・・・・162
6. 共同カンファレンス等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・164
6-1 がんプロ乳腺臨床・研究 TV カンファレンス・・・・・・・・・・・・・・・・・164
6-2 がんプロ放射線 TV カンファレンス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・166
6-3 がんプロ薬剤師関連カンファレンス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 167
6-4 がんプロ共同研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 168
6-5 がんプロ海外研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 170
7. ニュースレター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・172
7-1 ニュースレター第 17 号・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・172
7-2 ニュースレター第 18 号・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・176
7-3 ニュースレター第 19 号・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・182
7-4 ニュースレター第 20 号・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・186

第 4 編 各委員会議 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・193
1. 運営連絡会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・194
1-1 がんプロ連携 7 大学運営連絡会（28-1）・・・・・・・・・・・・・・・・・・194
1-2 がんプロ連携 7 大学運営連絡会（ＴＶ会議）（28-2） ・・・・・・・・・・・・ 195
1-3 がんプロ連携 7 大学運営連絡会（28-3）・・・・・・・・・・・・・・・・・・196
1-4 がんプロ連携 7 大学運営連絡会（28-4）・・・・・・・・・・・・・・・・・・197
1-5 がんプロ連携 7 大学運営連絡会（28-5）・・・・・・・・・・・・・・・・・・198
1-6 がんプロ連携 7 大学運営連絡会（ＴＶ会議）（28-6）・・・・・・・・・・・・ 198

第１編

事業概要報告（平成28年度）

1. 事業の概要

1-1　参加大学名（設置者名）

順天堂大学大学院 医学研究科

学校法人順天堂（東京都文京区本郷 2 丁目 1 番 1 号）

学長　　新井　一（事業推進代表者）

島根大学大学院 医学系研究科

国立大学法人島根大学（島根県松江市西川津町 1060）

学長　　服部 泰直

鳥取大学大学院 医学系研究科

国立大学法人鳥取大学（鳥取県鳥取市湖山町南 4 丁目 101）

学長　　豊島 良太

岩手医科大学大学院 医学研究科

学校法人岩手医科大学（岩手県盛岡市内丸 19-1）

理事長　　小川 彰

東京理科大学大学院 薬学研究科

学校法人東京理科大学（東京都新宿区神楽坂 1 丁目 3 番地）

理事長　　中根 滋（～平成 27 年 9 月 16 日）

本山 和夫（平成 27 年 9 月 17 日～）

明治薬科大学大学院 薬学研究科

学校法人明治薬科大学（東京都清瀬市野塩 2 丁目 522 番地 1 号）

理事長　　奥山　徹

立教大学大学院 理学研究科

学校法人立教学院（東京都豊島区西池袋 3 丁目 34 番 1 号）

総長　　吉岡 知哉

1-2　プログラム名

文部科学省　平成 24 年度　「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」

1-3　事業名称

ＩＣＴと人で繋ぐがん医療維新プラン

1-4　本事業の概要

順天堂大学はがん専門医療者の養成を行い、がん医療の底上げに貢献してきた。今後は、全国のがん患者に均等に医療者養成の成果を還元し得る臨床の連携、基礎と臨床が協働する医薬看理工連携が課題である。従来、地方と首都圏大学との人材交流は少なく、地方のがん医療人養成はマンパワーに問題があった。本プランでは、本学及び連携医科系大学と非医科系大学を ICT と循環型人材交流で結び、地域から世界まで、さらに基礎から臨床まで俯瞰するがん研究者・医療人の養成を目的とする。具体的には（1）順天堂大学に先導的がん医療開発研究センターを整備し、これを拠点とし、(2) 東京理科大学・明治薬科大学・立教大学との共同橋渡し研究の体制整備と実施、(3) 島根大学、鳥取大学、岩手医科大学の構築するコンソーシアムと理薬工学系大学を ICT と人材交流で繋ぎ、臨床・研究・教育に一気に風穴をあける平成のがん医療維新を引き起こしたいと考えている。

第２編

本年度開講コース

1. 本年度開講コース

1-1　順天堂大学
次世代先導的がん研究者養成コース

大学名等	順天堂大学大学院医学研究科医学専攻（博士課程）
コースの名称	次世代先導的がん研究者養成コース
養成する専門分野	がん研究医
コースの開始時期／修業年限（期間）	平成２５年４月／４年
コースの履修対象者	医学研究科医学専攻（博士課程）大学院生
養成する人材像	地域から世界まで俯瞰する力を持ち、高度な研究能力を有する次世代がん研究者の養成をおこなう。
期待される成果や効果（アウトカム）	がん臨床の専門家と研究者のもとでの研修（演習・実験実習・研究指導等）に加え、連携大学とのテレビ会議等を利用した講義や合同の研究カンファレンスに参加することにより、履修者・国内留学生はトランスレーショナルな研究課題のディスカッション・発表会を行うことができる。 後述の先導的がん医療開発研究センターによる研究コンサルティング等の支援を利用することで、質の高いがんに関する研究の計画立案・計画書作成を行うことが期待できる。また、大学間連携事業（ＩＣＴ特別講義、ＦＤ研修会、臨床研究チーム研修等）にも積極的に参加することにより、連携大学・協力施設等との共同研究に繋がるシーズを発見することが可能となり、質の高い学位論文の公表が見込まれる。さらには、教員同士の人材循環も積極的に促す仕組みを構築することが可能となり、がん臨床研究の質の向上、がん医療の質の向上が期待される。
教育内容の特色等	ＩＣＴ環境を利用した講義・カンファレンス、大学間連携事業（ＦＤ研修会等）により、連携大学との情報交換がより効果的に行われる。また、順天堂大学に新たに整備する「先導的がん医療開発研究センター」による研究支援のもと、履修者はがんの研究プロトコール作成等を効率よく行うことができる。具体的には、基礎データベース活用による研究計画書の制度を上げる支援および、研究デザインに関する検討・統計的側面からの支援を受けることが可能である。また、連携大学および協力施設との共同研究計画についても、当該センターがＩＣＴを積極的に活用し、連携のコーディネートを行うことで、共同研究計画の立案・作成がより円滑になる。

養成人数

年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
募集人員	0	5	5	5	5	20
受入目標人数	0	5	5	5	5	20
受入実績	0	12	16	16	11	55

1-2　順天堂大学
次世代先導的がん専門医療人養成コース（インテンシブ）

大学名等	順天堂大学大学院医学研究科医学専攻
コースの名称	次世代先導的がん専門医療人養成コース（インテンシブ）
養成する専門分野	がん治療
コースの開始時期／修業年限（期間）	平成２５年４月／1年間（20講義）
コースの履修対象者	医師、薬剤師、看護師、その他メディカルスタッフ
養成する人材像	がん診療の最前線を学ぶとともに、基本的ながん臨床・基礎研究を理解できる次世代がん専門医療人を養成する。また、地域がん医療の現状や医師不足・地域定着化への連携を理解できるメディカルスタッフを育成する。
期待される成果や効果（アウトカム）	がん診療に関わる医療人の質の底上げが可能になる。がん研究や地域におけるがん医療の現状を理解することにより、日本、特に東京都・千葉県・静岡県の離島過疎地区におけるがんの地域医療の均てん化が是正される。
教育内容の特色等	基礎研究の成果をがん患者の診療の現場に活かすために、臨床に視点においた大学院レベルの基礎教育を実施する。ＩＣＴ（ＴＶ会議やe-learning）も活用し、地域がん医療の現状・国際的ながん医療を学ぶ。

養成人数

年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
募集人員	0	20	20	20	20	80
受入目標人数	0	10	10	10	10	40
受入実績	0	43	9	112	47	211

1-3 島根大学
地域がん専門医育成コース

大学名等	島根大学大学院医学系研究科医科学専攻
コースの名称	地域がん専門医育成コース
養成する専門分野	がん化学療法
コースの開始時期／修業年限（期間）	平成25年4月／4年
コースの履修対象者	大学院医学系研究科医科学専攻博士課程　大学院生
養成する人材像	地域のがん医療の均てん化を図るために、地域に多い高齢者がん医療に精通し、地域連携を推進し、地域貢献のマインドを有する全人的ながん診療専門医を養成すると共に、リサーチマインドを有し、臨床試験を計画し、山陰地区からエビデンスを発信できる能力を育成する。
期待される成果や効果（アウトカム）	山陰におけるがん診療医師不在、不足の解消と地域への定着化を促進し、県民が安定したがん医療の提供を受けることを可能とする。
教育内容の特色等	がん診療の基本、治療の適応と禁忌を知り、診療ネットワークの構築について学ぶと共にトランスレーショナルリサーチ、臨床試験についての演習を含む教育内容とする。

養成人数

年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
募集人員	0	3	3	3	3	12
受入目標人数	0	3	3	3	3	12
受入実績	0	1	1	0	3	5

1-4 島根大学・鳥取大学
山陰がん認定医療スタッフ育成コース（インテンシブ）

大学名等	島根大学大学院医学系研究科医科学専攻 （鳥取大学大学院医学系研究科医学専攻）
コースの名称	山陰がん認定医療スタッフ育成コース（インテンシブ） （鳥取大学との合同事業）
養成する専門分野	地域がん認定医療
コースの開始時期／修業年限（期間）	平成24年10月／1年
コースの履修対象者	地域の医師、薬剤師、看護師、その他メディカルスタッフ
養成する人材像	山陰地区の日常的がん治療水準向上を目指し、その共通基盤となる臨床腫瘍学の知識・基本技術に習熟し、医療倫理に基づいたがん治療を実践する優れた医師及びメディカルスタッフを養成する。
期待される成果や効果（アウトカム）	山陰地区におけるがん診療医師及びメディカルスタッフ（看護師、薬剤師、臨床検査技師（細胞診検査、超音波検査）など）の地域偏在の解消と地域への定着化を促進し、最新がん医療の学び直しを行うことで、県民が安定したがん医療の提供を受けることを可能とする。
教育内容の特色等	地域がん診療ネットワークの強化と山陰地区全体のがん医療の均てん化を図る。臨床腫瘍学の基礎知識、画像診断、がん化学療法、外科治療、集学的治療、緩和医療など幅広いトピックスを公開講座形式で随時開講する。一部の講義はeラーニングシステムを利用して受講することも可能とする。

養成人数

年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
募集人員	15	15	15	15	15	75
受入目標人数	15	15	15	15	15	75
受入実績	16	26	15	18	15	90

1-5 鳥取大学
がん看護専門看護師養成コース

大学名等	鳥取大学大学院医学系研究科看護学専攻						
コースの名称	がん看護専門看護師養成コース						
養成する専門分野	がん看護専門看護師						
コースの開始時期/修業年限（期間）	平成27年4月／2年						
コースの履修対象者	臨床看護経験が5年以上およびがん看護経験が3年以上ある者で本学大学院医学系研究科看護学専攻博士前期課程（がん看護専門看護師コース）に入学した者。						
養成する人材像	がん看護分野、特に化学療法と緩和ケアの分野において、実践、教育、相談、調整、研究、倫理において卓越した知識・技能を持つ者。						
期待される成果や効果（アウトカム）	がん看護専門看護師が絶対的に不足している山陰両県において、幅広くがん看護の質が向上するとともに、がんに関わる認定看護師の育成が期待される。地域医療における外来化学療法および緩和医療において、患者管理や看護実践に対する教育やコンサルテーションが可能となる。						
教育内容の特色等	がん全般の知識・技術を習熟し、地域医療に活かせる化学療法看護および緩和ケア看護を重点的に教育する。						
がん看護専門看護師 養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員				2	2	4
	受入目標人数				2	2	4
	受入実績				1	1	2

1-6 鳥取大学

がん看護認定看護師養成コース

大学名等	鳥取大学大学院医学系研究科看護学専攻						
コースの名称	がん看護認定看護師養成コース						
養成する専門分野	①認定看護師（がん化学療法看護） ②認定看護師（乳がん看護）						
コースの開始時期/修業年限（期間）	①平成24年9月／7ヶ月 ②平成26年9月／7ヶ月						
コースの履修対象者	①臨床看護経験が5年以上および、がん化学療法の臨床経験が3年以上ある者で、本学の定める入学試験に合格した者。 ②臨床看護経験が5年以上および、乳がん看護の臨床経験が3年以上ある者で、本学の定める入学試験に合格した者。						
養成する人材像	①がん化学療法看護に関して卓越した技能を有する者。本コース終了後、看護協会で定める認定看護師認定審査に受験・合格可能な者。 ②乳がん看護に関して卓越した技能を有する者。本コース終了後、看護協会で定める認定看護師認定審査に受験・合格可能な者。						
期待される成果や効果（アウトカム）	①がん化学療法認定看護師が絶対的に不足している山陰両県において、がん化学療法に対する知識、技能を習得し、がん患者とのコミュニケーションがスムーズにできる看護師が養成せれることによって、外来がん化学療法の治療環境が良くなり、がん化学療法実施による副作用等のリスクが少なくなる。 ②乳がん看護認定看護師が絶対的に不足している山陰両県において、乳がんに対する知識、技能を習得し、がん患者とのコミュニケーションがスムーズにできる看護師が養成されることによって、患者に対する適切なアセスメントを行い、集学的治療及び治療に伴う副作用への専門的ケアとセルフケア確立に向けた指導・相談ができる能力が備わり、乳がん看護の質向上を図ることができる。						
教育内容の特色等	①がん化学療法の知識、技能およびコミュニケーション能力の向上により、患者の異変に対する早期発見・早期対処が可能となる。また、自らの実践力を向上させる能力を育成する。 ②乳がんの知識、技能およびコミュニケーション能力の向上により、患者・家族に必要とされる専門的な支援ができる能力を教育する。						
①認定看護師（がん化学療法看護）養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	10	10			10	30
	受入目標人数	10	10			10	30
	受入実績	7	9			6	22
②認定看護師（乳がん看護）養成人数	募集人員			10	10		20
	受入目標人数			10	10		20
	受入実績			4	3		7

1-7 岩手医科大学
緩和ケア地域連携を支援する指導的医療人育成コース

大学名等	岩手医科大学大学院医学研究科医科学専攻・内科系専攻
コースの名称	緩和ケア地域連携を支援する指導的医療人育成コース
養成する専門分野	緩和医療
コースの開始時期／修業年限（期間）	平成２５年４月/修士課程：２年　博士課程：４年
コースの履修対象者	大学院医学研究科医科学専攻応用医科学群　修士課程 大学院医学研究科内科系専攻臨床腫瘍学　博士課程
養成する人材像	がん治療経過中のQOL維持には、地域連携による緩和ケアの持続的な提供が不可欠である。しかし近年の医師不足に加え、先の震災により、東北における緩和ケアの地域連携は各地で壊滅的な打撃を受けた。本コースは、各地域の緩和ケア連携体制の再構築および均てん化を目指し、訪問看護医療も含めた地域ごとの実情に沿った連携システムの整備、ならびに永続的支援を提供するための、各専門職種からなるスキルミクス指向型の指導的医療人育成を目標とする。
期待される成果や効果（アウトカム）	・緩和ケアを含めた、がん治療全般に対する知識、技術を獲得することにより、各種認定資格（がん治療認定医、緩和薬物療法認定薬剤師等）の取得を学術的に支援する。 ・各地域において、緩和ケア医療連携が整備されることにより、居住地によらずがん患者が安定して緩和ケアを受けることが可能となる。
教育内容の特色等	本コースは、「北東北がん医療コンソーシアム」の現場で活動している各医療専門職を主な対象として、緩和ケアについての高度な知識・技術を獲得するとともに、実践的演習を通じて、チーム医療を構成する各職種の専門性を理解し、適切なコミュニケーション、情報の共有方法、およびチームマネジメントの手法を学ぶ。

養成人数

年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
募集人員	0	3	3	3	3	12
受入目標人数	0	3	3	3	3	12
受入実績	0	1	2	1	1	5

1-8 岩手医科大学
先導的がん臨床研究に精通した医療人育成コース（インテンシブ）

大学名等	岩手医科大学大学院医学研究科医科学専攻
コースの名称	先導的がん臨床研究に精通した医療人育成コース（インテンシブ）
養成する専門分野	・ トランスレーショナルリサーチ(TR)マネジメント ・ レギュラトリーサイエンス
コースの開始時期／修業年限（期間）	平成２５年４月/1年間（3単位）
コースの履修対象者	先導的がん医療システム開発コンソーシアム（がん医療イノベーション）の参画者を対象とする。 ・　医師/看護師/薬剤師をはじめとした医療者 ・　医療系/理工系研究者 ・　医薬品・医療機器開発企業担当者
養成する人材像	地域で高品位ながん医療を効率的･経済的に運用するため、医療現場のニーズに応じた医薬品･医療機器の開発を行うため、生命科学あるいは理工系の知識に造詣が深く、TR に精通し、守られるべき患者の権利を尊重する敬虔な医療人の育成する。さらにレギュラトリーサイエンスに精通し、臨床試験を実施できる人材の育成を行う。
期待される成果や効果（アウトカム）	・ 本インテンシブコースの参加者を中心に、３年後を目標として大学院博士課程でのコース設立を目指す。専門家の集うインテンシブコースを設立準備機構として位置づけ、大学院コースに昇華させる。 ・ 人口移動の少ない岩手の地勢メリットを生かし，長期フォローの可能な、世界的にも類を見ないがん研究拠点形成の第一歩と期待される。 ・ 壊滅的な被害を受けた岩手沿岸地域に，先導的ながん医療臨床試験のフロンティアフィールドを整備するために必要な人材が育成され，地域住民の福祉にも直接的に貢献する。
教育内容の特色等	・ 本コースは、異分野の専門職が集い討議するワークショップ形式のプログラムと、TRならびにレギュラトリーサイエンスに係る講義を併用し、地域で先導的がん医療を実践するために必要な知識を習得する全く新しい試みである。 ・ 教育課程では東京理科大学大学院との連携を行う。

養成人数

年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
募集人員	0	5	5	5	3	18
受入目標人数	0	5	5	5	3	18
受入実績	0	6	7	3	9	25

1-9 東京理科大学
がんシステム・創薬研究者養成コース

大学名等	東京理科大学薬学研究科薬科学専攻修士課程
コースの名称	がんシステム・創薬研究者養成コース
養成する専門分野	創薬医科学
コースの開始時期／修業年限（期間）	平成２４年４月/２年
コースの履修対象者	薬学研究科薬科学専攻修士課程　大学院生
養成する人材像	がん研究は、がん遺伝子を基点としたオミックスデータやがん細胞の分子生物学的な研究手法により、がんの複雑さが明らかにされてきてはいるが、まだ十分に御することができないのが現状である。そのため、(1)がん細胞及び制がん剤作用機序を細胞内シグナル伝達系の集積による「システム的統合」として理解し、さらに、(2)がん分子標的薬開発を標的タンパク質の立体構造情報に基づいて理論的に創薬する「in silico 創薬」を理解して、２１世紀のがんゲノム医療を支える研究者を養成することが重要課題となっている。本研究教育コースでは、このような点に焦点を絞り、国際的にも活躍できる優れた創薬研究者を養成する。
期待される成果や効果（アウトカム）	本研究教育コースにより、がん病態やがんシグナルパスウェイからがん分子標的の同定や、制がん剤の作用・副作用機序等を「がん統合システム」として理解し、さらに、コンピュータシミュレーション技術を活用してがん分子標的タンパク質の立体構造を基に理論的な創薬を追及する「in silico 創薬」の重要性を理解した新世代の創薬研究者が輩出されることになる。また、本コースで論理的がん戦略を推進する人材が養成されることによって、現在のがん研究が直面しているがん幹細胞や新規制がん剤開発等に関する様々な難問、限界を飛び越え、我が国のがん研究の水準が飛躍的に向上するとともに、がん医療体制を強化するなどの波及効果が期待される。
教育内容の特色等	従来の教育コースにはなかった以下の学問領域・演習により成る「がんシステム・創薬学」について、順天堂大学医学部及び製薬企業等と実質的な連携体制を構築して実施する。このような研究教育内容はこれまでになく、極めて独創性に富んでいる。 (1)「がんシステム統合学」 がん細胞内の集積回路の解析とその数理モデル作成によって、個々のがん特異的な遺伝障害による集積回路の構造的、機能的変化からがん発症の仕組みや特性を理解することによって、がんをゲノム・エピゲノムからメタボロームまでを一貫したシステムとして捉える。さらに、制がん剤の作用機序も細胞内シグナル伝達系集積システムとして理解する。 (2)「ゲノム創薬科学」 がん遺伝子を基点とした制がん剤開発のためのがん標的タンパク質分子の立体構造情報に基づく理論的創薬手法を理解する。特にがん遺伝子の変異に対応した最適制がん剤を理論的に創成するためのコンピュータシミュレーション技術、副作用や薬剤耐性を克服するための方策を立案する能力を涵養する。 (3)「臨床データ・サンプルを用いた研究技法演習」 順天堂大学医学部と連携し、臨床データやサンプルを用いて上記「がんシステム」、「in silico 創薬手法」、「制がん剤の処方デザイン」などの妥当性・有効性を検証する。このように臨床と直結した研究技法演習を行う。

養成人数

年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
募集人員	3	5	5	5	5	23
受入目標人数	3	5	5	5	5	23
受入実績	10	6	9	8	12	45

1-10　明治薬科大学
がん薬物療法のファーマシー・サイエンティスト養成教育コース

大学名等	明治薬科大学大学院薬学研究科薬学専攻博士課程
コースの名称	がん薬物療法のファーマシー・サイエンティスト養成教育コース
養成する専門分野	薬剤師
コースの開始時期／修業年限（期間）	平成24年4月/4年
コースの履修対象者	薬学研究科薬学専攻博士課程大学院生・科目等履修生
養成する人材像	がん薬物治療の集学的治療に貢献できる国際的な薬学知識と研究能力をもつ優れたファーマシスト・サイエンティスト(pharmacist scientist)を養成する
期待される成果や効果（アウトカム）	• がん薬物療法における薬剤師の貢献に高度な学術的内容を付加できる • 薬剤師の治療評価診断能力を養成出来る • 社会人大学院生を積極的に受け入れ、がん医療に関わる薬剤師の教育および研究指導者を養成できる • 欧米大学との教育連携により国際的レベルの臨床薬剤師育成教育ができる • 社会人大学院学生に対して各種学会（医療薬学会、臨床薬理学会等）の認定専門薬剤師取得を学術的に支援できる
教育内容の特色等	• 臨床現場で活躍する薬剤師を社会人大学院生として積極的に受け入れ、教育・学術研究能力を育成する • 学内および順天堂大学の専門医によるフィジカルアセスメント教育プログラム創設 • 教育連携を実施している欧米３大学および順天堂大学医学部から教員を招聘し、日米欧教育シンポジウムと短期集中がん薬物療法教育プログラムを実施する

養成人数

年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
募集人員	2	3	3	3	3	14
受入目標人数	2	2	2	2	2	10
受入実績	5	3	7	8	7	30

1-11 立教大学
医学物理研究コース

大学名等	立教大学理学研究科物理学専攻						
コースの名称	医学物理研究コース						
養成する専門分野	医学物理士						
コースの開始時期／修業年限（期間）	平成24年4月/3年						
コースの履修対象者	理学研究科物理学専攻大学院生（後期課程）						
養成する人材像	放射線の本質を理解し、最先端の放射線計測技術の成果を臨床現場のニーズに合わせて活用できる能力を有する医学物理研究者及び医学物理士						
期待される成果や効果（アウトカム）	・がん治療時のリアルタイムでの照射量測定技術の開発 ・高精度がん治療における品質保証の向上 ・臨床現場と放射線技術開発の密接な連携強化 ・福島原発事故からの復興に関わる保健物理への貢献						
教育内容の特色等	・臨床現場に身を置き、現場ニーズにあった放射線制御およびモニター装置の開発等研究開発能力を備えた博士の育成。						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	2	2	2	3	3	12
	受入目標人数	1	1	1	2	2	7
	受入実績	1	2	0	0	2	5

1-12　がんに特化した講座の設置

順天堂大学大学院 医学研究科
順天堂大学医学部 腫瘍内科学研究室

悪性腫瘍は国民の死亡原因の第1位を占め、その治療成績の向上は、我が国の医療における最大の課題であります。そのため、がん対策基本法においても専門的な知識及び技能を有する医師その他の医療従事者の育成を図る事が求められています。

がんは遺伝子の構造異常により生じる病気であるため、同一の遺伝子異常が複数の臓器がんの原因となっていることも稀ではないことから、次代のがん医療従事者はがんという疾患について臓器横断的に俯瞰する視点を持つ必要があります。腫瘍内科学研究室は、臓器別に理解されている知識を有機的に結びつけ、がん細胞の分子生物学的特性というミクロのレベルから、実際の患者の発癌、転移などの臨床的病態の理解および治療というマクロレベルまで、深い洞察力を持った若い医師の育成のために、がんに特化した講座として新設されました。

臨床腫瘍学（腫瘍内科学）に関する卒前教育（医学教育）・卒後教育（大学院生に対する研究、論文指導）、研修医指導などの教育活動のほか、化学療法小委員会やキャンサーボードなど診療科連携などがん治療センターの運営支援、さらには先導的医療開発センターと共同した連携大学間の研究支援活動などを行っております。

順天堂大学大学院 医学研究科
順天堂大学医学部 緩和医療学研究室

緩和医療学研究室は、自然科学と人間科学を統合した緩和ケア学の確立と教育・実践、緩和医療医養成、緩和ケアに関心を有する医療従事者の育成、緩和ケア領域における臨床研究を行うことを目的としています。

本研究室では、附属病院に設置された緩和ケアセンターの運営に携わっています。ペインクリニック医師、メンタルクリニック医師、整形外科医師、専門・認定看護師、臨床心理士、薬剤師、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、医療ソーシャルワーカーなどで構成される緩和ケアのチーム医療を通じ、病を抱えながら過ごす患者さん（主にがんの患者さん）とそのご家族に対し、希望を大切に充実した豊かな人生を「生きること」を支援します。多職種間のコミュニケーションを重視したチーム医療を通じて、がん専門医療人の養成を行います。また、緩和ケア領域における臨床研究を通じてがん研究者を養成し、患者・家族ケアの質の向上と地域・社会貢献に努めて参ります。

順天堂大学大学院 医学研究科
順天堂大学医学部 放射線治療学講座

本講座は、放射線医学講座が放射線診断学講座と放射線治療学講座に発展的に分離、独立しました。設立の目的は、放射線腫瘍医、医学物理士の有機的統合により高精度放射線治療の基礎および臨床研究を行い、かつ、がん治療教育の充実を図ること、また、連携大学との協力による相互の診療と各地域がん診療の充実を図ることです。

放射線治療専門医(6名)と医学物理士（助教3名　助手1名）を中心に、大学院生に対する放射線生物学および医学物理学の基礎研究指導を行っています。さらに、基礎研究を基盤に高精度放射線治療の開発研究を進めています。連携大学とは臨床面および医学物理面で協力体制の構築を行っています。

このような研究・教育体制により「基礎研究に造詣の深い放射線腫瘍医、医学物理士、放射線治療専門技師」の育成を図っています。

島根大学大学院 医学系研究科
島根大学医学部医学科 緩和ケア講座

緩和ケア講座は，当大学の緩和ケア教育・臨床・研究を担当しています。当大学医学部附属病院は、緩和ケア病棟・緩和ケアチーム・緩和ケア外来で臨床実践が行える，全国でも有数の緩和ケア診療システムを構築しています。卒前教育としての医学生教育は，医学科4年生に対してロールプレイを取り入れたチュートリアル教育で緩和ケアへの関心を高めることと全人的な苦痛の理解を目標に教育して，5～６年生は臨床実習で直接患者さんの全人的な苦痛に向き合い，患者さんから学ぶことに重点を置いた教育をしています。卒後教育として希望する初期研修医には緩和ケア病棟で臨床研修を行い，引き続き緩和ケア専門医育成プログラムによる専門教育プランを作って対応できるようにしています。他の医療スタッフ教育としては，島根県と連携した研修会による緩和ケア専門医療スタッフ（医師，医師以外のスタッフ）の認定と育成を行っています。臨床活動は，緩和ケア病棟・緩和ケアチーム・緩和ケア外来の運営を各専門職スタッフが充実している緩和ケアセンターと協力して行い，特に緩和ケアセミナーや多職種カンファレンスを行いながら，顔の見える関係作りで地域医療連携を進めていることで島根県内へつながりのある緩和ケア普及に努めています。緩和ケア領域の研究は，産学連携研究として地元企業が開発したバラ芳香剤の緩和ケア効果について，緩和ケア病棟で入院患者の承諾後に使用してデータ解析を行い，芳香剤は「緊張-不安」を緩和させる有効性を示した結果を得て発表をしています。

岩手医科大学大学院 医学系研究科
岩手医科大学 緩和医療学科

本講座は、緩和ケアの卒前・卒後の教育の確立・実践、臨床研究者の育成、地域ごとの実情に沿った連携システムの整備と各専門職種からなるスキルミクス指向型の指導的医療人の育成を目的としています。

岩手医科大学大学院 医学系研究科
岩手医科大学 放射線腫瘍学科

本講座は、放射線腫瘍学の卒前・卒後・専門教育の確立・実践、地域ごとの実情に沿ったがん治療連携システムの整備、放射線治療の生物学・物理学的最適化戦略を開発・研究するがん放射線治療医の育成を目的としています。

明治薬科大学
寄付講座 がん先端治療学（アルファ粒子線・免疫治療学）

がんに対する中性子捕捉療法は難治性がんの治療として注目されています。本講座では、中性子捕捉化合物として新規のホウ素およびガドリニウム化合物を本学の化学研究者と共同で開発・改良すること、捕捉化合物をがん組織に効率的に送達させるdrug delivery systemの開発すること、さらにはこれに免疫療法を加味した新規治療法を開発することを目的としています。今後、本学の創薬研究者との共同研究で新規がん治療法が開発されることが期待されます。

第３編

平成28年度の取り組み

1. 外部評価委員会

1-1　がんプロフェッシッショナル養成基盤推進プラン外部評価委員会

■概要

（1）名称

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

ICT と繋ぐがん医療維新プラン外部評価委員会

（2）日時、会場

開催日時：平成２８年１１月１０日（木）13：00～16：00

講義会場：順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス センチュリータワー北 4 階 405 教室

（3）評価委員

・馬場　英司

（九州大学大学院医学研究院　九州連携臨床腫瘍学講座　教授）※評価委員長

・足利　幸乃

（公益社団法人　日本看護協会　神戸研修センター長・教育研修部長）

・鈴木　美穂

（日本テレビ放送網株式会社　報道局社会部　厚生労働省担当）

（4）事業概要説明発表担当者

全体事業概要説明（順天堂大学）

事業推進責任者／順天堂大学　大学院医学研究科長　代田　浩之

①教育分野（発表担当：鳥取大学・明治薬科大学）

鳥取大学医学部付属病院　がんセンター　教授　辻谷　俊一

明治薬科大学　副学長／薬物治療学　教授　越前　宏俊

②地域分野（発表担当：島根大学・岩手医科大学）

島根大学医学部　内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　教授　礒部　威

岩手医科大学　緩和治療学科　教授　木村　祐輔

③研究分野（発表担当：東京理科大学・立教大学）

東京理科大学　薬学部　生命創薬科学科　教授　早川　洋一

立教大学　理学研究科　物理学専攻　特任准教授　洞口　拓麿

④国際分野（発表担当：順天堂大学）

順天堂大学大学院　医学研究科　臨床腫瘍学　教授　加藤　俊介

（5）主催

順天堂大学

■資料

・プログラム

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン H28年度外部評価委員会

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン ～ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン～ では、これまでの事業活動を振り返り、また今後の活動の重要な指針とするため、外部評価委員会を受審することといたしました。
評価の受審にあたっては、まず自己点検表を作成し、事前配布資料として評価委員に呈示いたします。次に、主幹大学の順天堂大学にて審査会を開催し、事業内容・活動内容を説明して評価をいただく予定としています。

開催概要

日　時　：　平成28年11月10日(木) 13:00～16:00
場　所　：　順天堂大学　本郷・お茶の水キャンパス センチュリータワー北4階405
評価委員：　委員長 >>> 馬場 英司（九州大学大学院医学研究院　九州連携臨床腫瘍学講座　教授）
委　員 >>> 足利 幸乃（公益社団法人 日本看護協会 神戸研修センター長・教育研修部長）
委　員 >>> 鈴木 美穂（日本テレビ放送網株式会社 報道局社会部　厚生労働省担当）

プログラム

司　会 >>> 統括コーディネーター　髙橋 和久
（順天堂大学大学院　医学研究科 呼吸器内科学　教授）

1. 開会挨拶 …… 13:00～13:10　10分
統括責任者 >>> 順天堂大学　学長　新井 一

2. 事業概要説明 …… 13:10～14:40　90分
全体事業概要説明
事業推進責任者 >>> 順天堂大学大学院　医学研究科長　代田 浩之　15分
① 教育分野
鳥取大学医学部附属病院　がんセンター　教授　辻谷 俊一　20分
明治薬科大学　副学長／薬物治療学　教授　越前 宏俊
② 地域分野
島根大学医学部 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学　教授　礒部 威　20分
岩手医科大学　緩和医療学科　教授　木村 祐輔
③ 研究分野
東京理科大学　薬学部 生命創薬科学科　教授　早川 洋一　20分
立教大学　理学研究科 物理学専攻　特任准教授　洞口 拓磨
④ 国際分野
順天堂大学大学院　医学研究科 臨床腫瘍学　教授　加藤 俊介　15分

3. 外部評価委員からの質問 …… 14:40～15:15　35分
～ 質疑応答 ～

休憩　15:15～15:30　15分

4. 外部評価委員による講評 …… 15:30～15:50　20分

5. 閉会挨拶 …… 15:50～16:00　10分
順天堂大学大学院　医学研究科 分子病理病態学　教授　樋野 興夫

■資料

・出席者リスト

平成24年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業

ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン　外部評価委員会　参加者

大学	氏名	所属	役職
1.外部評価委員	馬場　英司	九州大学大学院医学研究院 九州連携臨床腫瘍学講座	教授
	足利　幸乃	公益社団法人 日本看護協会 神戸研修センター	教育研修部長
	鈴木　美穂	日本テレビ放送網株式会社 報道局社会部	厚生労働省担当
2.大学関係者	新井　一	順天堂大学	学長
○順天堂大学	代田　浩之	医学研究科	研究科長
	髙橋　和久	呼吸器内科学	教授
	加藤　俊介	臨床腫瘍学	教授
	樋野　興夫	分子病理病態学	教授
	齊藤　光江	乳腺・内分泌外科学	教授
	奥澤　淳司	臨床研究センター	先任准教授
	杉本　聡	放射線治療学講座	助教
	大津　洋	先導的がん医療開発研究センター	非常勤助教
	今井　美沙	先導的がん医療開発研究センター	助教
	田部　陽子	臨床検査医学講座	先任准教授
	田嶋　美幸	薬剤部調剤課	係長心得
	安間　亜希	看護部1号館10階A病棟	師長
	入村　達郎	難病の診断と治療研究センター	特任教授
	杉村 雅文	本郷地区情報センター	課長
	吉田　剛	本郷地区情報センター	主任
	木下 博予	研究戦略推進支援センター	係員
	伊藤　嘉章	本郷・お茶の水キャンパス事務室	事務長
	礒部 豊	本郷・お茶の水キャンパス事務室教務課	課長
	粕谷　昌史	本郷・お茶の水キャンパス事務室教務課	主任
	志野　麻子	本郷・お茶の水キャンパス事務室教務課	係員
	土岐　良恵	本郷・お茶の水キャンパス事務室教務課	係員
	川口　真衣香	本郷・お茶の水キャンパス事務室教務課	係員

大学	氏名	所属	役職
○島根大学	礒部　威	医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学	教授
	嘉藤　等	医学部会計課　予算監査室	課長補佐
○鳥取大学	辻谷　俊一	医学部附属病院がんセンター	教授
	岩井　康博	医学部学務課	教務係長
○岩手医科大学	菅井　有	病理診断学講座	教授
	木村　祐輔	緩和医療学科	教授
	杉山　徹	医学部附属病院 院長	教授
	田村　正一	医学部教務課	第2係長
	吉田　はるな	医学部教務課	派遣事務員
○東京理科大学	早川　洋一	薬学部生命創薬科学科	教授
	内呂　拓実	薬学部生命創薬科学科	教授
	管　嘉典	事務総局部長、薬学部事務課長	部長
	上村　和美	野田事務部薬学部事務課	主任
○明治薬科大学	越前　宏俊	薬物治療学	副学長/教授
	庄司　優	薬効学	副科長/教授
○立教大学	平山孝人	理学部物理学科	教授
	洞口拓磨	理学研究科物理学専攻	特任准教授
	若松大樹	学部事務三課	課員

・会場の様子













2. シンポジウム

2-1　がんプロ研究シンポジウム

■概要

（1）名称

がんプロ研究シンポジウム

「医学・理学・薬学連携で繋ぐがん医療研究の推進を目指して」

（2）日時、会場

開催日時：平成２８年６月１１日（土）　13：00～16：20

講義会場：立教大学池袋キャンパス１２号館　地下１階　第１・２会議室

（3）講演

・「肺癌治療と低ナトリウム血症マネジメント」

明治薬科大学薬学部 教授 庄司 優

・「RAGE を分子標的とした新規抗炎症性リード化合物の創製」

東京理科大学薬学部 教授 田沼 靖一

・「放射線がん治療から展開する物理学的素過程の研究」

立教大学理学研究科 特任准教授 洞口 拓磨

・「がん疼痛治療における医・理・薬連携について」

東京理科大学薬学部 講師 吉澤 一巳

・「医学系研究における統計解析法 ～実例を交えて～」

大阪大学医学系研究科 准教授 山本 紘司

・「放射線治療現場におけるリスクマネジメント

～臨床と研究連携によるシステム開発～」

聖路加国際病院放射線治療品質管理室 室長 水野 統文

（4）参加者の概要

参加者数：４４名

（5）主催

立教大学

■資料

・ポスター


平成24年度文部科学省
「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」
採択事業
RIKKYO UNIVERSITY
MDCCCLXXIII
立教大学
立教大学
がんプロ
研究シンポジウム
テーマ
医学・理学・薬学連携で繋ぐ
がん医療研究の推進を目指して
対象者：一般の方及びがん研究に関心のある教員・研究者・医療関係者及び学生
期　日：平成28年6月11日（土）
期　間：13：00～16：20（12：30　受付開始）
定　員：50名（申し込み不要・参加費無料）
場　所：立教大学池袋キャンパス12号館 地下1階 第1・2会議室
主　催：立教大学理学研究科
共　催：文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
プログラム
●司会：立教大学理学部 教授 小泉 哲夫
13：00-13：05　開会の辞　立教大学理学研究科委員長 北本 俊二
13：05-13：35　「肺癌治療と低ナトリウム血症マネジメント」　明治薬科大学薬学部 教授 庄司 優
13：35-14：05　「RAGEを分子標的とした新規抗炎症性リード化合物の創製」　東京理科大学薬学部 教授 田沼 靖一
14：05-14：35　「放射線がん治療から展開する物理学的素過程の研究」　立教大学理学研究科 特任准教授 洞口 拓磨
14：35-14：45　休憩（10分）
●司会：立教大学理学研究科 特任准教授 洞口 拓磨
14：45-15：15　「がん疼痛治療における医・理・薬連携について」　東京理科大学薬学部 講師 吉澤 一巳
15：15-15：45　「医学系研究における統計解析法 ～実例を交えて～」　大阪大学医学系研究科 准教授 山本 紘司
15：45-16：15　「放射線治療現場におけるリスクマネジメント ～臨床と研究連携によるシステム開発～」　聖路加国際病院放射線治療品質管理室 室長 水野 統文
16：15　閉会の辞　立教大学理学部 教授 小泉 哲夫
●問合せ先
立教大学理学部
〒171-8501 東京都豊島区西池袋3－34－1
TEL：03－3985－3383　FAX：03－3985－4159
MAIL：science@rikkyo.ac.jp
URL：http://www.rikkyo.ac.jp/science/ja/jigakubuturishi/
池袋キャンパスへのアクセス　JR各線・東武東上線・西武池袋線・東京メトロ丸ノ内線「池袋駅」下車、西口より徒歩約7分。

2-2　がんプロ国際シンポジウム

■概要

（１）名称

「がん分野におけるゲノム医療実現に向けた取り組み」

～クリニカルシークエンスがもたらすがん医療の将来像と問題点～

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年７月１５日（金）17：00～18：50

講義会場：順天堂大学　センチュリータワー　北棟４階教室

（３）演者

【講演】

『Approaches of MSK-IMPACT （clinical sequence）』

・Marc Ladanyi M.D.

The William Ruane Chair in Molecular Oncology, Memorial Sloan-Kettering Cancer Center

【パネルディスカッション】

『Individualized future vision and required social infrastructure investment in cancer care brought by clinical sequencing 』

・Marc Ladanyi M.D.

Chair in Molecular Oncology, Memorial Sloan-Kettering Cancer Center

・Fumiyuki Takahashi M.D.,Ph.D.

Department of Respiratory Medicine, Juntendo University Graduate School of Medicine

・Chieko Tamura ,Ph.D.

Genetic Counseling Clinic, Juntendo University Hospital / Fetal Medicine Clinic Tokyo

・Daisei Miyamoto ,Ph.D.

Office of In Vitro Diagnostics, Pharmaceuticals and Medical Devices Agency

（４）参加者の概要

参加者数：９３名

（５）主催

順天堂大学

■資料

・ポスター


International symposium
Approaches to the realization of genomic medicine in cancer field
～ Future vision and issue in cancer care brought by clinical sequencing ～
Promotion activity for training cancer professionals under the sponsorship of the MEXT, Japan
July 15, 2016 (Friday) 17:00~18:50
Juntendo University School of Medicine Century tower
（Building no.11）North 4F
※ mainly audience：medical oncologists, graduate students and the persons who are interested in cancer research and clinic.
※ This symposium will connect the following facilities using ICT.
Iwate Medical University, Shimane University, Tottori University,Tokyo University of Science, Meiji Pharmaceutical University, Rikkyo University and Juntendo University School of Medicine
Program
General Chairparson
Misa Imai ,Ph.D.
Leading Center for the development and research of Cancer medicine
Juntendo University Graduate school of Medicine
Opening address
Kazuhisa Takahashi M.D.,Ph.D.
Department of Respiratory Medicine, Juntendo University Graduate School of Medicine
17:00～17:10
Lecture
“Approaches of MSK-IMPACT（clinical sequence）”
17:10～18:00
Presenter
Marc Ladanyi M.D.
The William Ruane Chair in Molecular Oncology, Memorial Sloan-Kettering Cancer Center
Chairperson
Shunsuke Kato M.D.,Ph.D.
Department of Clinical Oncology, Juntendo University Graduate School of Medicine
Pannel discussion
“Individualized future vision and required social infrastructure investment in cancer care brought by clinical sequencing ”
18:00～18:40
Participant
Marc Ladanyi M.D.
Chair in Molecular Oncology, Memorial Sloan-Kettering Cancer Center
Fumiyuki Takahashi M.D.,Ph.D.
Department of Respiratory Medicine, Juntendo University Graduate School of Medicine
Chieko Tamura ,Ph.D.
Genetic Counseling Clinic, Juntendo University Hospital / Fetal Medicine Clinic Tokyo
Daisei Miyamoto ,Ph.D.
Office of In Vitro Diagnostics, Pharmaceuticals and Medical Devices Agency
Chairperson
Yoko Tabe M.D.,Ph.D.
Department of Clinical Laboratory Medicine, Juntendo University Graduate School of Medicine
Takuo Hayashi M.D.,Ph.D.
Department of Human Pathology, Juntendo University Graduate School of Medicine
Closing address
Okio Hino M.D., Ph.D.
Department of Molecular Pathogenesis, Juntendo University Graduate School of Medicine
18:40～18:50
Sponsor
Leading center for the development and research of cancer medicine, Juntendo University Graduate School of medicine
Department of Orthopedics and Motor Organ, Juntendo University Graduate School of Medicine
TEL：03-5802-1710 URL：http://ganpro-ict-plan.jp/index.html E-mail：ganpro@juntendo.ac.jp

■資料

・ポスター


平成 24 年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業
がん分野におけるゲノム医療実現に向けた取り組み
～クリニカルシークエンスがもたらすがん医療の将来像と問題点～
期　日　平成 28 年 7 月 15 日（金）　17:00 ～ 18:50
参加費　無料　※参加をご希望の方は事前に最下の問合せ先までご連絡下さい。（当日の直接参加も可能です。）
会　場　順天堂大学　センチュリータワー 北棟 4 階 教室
ICT接続　島根大学、鳥取大学、岩手医科大学、東京理科大学、明治薬科大学、立教大学、順天堂大学
対象者　教員・研究者・医療関係者・大学院生・学生 等
プログラム
総合司会　今井 美沙　順天堂大学大学院医学研究科　先導的がん医療開発研究センター　助教
開会の辞　髙橋 和久　順天堂大学大学院医学研究科　呼吸器内科学　教授　►17:00～17:10
講 演　クリニカルシークエンス　MSK-IMPACT の取り組み　►17:10～18:00
演 者
Marc Ladanyi M.D.　スローン・ケタリング記念がんセンター　分子腫瘍学　教授
司 会
加藤 俊介　順天堂大学大学院医学研究科 臨床腫瘍学　教授
Panel discussion
クリニカルシークエンスが拓くがん医療の個別化の将来像と必要な社会的基盤整備　►18:00～18:40
パネリスト
Marc Ladanyi M.D.　スローン・ケタリング記念がんセンター　分子腫瘍学　教授
高橋 史行　順天堂大学大学院医学研究科　呼吸器内科学　准教授
田村 智英子　順天堂大学医学部附属順天堂医院　遺伝相談外来／FMC東京クリニック　医療情報・遺伝カウンセリング部　日米遺伝カウンセラー
宮本 大誠　独立行政法人医薬品医療機器総合機構　体外診断薬審査室　室長
司 会
田部 陽子　順天堂大学大学院医学研究科　臨床病態検査医学　先任准教授
林 大久生　順天堂大学大学院医学研究科　人体病理病態学　准教授
閉会の辞　樋野 興夫　順天堂大学大学院医学研究科　分子病理病態学　教授　►18:40～18:50
主 催 ： 順天堂大学がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン　先導的がん医療開発研究センター
共 催 ： 順天堂大学大学院医学研究科　整形外科・運動器医学
問い合わせ先　TEL：03-5802-1710　URL：http://ganpro-ict-plan.jp/index.html　E-mail：ganpro@juntendo.ac.jp

2-3　がんプロ研究シンポジウム

■概要

（１）名称

がんプロ研究シンポジウム「がん治療における標的探索から臨床まで」

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年７月３０日（土）13：30～17：00

講義会場：東京理科大学葛飾キャンパス　図書館大ホール

（３）講演

・「乳がん幹細胞の解糖系代謝における atypical protein kinase C（aPKC）の役割」

東京理科大学　薬学部　准教授　秋本　和憲

・「放射線治療の向上を目指して

－新たな放射線細胞応答メカニズムの発見と放射線治療への応用－」

東京理科大学　薬学部　講師　月本　光俊

・「抗体医薬品の開発」

中外製薬　製薬本部生産工学研究部　山崎　忠男

・「大学から発信する口腔粘膜炎用製剤の開発と評価」

東京理科大学　薬学部　助教　河野　弥生

・「今後、乳がん分野で期待される薬物療法とは」

順天堂大学　乳腺内分泌外科　教授　齊藤　光江

（４）参加者の概要

参加者数：７３名

（５）主催

東京理科大学

■資料

・ポスター


がんプロ
研究シンポジウム
がん治療における標的探索から臨床まで
参加費
無料
開会の辞
東京理科大学 副学長　浅島 誠
乳がん幹細胞の解糖系代謝における
atypical protein kinase C（aPKC）の役割
東京理科大学 薬学部 准教授　秋本 和憲
放射線治療の向上を目指して
ー新たな放射線細胞応答メカニズムの発見と放射線治療への応用ー
東京理科大学 薬学部 講師　月本 光俊
抗体医薬品の開発
中外製薬 製薬本部生産工学研究部　山崎 忠男
大学から発信する口腔粘膜炎用製剤の開発と評価
東京理科大学 薬学部 助教　河野 弥生
今後、乳がん分野で期待される薬物療法とは
順天堂大学 乳腺内分泌外科 教授　齊藤 光江
2016年
7月30日（土）13:30～17:00
東京理科大学葛飾キャンパス
図書館大ホール
JR常磐線「金町」駅／京成金町線「京成金町」駅下車、徒歩8分
葛飾キャンパス
三菱東京UFJ銀行
イトーヨーカドー
JR金町駅北口
京成金町駅
主催：文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン／東京理科大学
問合せ先：東京理科大学　薬学部事務課　04-7121-3691（直通）

2-4　がんプロ地域シンポジウム

■概要

（１）名称

がんプロ地域シンポジウム

「地域連携における在宅がん治療」－がん緩和医療を中心に地域での取り組みを考える－

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年９月２１日（水）18：30～20：30

講義会場：岩手医科大学創立６０周年記念館９階　第２講義室

（３）講演

・「岩手県における在宅がん医療の現状と課題」

岩手医科大学　緩和学科　教授　木村　祐輔　先生

・「鳥取県における在宅がん医療の現状と課題」

ひだまりクリニック　院長　福田　幹久　先生

・「東京都における在宅がん医療の現状と課題～大学病院の立場から～」

順天堂大学医学部附属順天堂医院 がん治療センター 看護師長、

順天堂大学大学院 医療看護学研究科 助教　中野 真理子　先生

・「婦人科がん緩和医療の実践」

聖マリアンナ医科大学　産婦人科　教授　鈴木　直　先生

（４）参加者の概要

参加者数：４６名

（５）主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター

平成28年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
－ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン－

がんプロ地域シンポジウム

「地域連携における在宅がん医療」

－がん緩和医療を中心に地域での取り組みを考える－

日時：平成28年9月21日（水）18時30分～20時30分

場所：岩手医科大学創立60周年記念館9階　第2講義室

対象：大学院生、医師、看護師、インテンシブコース受講生等

～プログラム～

司会・座長：板持　広明　先生（岩手医科大学　産婦人科学講座　教授）
：木村　祐輔　先生（岩手医科大学　緩和医療学科　教授）

開会の辞：杉山　徹　先生（岩手医科大学附属病院　病院長、
岩手医科大学　産科婦人科学講座　教授）

講　演：(1) **岩手県における在宅がん医療の現状と課題**
木村　祐輔　先生（岩手医科大学　緩和医療学科　教授）

(2) **鳥取県における在宅がん医療の現状と課題**
福田　幹久　先生（ひだまりクリニック　院長）

(3) **東京都における在宅がん医療の現状と課題～大学病院の立場から～**
中野 真理子　先生
（順天堂大学医学部附属順天堂医院 がん治療センター　看護師長、
順天堂大学大学院 医療看護学研究科　助教）

(4) **婦人科がん緩和医療の実践**
鈴木　直　先生（聖マリアンナ医科大学　産婦人科　教授）

閉会の辞：伊藤　薫樹　先生（岩手医科大学　腫瘍内科学科　教授）



主催：がんプロフェショナル養成基盤推進プラン
（順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学）
《お問合せ先》医学部教務課：がんプロ担当（内線：3223・3111）

2-5　島根大学・鳥取大学同日開催
市民公開シンポジウム　「がんと上手くつきあうために」

■概要

（１）名称

市民公開シンポジウム「がんと上手くつきあうために」

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年１１月２０日（日）13：00～16：00

開催場所：島根大学医学部附属病院　みらい棟４階ギャラクシー

（３）講演

基調講演

・「進化しているがんの放射線治療」

島根大学医学部　放射線医学講座　放射線腫瘍学　教授　猪俣　泰典　先生

・「進行肺がんの薬物療法について」

東北大学大学院医学系研究科　緩和医療学分野　教授　井上　彰　先生

・「副作用と上手くつきあうために」

島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　教授　礒部　威　先生

パネルデスカッション

「がんと上手くつきあうために」

座長：島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　教授　礒部　威　先生

パネリスト

島根大学医学部　放射線医学講座　放射線腫瘍学　教授　猪俣　泰典　先生

東北大学大学院医学系研究科　緩和医療学分野　教授　井上　彰　先生

島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　教授　礒部　威　先生

（４）参加者の概要

参加者数：12 名

（５）主催

島根大学/鳥取大学

■資料

・ポスター


平成28年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン～ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン～
市民公開シンポジウム
がんと上手くつきあうために
★参加費無料
★申込不要
どなたでも
ご参加ください
基調講演　13：00～15：00
開会挨拶：島根大学医学部　放射線医学講座　放射線腫瘍学
教授　猪俣　泰典 先生
司会：島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学
教授　礒部　威 先生
1「進化しているがんの放射線治療」
島根大学医学部　放射線医学講座　放射線腫瘍学
教授　猪俣　泰典 先生
2「進行肺がんの薬物療法について」
東北大学大学院医学系研究科　緩和医療学分野
教授　井上　彰 先生
3「副作用と上手くつきあうために」
島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学
教授　礒部　威 先生
パネルディスカッション　15：00～16：00
『がんと上手くつきあうために』
座長：島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学
教授　礒部　威 先生
パネリスト
島根大学医学部　放射線医学講座　放射線腫瘍学
教授　猪俣　泰典 先生
東北大学大学院医学系研究科　緩和医療学分野
教授　井上　彰 先生
島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学
教授　礒部　威 先生
閉会挨拶：島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学
教授　礒部　威　先生
日時：平成２８年１１月２０日（日）13：00～16：00
場所：島根大学医学部附属病院 みらい棟４階ギャラクシー
主催：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
～ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン～
島根大学・鳥取大学
共催：特定非営利活動法人North East Japan Study Group
(NEJSG)
お問合せ：
島根大学医学部
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務室
〒693-8501　出雲市塩冶町89-1　電話：0853-20-2576
FAX：0853-20-2580　メール：ganpro@med.shimane-u.ac.jp
（同時開催）がんプロ市民公開シンポジウム
～鳥取大学担当～
会場：国際ファミリープラザ
鳥取大学会場では島根と少し
内容を変え、「がん」について
の講演・シンポジウムを開催
されます。ぜひお誘いあわせの
上ご参加ください
（無料・事前申込不要）
国際ファミリープラザ
R180
米子駅

2-5　鳥取大学・島根大学同日開催
市民公開講座　「がん患者を支える」

■概要

（１）名称

市民公開講座　「がん患者を支える」

（２）日時、会場

開催日時：平成 28 年 11 月 20 日（日）13：00～17：00

開催会場：国際ファミリープラザ２F ファミリーホール

（３）内容

第１部：映画上映

『大丈夫。－小児科医・細谷亮太のコトバー』　伊勢　真一監督作品

第２部：ある乳がん患者さんのお話

鳥取大学ブレストケアチーム＆

島根大学医学部附属病院 診療支援施設栄養治療室室長　平井　順子　先生

特別講演「乳がんと食事の関わり」

順天堂大学医学部附属病院 乳腺内分泌外科教授　齊藤　光江　先生

（４）参加者の概要

参加者数：151 名（鳥取会場）

（５）主催

鳥取大学/島根大学

■資料

・ポスター


平成28年度 鳥取大学医学部附属病院がんセンター市民公開講座
がん患者を支える
日時
2016
11/20(日)
13:00～17:00
参加費無料
申込不要
場所
国際ファミリープラザ 2F
ファミリーホール
鳥取大学医学部附属病院
第一、第二駐車場、立体駐車場 使えます
お問合せ先
鳥取大学医学部附属病院がんセンター事務室
〒683-8504 鳥取県米子市西町36-1
TEL/0859-38-6292
FAX/0859-38-6293
E-mail/gan-center@med.tottori-u.ac.jp
主催/鳥取大学医学部附属病院
島根大学医学部
共催/がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
鳥取県がん診療連携協議会
山陰がん認定医療スタッフ育成コース
後援/鳥取県、米子市、公益社団法人 鳥取県西部医師会、
NHK鳥取放送局、BSS山陰放送、
新日本海新聞社、山陰中央新報社
第一部
映画上映(13:05-14:30)
大丈夫。
『大丈夫。
―小児科医・細谷亮太のコトバ―』
伊勢 真一監督作品
「大丈夫。」は、小児科医・細谷亮太さんのクセです。
診察を終えた病気の子どもたち一人ひとりに、必ずその一言を添えて励まします。
それは40年来、小児がん治療の最前線で、子どもたちの「いのち」と向き合い続けてきた細谷先生の、自分自身への励ましのコトバでもあるのかもしれません。
第二部
ある乳がん患者さんのお話(14:40-)
ある乳がん患者さんが化学療法と内分泌療法を乗り切って、
その後健康に暮らしていくために食事の大切さに気づく
出演 鳥取大学ブレストケアチーム
&
島根大学医学部附属病院
診療支援施設栄養治療室室長 平井 順子 先生
特別講演
乳がんと食事の関わり
座長 鳥取大学医学部附属病院乳腺内分泌外科教授 村田 陽子 先生
演者 順天堂大学医学部附属病院乳腺内分泌外科教授 齊藤 光江 先生
島根大学医学部と同時開催します。山陰地方のがん情報の普及を促進します。
どなたでもご参加いただけます。多くの方のご参加をお待ちしております。

3. ワークショップ

3-1　連携 7 大学 FD 研修会

■概要

（1）名称

がんプロ FD ワークショップ

「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン４年半の成果と
残る課題及び今後の展望（第３期がんプロも視野に)」

（2）日時、場所、対象

開催日時：平成２８年９月３日（土）11：30～　平成２８年９月４日（日）13：00

開催場所：順天堂大学　本郷・お茶の水キャンパスセンチュリータワー北棟 405 教室

参加対象：がんプロ養成基盤推進プラン連携７大学：教員、がんプロ学生

（3）参加者数の概要

参加者数：３０名

（4）主催

順天堂大学

■資料

・開催案内

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
ＩＣＴと人で繋ぐがん医療維新プラン

平成２８年度 連携ＦＤ研修会

１．実施期日　：　平成２８年９月３日（土）～ ４日（日）
（9/3　11：30～9/4　13：00　予定）

２．開催場所　：　順天堂大学　本郷・お茶の水キャンパス
センチュリータワーN405 教室
（113-8421　東京都文京区本郷 2-1-1）

３．宿 泊 先　：　東京ガーデンパレス

４．テ ー マ　：「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン４年半の成果と残る課題及び今後の展望（第３期がんプロも視野に）」

５．ディレクター：統括コーディネーター　髙橋 和久
（順天堂大学大学院医学研究科呼吸器内科学 教授／順天堂医院 副院長）

６．代表世話人：加藤 俊介（順天堂大学大学院医学研究科 臨床腫瘍学 教授）

７．ＦＤの方向性：

（１）最終年を迎えた本事業における達成目標と評価指標（定量的・定性的）の確認

（２）これまでの外部評価委員会（平成 25 年度～平成 27 年度）における自己評価と外部評価委員からの評価の確認

（３）文部科学省からの中間評価結果及び改善計画書に基づく改善状況の確認

以上をふまえ、「がんプロ４年半の成果」をまとめるとともに事業終盤を迎えた今後の課題を抽出して外部評価委員会に向けて準備を行う。

８．作業部会：※各部会にグループ長を置く。（外部評価委員会で発表をご予定の先生）（３グループ）

	作業部会	該当する「達成目標」	グループ長
A	教育分野	⑥がん医療教育の充実を図る。	辻谷　俊一 （鳥取）
B	地域分野	③地域との交流、均てん化の実施	礒部　威 （島根） 木村　祐輔 （岩手医科）
C	研究分野	⑦がん研究の実施基盤の設置	洞口　拓磨 （立教）
	国際化分野	④国際化に向けた拠点センターの設置	加藤　俊介 （順天堂）

※各分野で成果をまとめるにあたって、①ICT を活用し連携を深める、②循環型交流の実現をする、の項目をどのように活用して事業を効率よく行うことができたか、またどのようにして⑤がん診療への貢献・社会への情報発信をおこなってきたか、についても参考にして下さい。

【　グループ一覧　】（太字はグループ長）

グループ A（教育分野）

辻谷　俊一、髙橋　和久、中谷　俊彦、越前　宏俊、井上　裕貴、小泉　哲夫、朝尾　哲彦、

グループ B（地域分野）

礒部　威、猪俣　泰典、**木村　祐輔**、樋野　興夫、廣中　愛、関原　和正

グループ C（研究分野・国際分野）

研究：**洞口　拓磨**、早川　洋一、津端　由佳里、今井　美沙（兼任）、須藤　一起、深谷　緑

国際：**加藤　俊介**、今井　美沙（兼任）、清水　麗子、中村　央、赤池　慶祐

９．実施スケジュール

司会：順天堂大学　今井　美沙助教

日程	目安時間	内容	備考
1日目 (9/3)	11：30	開会挨拶・趣旨説明	統括コーディネーター （髙橋　和久教授）より本ＦＤの趣旨を説明
	11：45	研修の全体説明 ～イントロダクション （兼昼食） ＊早めに終了した場合は昼食時間にあてる	代表世話人（加藤　俊介教授）よりグループワーク進め方の説明 事業概要、達成目標の確認 グループワークのすすめ方 外部・中間評価の振り返り 中間評価に対する改善計画の確認など
	12：30	グループワーク１	N405 教室 グループに分かれ、テーマ毎の進捗状況の確認、今後の課題についての意見交換
	15：00	グループ発表・討論 （中間発表会）	N405 教室 他グループの内容についての意見交換
	15：30	休憩	
	16：00	グループワーク２	グループに分かれ、グループ発表の指摘事項も参考に意見交換
	18：00	運営連絡会	N306 教室（関係者のみ） 他の参加者はスライドまとめ、書記作業など
	19：00	意見交換会（兼夕食）	CANAL CAFE（BBQ）
	21：30	1日目終了	
		（宿泊）	
2日目 (9/4)	9：00	全体発表・総合討論 閉会挨拶	A・B・C 研究・C 国際グループ各 45 分ずつ （発表・質疑応答含む） 12：00～総合討論 樋野興夫教授
	13：00	2日目終了	

10. 参加者名簿

平成 28 年度がんプロ FD 研修会参加者名簿

	大学	所属	職名	氏名
1	順天堂大学	呼吸器内科学	教授	髙橋　和久
2	順天堂大学	臨床腫瘍学	教授	加藤　俊介
3	順天堂大学	分子病理病態学	教授	樋野　興夫
4	順天堂大学	先導的がん医療開発研究センター	助教	今井　美沙
5	順天堂大学	臨床腫瘍学	大学院１年	清水　麗子
6	順天堂大学	呼吸器外科学	大学院３年	中村　央
7	順天堂大学	呼吸器内科学	大学院３年	朝尾　哲彦
8	順天堂大学	最先端がん臨床研究コース	大学院１年	廣中　愛
9	順天堂大学	最先端がん臨床研究コース	大学院２年	須藤　一起
10	順天堂大学	先導的がん医療開発研究センター（臨床検査医学）	PD	関原　和正
11	順天堂大学	先導的がん医療開発研究センター（整形外科学）	RA	赤池　慶祐
12	順天堂大学	先導的がん医療開発研究センター（下部消化管外科学）	研究支援者	深谷　緑
13	島根大学	医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学	教授	礒部　威
14	島根大学	医学部放射線医学講座 放射線腫瘍学	教授	猪俣　泰典
15	島根大学	医学部緩和ケア講座	教授	中谷　俊彦
16	島根大学	医学部付属病院 呼吸器・化学療法内科	講師	津端　由佳里
17	鳥取大学	医学部附属病院がんセンター	センター長・教授	辻谷　俊一
18	岩手医科大学	緩和医療学科	教授	木村　祐輔
19	東京理科大学	薬学部生命創薬科学科	教授	早川　洋一
20	明治薬科大学	薬物治療学	教授	越前　宏俊
21	明治薬科大学	薬物体内動態学	PD	井上　裕貴
22	立教大学	理学部物理学科	教授	小泉　哲夫
23	立教大学	理学研究科物理学専攻	特任准教授	洞口　拓磨
24	順天堂大学	教務課（大学院担当）	課長	礒部　豊
25	順天堂大学	教務課（大学院担当）	主任	粕谷　昌史
26	順天堂大学	がんプロ事務局	事務員	村里　麻耶
27	順天堂大学	がんプロ事務局	事務員	志野　麻子
28	順天堂大学	がんプロ事務局	事務員	土岐　良恵
29	岩手医科大学	医学部教務課	事務員	川守　裕陽
30	岩手医科大学	医学部教務課	事務員	吉田　はるな

【参考】本グループの達成目標

達成目標	達成目標に対する 評価指標(定量的なもの)	達成目標に対する 評価指標(定性的なもの)
ICTを活用し連携を深める。	○7大学運営連絡会（年6回以上開催) ○e-learningを活用(共通科目11科目作成) ○ICTを活用し、双方向の授業を開催（共通科目年4回開催) ○共同授業カンファレンス開催（年5回以上)	○広域に渡る連携大学間の交流促進 ○双方向授業、共同授業カンファレンスによる遠隔地の教員・学生の情報共有・連携強化
循環型交流の実現をする。	○連携大学間において共同研究実施(5プロジェクト) ○共同授業カンファレンス開催（年5回以上) ○多職種コミュニケーション研修（合宿）毎年1回開催 ○教員の指導能力向上のためのファカルティ・ディベロップメントの開催（年1回以上) ○連携大学間の教員循環授業を開催（年7講義以上)	○臨床研究、臨床試験、国際共同臨床試験等への参加
地域との交流・均てん化の実施。	○大学病院と地域病院間での共同カンファ開催（年２回以上) ○多職種コミュニケーション研修（合宿）毎年開催	○地域医療機関での実習実績 ○地域がん登録との連携
国際化に向けた拠点センターの設置	○国際学会等での研究論文発表数(年間5件以上) ○海外の先進的な研究機関等への研修派遣(年間1名以上) ○海外の先進的な大学から教員を招聘し講義を開催（年3回以上) ○海外より招聘し、国際シンポジウムを開催（年1回以上)	○研究コーディネータの雇用 ○がん研究者の連携・共同研究の実施
がん診療への貢献・社会への情報発信をおこなう。	○HP更新（月1回以上) ○一般向講演会の開催（年3回以上) ○活動報告書作成(年1回) ○ニュースレター作成（年4回)	○臨床現場との連携強化
がん医療教育の充実を図る。	○インテンシブコースの設置(連携大学あわせて3コース) ○e-learningを活用(共通科目11科目作成) ○ICTを活用し、双方向の授業を開催（共通科目年4回開催) ○各コースの受入目標人数(平成24年度)に対する充足率100% ○認定看護師資格取得100%	○チーム医療の重要性を教育 ○実質的ながん医療人の教育 ○ファカルティ・ディベロップメント（ワークショップ）のプロダクト ○がん治療認定医の資格取得を推奨
がん研究の実施基盤の設置	○連携大学間において共通研究プロトコルの作成(5プロジェクト以上) ○がんに関する研究論文発表（年間5件以上)	○がん研究者の連携・共同研究の実施

■資料

・会場の様子











3-2　臨床研究研修会

■概要

（１）名称

第５回臨床研究研修会

（２）テーマ

『生物統計家とともに実現可能な本格的臨床研究プロトコールを作成しよう！』

（３）日時、会場、対象

会場日時：平成 28 年 10 月 29 日（土）12：20 ～ 10 月 30 日（日）12：00

開催会場：順天堂大学　本郷・お茶の水キャンパスセンチュリータワー南棟 14 階

参加対象：がんプロ登録生（大学院生・インテンシブ生)、PD・RA・研究支援者、医師、薬剤師、看護師、医学物理士、基礎薬学研究者、統計家およびその他医療スタッフ

（４）講演

・「合宿の課題とチームの意義について」

順天堂大学　乳腺・内分泌外科学　齊藤　光江　教授

・「プロトコール作成の手順」

大阪大学大学院　医学系研究科　山本　紘司　寄附講座准教授

・「チームビルディング」

株式会社ビジネスコンサルタント　大崎　桂子　講師

・「2015 年度 MD アンダーソン海外研修報告」

順天堂大学　先導的がん医療開発研究センター　今井美沙　助教

・「副作用データベース構築研究」

東京理科　薬学部　薬学科　小茂田　昌代　教授

（５）参加者の概要

・参加者数：５９名

（６）主催

・順天堂大学

■資料

・実施要領

平成 24 年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業

「第 5 回臨床研究研修会」　実施要領

１．実施期日

平成 28 年 10 月 29 日（土）～　10 月 30 日（日）

２．参加校

順天堂大学、島根大学、鳥取大学、岩手医科大学、東京理科大学、明治薬科大学、立教大学

３．研修・宿泊場所

研修場所　：　順天堂大学　本郷・お茶の水キャンパス
センチュリータワー南棟 14 階

宿泊場所　：　【ホテル東京ガーデンパレス】
〒113-0034　東京都文京区湯島 1-7-5　TEL：03-3813-6211

４．参加対象

がんプロ登録生（大学院生・インテンシブ生）、ＰＤ・ＲＡ・研究支援者、
医師、薬剤師、看護師、医学物理士、基礎薬学研究者、統計家およびその他医療スタッフ

５．テーマ

『生物統計家とともに実現可能な本格的臨床研究プロトコールを作成しよう！』

６．グループワークのポイント

① 多職種コミュニケーションの技能を身につける（多職種にわかりやすい言語で話し、互いの理解度を意識した議論の展開をする）
② 誰もが自身の専門領域の話題においてはリーダーシップをとり（独りがけん引し続けるのではなく）、他者がリーダーシップをとっているときに良きフォロワーになる体験をする
③ 科学的根拠に基づいた議論を展開する
④ 医療のエンドユーザーとしての患者さんを常に意識する

７．実施プログラム　　（会場：順天堂大学　センチュリータワー南棟 14 階）

期　日	時　間(仮)	内　　容(仮)
第 1 日目 （10 月 29 日）	12:20～	開会の挨拶 趣旨説明 事務連絡 昼食　等
	12:30～13:20	ミニレクチャー（ランチョン形式:昼食） ①合宿の課題とチームの意義について（10 分） 齊藤　光江教授 ②プロトコール作成の手順（40 分） 山本　紘司先生（大阪大学/順天堂大学客員准教授）
	13:20～14:00	チームビルディング・リーダーシップ 大崎 桂子講師（株式会社ビジネスコンサルタント）
	14:00～18:30	グループワーク（第一部）　各グループに生物統計の チューターがつきます　（大阪大学教員）
	18:30～19:30	ディナーセッション(夕食) ①今井先生(2015 年度 MD アンダーソン海外研修報告) ②小茂田先生（副作用データベース構築研究）
	19:30～21:30	グループワーク第二部
第 2 日目 （10 月 30 日）	9:00～12:00	・発表 ・全体討論、感想 ・表彰 ・写真撮影等
		閉会の挨拶

８．グループ一覧

【研修生】
Ａグループ
網崎　正孝、川島　悠、内藤　智春、上村　真純、根本大輔、泉　祐毅、岩川　悟
Ｂグループ
藤岡　功、渡邊　直紀、澁谷　幸子、闞 鑫、佐藤　駿、竹内　貴志、石井　杏奈、
田邉佳那子
Ｃグループ
上田　琢也、天野　芳宏、岡部　奈菜、久保　裕太郎、齋藤　舞、篠田　健太、韓　敏
Ｄグループ
及川　隆喜、橋本　夕美、濵道　彩、関原　和正、倉上　弘幸、高見　光弘、長峰　由実、
井上　裕貴

【チューター】
Ａグループ
橋本治子、中谷　俊彦、小茂田昌代、庄司　優、北本俊二
Ｂグループ
高橋佳苗、加藤　俊介、今井　美沙、田嶋　美幸、洞口拓磨
Ｃグループ
石原拓磨、中野　真理子、齊藤　有希、伊藤　薫樹、越前　宏俊
Ｄグループ
加葉田大志朗、丹下　祐一、安間　亜希、刑部　光正、杉山奈津子

※グループフリー　　山本　紘司、齊藤　光江、樋野　興夫

第5回臨床研究研修会（平成28年10月29日～30日）参加者

	No	大学	氏名	所属	職名・学年	資格
研修生	1	順天堂	藤岡　功	順天堂大学血液内科学	大学院2年	医師
	2		渡邉　直紀	順天堂大学血液内科学	大学院4年	医師
	3		橋本　夕美	順天堂大学公衆衛生学	協力研究員	看護師
	4		上田　琢也	順天堂大学呼吸器外科学	大学院4年	医師
	5		岩川　悟	順天堂医院薬剤部	薬剤師	薬剤師
	6		田邉佳那子	順天堂医院薬剤部	薬剤師	薬剤師
	7		篠田　健太	順天堂医院薬剤部	薬剤師レジデント1年生	薬剤師
	8		内藤　智春	順天堂大学人体病理病態学	大学院1年	基礎研究者
	9		関原　和正	順天堂大学先導的がん医療開発研究センター（臨床検査医学講座）	PD	基礎研究者
	10		韓　敏	順天堂大学腫瘍内科学	研究生	基礎研究者
	11		閻 彙	順天堂大学先導的がん医療開発研究センター（血液学講座）	PD	基礎研究者
	12		川島　悠	順天堂大学大学院医療看護学研究科	大学院1年	看護師
	13		岡部　奈菜	順天堂大学大学院医療看護学研究科	大学院1年	看護師
	14		濵道　彩	順天堂大学大学院医療看護学研究科	大学院1年	看護師
	15	島根	天野　芳宏	島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科	医員	医師
	16	鳥取	網崎　正孝	鳥取大学第一外科診療科群	医員	医師
	17	岩手医科	澁谷　幸子	岩手医科大学外来化学療法室	主任看護師	看護師
	18		及川　隆喜	岩手医科大学内科学講座消化器内科肝臓分野	助教	医師
	19	東京理科	泉　祐毅	東京理科大学大学院薬学研究科	M1	薬学生
	20		長峰　由実	東京理科大学大学院薬学専攻	D1	薬剤師
	21		根本大輔	東京理科大学大学院理工学研究科情報科学専攻	M1	統計専攻
	22		佐藤駿	東京理科大学大学院理工学研究科情報科学専攻	M1	統計専攻
	23		久保裕太郎	東京理科大学大学院理工学研究科情報科学専攻	M1	統計専攻
	24		石井杏奈	東京理科大学薬学部	6年	薬学生
	25		齋藤舞	東京理科大学薬学部	5年	薬学生
	26		竹内貴志	東京理科大学理工学部情報科学科	B4	統計専攻
	27		倉上弘幸	東京理科大学理工学部情報科学科	助教	統計専攻
	28		高見光弘	東京理科大学理工学部情報科学科	B4	統計専攻
	29	明治薬科	井上　裕貴	明治薬科大学薬物体内動態学	ポスドク	薬剤師
	30	自治医科	上村　真純	自治医科大学附属病院	歯科衛生士	歯科衛生士
チューター	31	順天堂	齊藤　光江	順天堂大学乳腺・内分泌外科	教授	医師
	32		加藤　俊介	順天堂大学腫瘍内科学	教授	医師
	33		樋野　興夫	順天堂大学分子病理病態学	教授	医師
	34		丹下　祐一	順天堂大学脳神経外科学	准教授	医師
	35		今井　美沙	順天堂大学先導的がん医療開発研究センター	助教	基礎研究者
	36		中野　真理子	順天堂がん治療センター	看護師	看護師
	37		安間　亜希	順天堂医院看護部	看護師	看護師
	38		田嶋　美幸	順天堂医院薬剤部	主任薬剤師	薬剤師
	39		齊藤　有希	順天堂医院薬剤部	薬剤師	薬剤師
	40	島根	中谷　俊彦	島根大学医学部緩和ケア講座	教授	医師
	41	岩手医科	伊藤　薫樹	岩手医科大学腫瘍内科学科	教授	医師
	42		剋部　光正	岩手医科大学病理診断学講座	講師	医師
	43	東京理科	小茂田昌代	東京理科大学薬学部	教授	薬剤師
	44	明治薬科	越前　宏俊	明治薬科大学薬物治療学	教授	医師
	45		庄司　優	明治薬科大学薬効学	教授	医師
	46	立教	北本俊二	立教大学理学部物理学科	教授	物理学
	47		洞口拓磨	立教大学理学研究科物理学専攻	特任准教授	物理学
	48	大阪	山本　紘司	大阪大学大学院医学系研究科臨床統計疫学寄附講座	寄附講座准教授	統計学
	49		橋本治子	大阪大学医学部付属病院未来医療開発部データセンター	特任研究員	統計学
	50		高橋佳苗	大阪大学医学部付属病院未来医療開発部データセンター	特任研究員	統計学
	51		石原拓磨	大阪大学大学院医学系研究科臨床統計疫学寄附講座	寄附講座助教	統計学
	52		加茉田大志朗	大阪大学大学院医学系研究科臨床統計疫学寄附講座	特任研究員	統計学
	53	国際医療福祉	杉山奈津子	国際医療福祉大学薬学部	助手	薬剤師
ゲスト	54	講演者	大崎 桂子	株式会社ビジネスコンサルタント	講師	
事務	55	順天堂（事務）	礒部　豊	教務課（大学院担当）	課長	—
	56		粕谷　昌史	教務課（大学院担当）	主任	—
	57		志野　麻子	教務課（大学院担当）がんプロ事務局	係員	—
	58		土岐　良恵	教務課（大学院担当）がんプロ事務局	係員	—
	59		川口　真衣香	教務課（大学院担当）がんプロ事務局	係員	—

・アンケート

第5回 臨床研究研修会　アンケート

1. あなたの実務経験は何年ですか	学生	1年未満	1～3年	4～6年	7～9年	10年以上
	□	□	□	□	□	□
2. あなたの専門は何ですか	医師	薬学	看護学	統計学	基礎研究	その他
	□	□	□	□	□	（　　）
	非常に そう思う	そう思う	少しそう思う	あまり そう思わない	そう思わない	全く そう思わない
3.山本先生の統計の講義は効果的であったと思う	6	5	4	3	2	1
4. あなたは十分意見が言えた	6	5	4	3	2	1
5. あなたは多職種グループワークに興味がわいた	6	5	4	3	2	1
6. あなたは今後、他 多職種チームでの医療や研究を推進したいと思う	6	5	4	3	2	1
7. あなたは将来海外研修に参加したい	6	5	4	3	2	1
8. ディナーセッション（海外研修）は効果的であったと思う	6	5	4	3	2	1
9. ディナーセッション（ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽアプリ開発）は効果的であったと思う	6	5	4	3	2	1
10. チューターの介入は効果的であったと思う	6	5	4	3	2	1
11. 発表会は有意義だったと思う	6	5	4	3	2	1
12. このような合宿は有意義だと思う	6	5	4	3	2	1
13. 合宿のプログラムは適切であったと思う	6	5	4	3	2	1
14. この合宿は楽しかった	6	5	4	3	2	1
15. 来年度、また合宿に参加したい	6	5	4	3	2	1

感想・要望、なんでもご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

第5回 臨床研究研修会　10/29～10/30
アンケート集計

質問項目	平均
1．あなたの実務経験は何年ですか	−
2．あなたの専門は何ですか	−
3.山本先生の統計の講義は効果的であったと思う	5.5
4．あなたは十分意見が言えた	4.6
5．あなたは多職種グループワークに興味がわいた	5.4
6．あなたは今後、他職種チーム医療に積極的に参加したい	5.4
7．あなたは将来海外研修に参加したい	4.4
8．ディナーセッション（海外研修）は効果的であったと思う	4.8
9．ディナーセッション（ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽアプリ開発）は効果的であったと思う	4.9
10．チューターの介入は効果的であったと思う	5.2
11.発表会は有意義だったと思う	5.5
12.. このような合宿は有意義だと思う	5.5
13．合宿のプログラムは適切であったと思う	5.1
14．この合宿は楽しかった	5.3
15．来年度、また合宿に参加したい	4.9

※「6非常にそう思う～1全くそう思わない」の6段階評価

感想、要望等

・医療実務者・基礎研究者・生物統計学者が集まったdisussionが出来たことで、とても有意義で、質の高いprotocolができるのだということが分かった。→cancer surviverが入ってももっと支わるかもしれないと思った。（10年以上・医師）
・いきなりプロトコルを作れと言われても作れないのでグループデスカッションの前にもう少し具体的な講義があった方が良いと思う。他職種の方とデスカッションして‘考える‘ことは出来たが、このプログラムではプロトコルを‘作る‘ようにはならないと思いました。今回のコンセプトが‘考える‘ことであるのであれば良いが、私は‘作れる‘ようになることを期待して来たので、デスカッション中にもう少し、チューターの介入があっても、コツなどを教えて頂けるものだと思っていました。無言ゲームはパズル自体が難しすぎると思いました。無言じゃなくても出来ません。最後の挨拶は意味不明でした。
・今回ホテルも近く移動にかかる時間短縮され良かった。
・多くの職業の人と話し、楽しい経験になりました。
・他職種のいろいろな意見が聞けてよかった。他県の他職種と出会えたことも大切な経験だった。チューターの方もとても熱心に御助言いただき勉強になった。グループワーク中のチューターの話し声が気になった。グループワーク中、気が散る感じがした。
・色々な専門家の人達とディスカッションする機会はあまりないので、大変良い経験となりました。
・今まで卓上の勉強しかして来なくて、学校でも「化学治療中は生ものを避けた方がよい」と習ってきました。 エビデンスは確かではないがガイドラインでは避けた方が良いと記載されているから。 Pt.へ生モノ避けて下さいと指導しがちですけども。科学的根拠が定かではない中、食べてもよいですよだと思うのですけど。 実際の現場では生モノを食べたいというPt.さんがおおいこと、その根底に食事制限なく安心して普通の生活をしたいというPt.さんのために立ち上がれば、どんなことでも臨床研究になるんだなぁと実感できました（エビデンスを構築する第一歩）。 臨床実験を取り組むにはDr.薬.看護士、統計家あらゆる職種が協力して、ディスカッションをして、常にPt.目線でPt.のために試験を取り組むのが何より大切なことを学びました。（学生・薬学）
・今日の題材は各職種がそれぞれ主体性をもって参加でき、 とても活発な議論できました。とても有意義な時間を過ごせました。次回の参加については題材次第で検討します。 ありがとうございました。ice breakのゲームはルールがわかるまでに5分以上かかりました。 ここですべきことではないのかもしれませんが、実践的なプロトコル作成の詳細までつっこんだグループワークがあっても面白いかもしれません。
・統計の話をつめるには1日では間に合わないように思う。できれば、数日あれば、もっと深く話すことができるのではないか。 他職種との関わりはなかなか持てないのでとても貴重な会になった。

・会場の様子

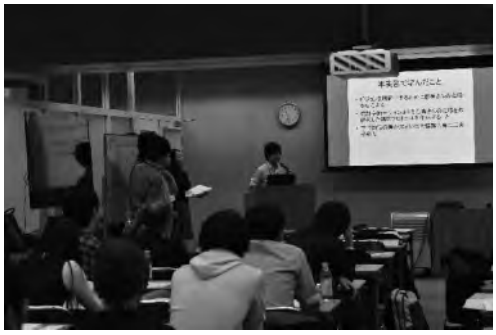
1 日目：グループワーク







2 日目：発表と質疑応答



2 日目：表彰式





4. 各大学企画講座

4-1　順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース（インテンシブコース）【医師・研究者向け講義】

■概要

(1)名称

がんプロインテンシブコース【医師・研究者向け講義】

(2)講義概要

・第 1 回

講義名称：研究プロトコールの基礎

開催日時：平成 28 年 6 月 2 日（木）18：00 ～ 19：30

開催場所：センチュリータワー北 4 階 405 教室

講　　師：アラメディック株式会社 代表取締役社長　林 健一　先生

・第 2 回

講義名称：統計学の基礎

開催日時：平成 28 年 6 月 9 日（木）18：00 ～ 19：30

開催場所：センチュリータワー北 3 階 306 教室

講　　師：順天堂大学 先導的がん医療開発研究センター　大津 洋　非常勤助教

・第 3 回

講義名称：がん臨床研究における統計学

開催日時：平成 28 年 6 月 16 日（木）18：00 ～ 19：30

開催場所：センチュリータワー北 3 階 306 教室

講　　師：金沢大学付属病院先端医療開発センター　吉村 健一　特任教授

・第 4 回

講義名称：疫学研究の基礎

開催日時：平成 28 年 6 月 23 日（木）18：00 ～ 19：30

開催場所：センチュリータワー南 4 階 404 教室

講　　師：順天堂大学 臨床研究支援センター　野尻 宗子　准教授

・第 5 回
講義名称：論文を読む・書くための基礎
開催日時：平成 28 年 6 月 30 日（木）18：00 ～ 19：30
開催場所：センチュリータワー北 4 階 405 教室
講　　師：アラメディック株式会社 代表取締役社長　林 健一　先生

・第 6 回
講義名称：ガイドラインに基づいたがん薬物療法における暴露対策
開催日時：平成 28 年 7 月 2 日（土）13：30 ～ 15：00
開催場所：センチュリータワー北 3 階 306 教室
講　　師：国立がん研究センター東病院　がん看護 CNS　市川 智里　先生

・第 7 回
講義名称：臨床研究の倫理面での配慮（前半）
　　がん患者を対象とした看護研究における倫理的問題への対応（後半）
開催日時：平成 28 年 7 月 7 日（木）18：00 ～ 19：30 【各 45 分】
開催場所：センチュリータワー北 3 階 306 教室
講　　師：順天堂大学 臨床研究支援センター　奥澤 淳司　先任准教授（前半）
　　順天堂大学 医療看護学研究科　岡本 明美　准教授（後半）

・第 8 回
講義名称：医学研究と社会 ー患者中心のチーム医療とコミュニケーションー
開催日時：平成 28 年 7 月 14 日（木）18：30 ～ 20：00
開催場所：センチュリータワー南 4 階 404 教室
講　　師：順天堂大学 臨床薬理学　佐瀬 一洋　教授

・第 9 回
講義名称：がん化学療法の副作用対策を学び、地域医療連携の重要性について考える
開催日時：平成 28 年 7 月 21 日（木）18：00 ～ 19：30
開催場所：センチュリータワー北 3 階 306 教室
講　　師：順天堂大学練馬病院薬剤科　主任 がん専門薬剤師　金 素安　先生

4-2　順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース（インテンシブコース）【医学物理・放射線関係講義】

■概要

(1)名称

がんプロインテンシブコース【医学物理・放射線関係講義】

(2)講義概要

講義名称：PHITS 講習会

開催日時：平成 28 年 11 月 12 日（土）－ 11 月 13 日（日）

開催場所：センチュリータワー北 3 階 306 教室

講　　師：日本原子力研究開発機構 原子力科学研究部門 先端基礎研究センター
環境・放射線科学ディビジョン 放射線挙動解析研究グループ　岩元 洋介　先生

(3)講習会プログラム

11 月 12 日（土）

12：45 － 13：00　受付
13：00 － 13：15　PHITS のインストール
13：15 － 14：00　PHITS の概要説明
14：00 － 15：30　基礎実習 1-1（体系の作成方法）
15：30 － 16：30　基礎実習 1-2（線源の設定方法）
16：30 － 17：30　基礎実習 2（タリーの設定方法）

11 月 13 日（日）

9：30 － 10：30　基礎実習 2 の続き
10：30 － 12：00　基礎実習 3-1（輸送計算に関する設定）
（昼休み）
13：00 － 14：00　基礎実習 3-2（物理モデルの設定）
14：00 － 15：30　総合実習（α線, β線, γ線, 中性子線をとめるには？）
15：30 － 16：30　総合実習（陽子ビームで雪だるまを溶かそう！）
16：30 － 17：00　まとめと質疑応答

4-3　順天堂大学　企画講座（セミナー等）

■概要

（１）名称

「高校生セミナー　顕微鏡の世界 －正常細胞とがん細胞の違い－
～顕微鏡で観る細胞の世界,一緒に覗いてみませんか～」

（２）会場

順天堂大学　本郷・お茶の水キャンパス　センチュリータワー地下１階　形態系実習室

（３）日時、内容

第１回：平成２８年　７月１６日（土）　9：30～16：00

第２回：平成２８年１２月１７日（土）　9：30～16：00

午前の部：「あなたのもう一人の主治医、病理医の仕事」

順天堂大学医学部附属練馬病院　病理診断科　小倉　加奈子　准教授

「私が病理医になるまで・なってから」

順天堂大学医学部附属浦安病院　病理診断科　橋爪　茜　助教

「病理実習へ向けて」

順天堂大学医学部　病理・腫瘍学　佐伯　春美　助教

午後の部：病理標本実習、医学部学生・病理医への質疑応答

（４）参加者の概要

参加者数：　７月１６日（土）：８３名

１２月１７日（土）：３４名

（５）主催、共催、後演

主催：順天堂大学医学部 病理・腫瘍学講座

共催：順天堂大学医学部 人体病理病態学講座

後援：平成 24 年度 文部科学省採択事業 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

平成28年度科学研究費助成事業 挑戦的萌芽研究

『「がん哲学外来」を基盤にした「がん教育・対話学」の確立』

文部科学省 新学術領域研究 『学術研究支援基盤形成』

コホート・生体試料支援プラットフォーム

サクラファインテックジャパン株式会社・TBSテレビ

■資料

・ポスター

中学生も大歓迎！

高校生セミナー

顕微鏡の世界　―正常細胞とがん細胞の違い―

～顕微鏡で観る細胞の世界，一緒に覗いてみませんか～

日時：平成 28 年 7 月 16 日（土）
9 時 30 分～16 時 00 分（受付：9 時 00 分）

場所：順天堂大学　本郷・お茶の水キャンパス
センチュリータワー地下1階　形態系実習室

総合司会）佐伯　春美　順天堂大学医学部病理・腫瘍学

午前の部）9:30-12:00

1）開会の挨拶・がん教育とは
樋野　興夫（順天堂大学医学部　病理・腫瘍学　教授）

2）あなたのもう一人の主治医、病理医の仕事
小倉　加奈子（順天堂大学医学部附属練馬病院　病理診断科　准教授）

3）私が病理医になるまで・なってから
橋爪　茜（順天堂大学医学部附属浦安病院　病理診断科　助教）

休憩　（15 分）

4）病理実習へ向けて
佐伯　春美（順天堂大学医学部　病理・腫瘍学　助教）

昼食（12:00-13:00）

午後の部）13:00-16:00

5）病理標本実習

休憩　（15 分）

6）医学部学生・病理医への質疑応答

7）総括・閉会の挨拶
加藤　俊介（順天堂大学医学部　腫瘍内科学　教授）

主催） 順天堂大学医学部　病理・腫瘍学講座

共催） 順天堂大学医学部　人体病理病態学講座

後援） 平成 24 年度 文部科学省採択事業　がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
平成 28 年度科学研究費助成事業 挑戦的萌芽研究『「がん哲学外来」を基盤にした「がん教育・対話学」の確立』
文部科学省 新学術領域研究『学術研究支援基盤形成』コホート・生体試料支援プラットフォーム
サクラファインテックジャパン株式会社・TBS テレビ・朝日新聞（申請中）

協賛） サクラファインテックジャパン株式会社・特定非営利活動法人病理診断の総合力を向上させる会

定員） 60 名（定員になり次第、募集を締め切ります）

問い合わせ・申し込み先）

申し込み：2016 年 5 月 16 日(月)　10 時～開始

裏面、申し込み用紙に氏名、在学校名、学年を明記の上、下記 E-mail アドレスにお申し込み下さい。

問い合わせ：順天堂大学医学部病理・腫瘍学講座（東京都文京区本郷 2-1-1）

担当　佐伯　（E-mail: juntendo.pathology2@gmail.com）

＊　当日はお弁当をご用意しております。

JUNTENDO UNIVERSITY, SCHOOL OF MEDICINE

■資料

・ポスター

第2回　高校生セミナー

中学生も大歓迎！

顕微鏡の世界　—正常細胞とがん細胞の違い—

～顕微鏡で観る細胞の世界，一緒に覗いてみませんか～



日時：平成 28 年 12 月 17 日（土）
9 時 30 分～16 時 00 分（受付：9 時 15 分）

場所：順天堂大学　本郷・お茶の水キャンパス
センチュリータワー地下1階　形態系実習室

総合司会）佐伯　春美　順天堂大学医学部病理・腫瘍学

午前の部）9:30-12:00

1）開会の挨拶・がん教育とは
樋野　興夫（順天堂大学医学部　病理・腫瘍学　教授）

2）あなたのもう一人の主治医、病理医の仕事
小倉　加奈子（順天堂大学医学部附属練馬病院　病理診断科　准教授）

3）私が病理医になるまで・なってから
橋爪　茜（順天堂大学医学部附属浦安病院　病理診断科　助教）

休憩（15 分）

4）病理実習へ向けて
佐伯　春美（順天堂大学医学部　病理・腫瘍学　助教）

昼食（12:00-13:00）

午後の部）13:00-16:00

5）病理標本実習

休憩（15 分）

6）医学部学生・病理医への質疑応答

7）総括・閉会の挨拶
加藤　俊介（順天堂大学医学部　腫瘍内科学　教授）

主催） 順天堂大学医学部　病理・腫瘍学講座

共催） 順天堂大学医学部　人体病理病態学講座

後援） 平成 24 年度 文部科学省採択事業　がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
平成 28 年度科学研究費助成事業 挑戦的萌芽研究『「がん哲学外来」を基盤にした「がん教育・対話学」の確立』
文部科学省 新学術領域研究『学術研究支援基盤形成』コホート・生体試料支援プラットフォーム
サクラファインテックジャパン株式会社・TBS テレビ

協賛） サクラファインテックジャパン株式会社・特定非営利活動法人病理診断の総合力を向上させる会

定員） 100 名（定員になり次第、募集を締め切ります）

参加費） 無料　　＊ 当日はお弁当をご用意しております。

問い合わせ・申し込み先）

申し込み：2016 年 11 月 1 日（火）10 時～ 開始
氏名、在学校名、学年、連絡先メールアドレスを明記の上、下記 E-mail アドレスにお申し込み下さい
（ドメイン指定等されている場合は、Gmail からのメールが届くようお願い致します）。
問い合わせ：順天堂大学医学部病理・腫瘍学講座（東京都文京区本郷 2-1-1）
担当　佐伯（E-mail: juntendo.pathology2@gmail.com）

JUNTENDO UNIVERSITY, SCHOOL OF MEDICINE

4-4　順天堂大学　企画講座（セミナー等）

■名称

（１）名称

「～研究を楽しむためのセミナー2016～　クローナル造血の臨床的意義」

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年７月２６日（火）　16：00～17：30

講義会場：順天堂大学９号館４Ｆ　第２会議室

（３）演者

高橋　康一　先生

Assistant Professor,

Department of Leukemia,Division of Cancer Medicine,

The University of Texas MD Anderson Cancer Center,Houston,TX

（４）参加者の概要

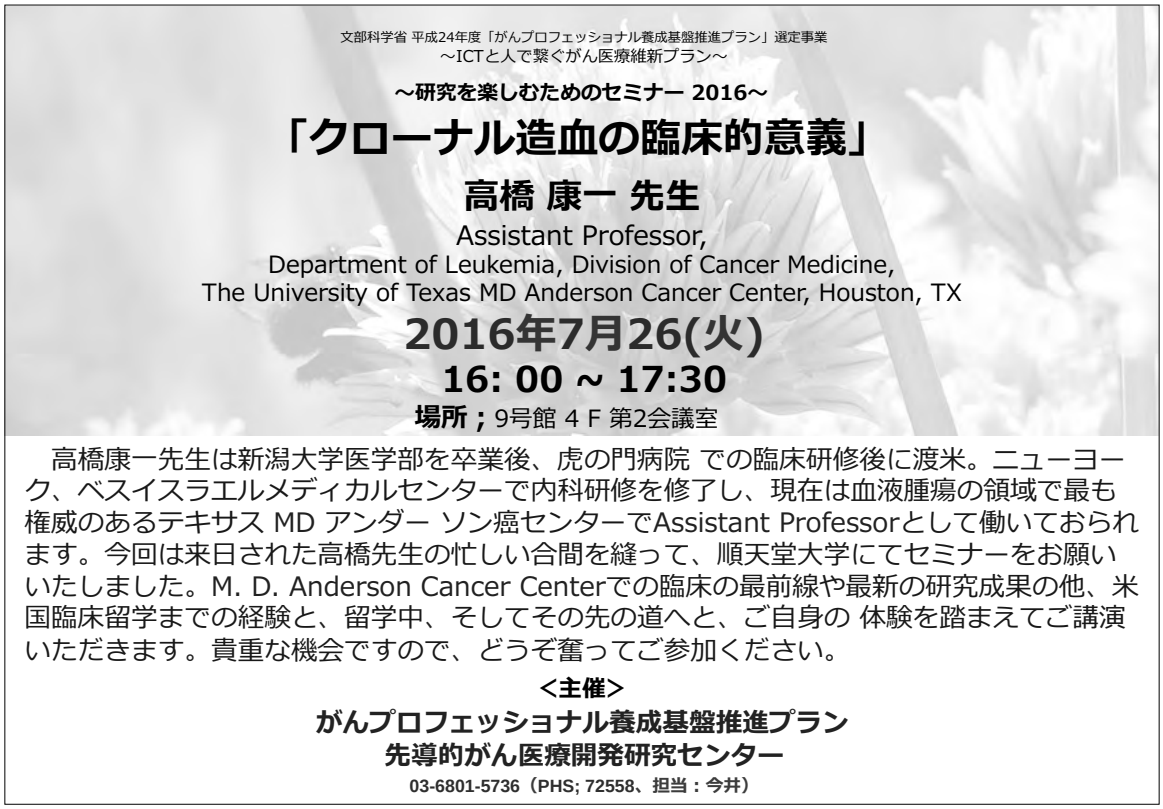
参加者数：１７名

（５）主催

順天堂大学　先導的がん医療開発研究センター

■資料

・ポスター



高橋康一先生は新潟大学医学部を卒業後、虎の門病院 での臨床研修後に渡米。ニューヨーク、ベスイスラエルメディカルセンターで内科研修を修了し、現在は血液腫瘍の領域で最も権威のあるテキサス MD アンダー ソン癌センターでAssistant Professorとして働いておられます。今回は来日された高橋先生の忙しい合間を縫って、順天堂大学にてセミナーをお願いいたしました。M. D. Anderson Cancer Centerでの臨床の最前線や最新の研究成果の他、米国臨床留学までの経験と、留学中、そしてその先の道へと、ご自身の 体験を踏まえてご講演いただきます。貴重な機会ですので、どうぞ奮ってご参加ください。

<主催>

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

先導的がん医療開発研究センター

03-6801-5736（PHS; 72558、担当：今井）

4-5　順天堂大学　企画講座（セミナー等）

■概要

（１）名称

全国がんプロ e-learning クラウド受講講習会【薬剤師対象】

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年９月８日（木）　18：00～

開催会場：御茶ノ水センタービル第２会議室

（３）講師

先導的がん医療開発研究センター　今井　美沙　助教

（４）講義概要

本講習会は、講師となる先生がe-learningシステムへエンターし講義１本を聴講、受講済みとなるところまでを解説しながら実演。

講義タイトル：がん化学療法のレジメントチェック　筑波大学　幸田　幸直　教授

（５）参加者の概要

参加者数：１３名

（６）主催

順天堂大学

■資料

・ポスター

平成28年度大学院特別講義
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

次世代先導的がん専門医療人養成コース（インテンシブ・コース）

全国がんプロe-learningクラウド 受講講習会

講師　今井　美沙　先生

（先導的がん医療開発研究センター　助教）

本講習会は、講師となる先生がe-learningシステムへエンターし
講義１本を聴講、受講済みとなるところまでを解説しながら実演。
講義タイトル：がん化学療法のレジメントチェック
筑波大学　幸田 幸直　教授

ご参加いただいた方はe-learningを1コマ受講したこととなります。



【日時】
平成28年9月8日（木）18:00 ～

【会場】
御茶ノ水センタービル第2会議室

問い合わせ先：順天堂大学本郷・お茶の水キャンパス教務課内　がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局

TEL：03-5802-1710（直通）　内線：3756
MAIL：ganpro@juntendo.ac.jp

4-6　順天堂大学　企画講座（セミナー等）

■概要

（１）名称

「～研究を楽しむためのセミナー2016～

“Updated Fluid-Mosaic Membrane Model and the Use of

Membrane Lipid Replacement for Chronic Illnesses and Cancer”」

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年１２月１２日（月）　11：00～12：00

講義会場：センチュリータワー北４Ｆ 406 教室

（３）演者

Garth L. Nicolson, Ph.D.

Founder, President, Chief Scientific Officer and Emeritus Professor of Molecular Pathology The Institute for Molecular Medicine

（４）参加者の概要

参加者数：３８名

（５）主催、共催

主催：難病の診断と治療研究センター・糖鎖創薬研究室

共催：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

■資料

・ポスター


文部科学省 平成24年度「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」選定事業
～ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン～
～研究を楽しむためのセミナー 2016～
"Updated Fluid-Mosaic Membrane Model and the Use of Membrane Lipid Replacement for Chronic Illnesses and Cancer"
Garth L. Nicolson, Ph.D.
Founder, President, Chief Scientific Officer and
Emeritus Professor of Molecular Pathology
The Institute for Molecular Medicine
2016年12月12日(月)
11: 00 ~ 12:00
場所；センチュリータワー 北４F　406 教室
Garth Nicolson博士は、細胞膜の流動モザイクモデルの提唱者として名高い。S. J. Singer博士と共著で1972年にScience誌に発表されたこの論文は、Nicolson博士の博士論文を発展させたものであったが、そこで述べられている細胞膜の構築がダイナミックに変化するという概念は、その後の細胞シグナル、細胞間相互作用、細胞オルガネラの機能などの研究の発展に大きな影響を与えた。この研究成果はもともと細胞表面の糖鎖の分布状態を糖鎖結合タンパク質を使って電子顕微鏡で検出することによって達成されたものであった。同時にNicolson博士は、細胞表面の糖鎖の動き易さががん細胞と正常細胞で異なることを発見した。これらの成果を背景に、がん転移の研究に向かったNicolson博士は、がん転移における血管内皮の重要性を早くから指摘し、血管内皮細胞外マトリックスの成分であるヘパラン硫酸を分解する酵素ががん転移に関与することを発見するなど、この領域に数多くの貢献をした。その後は流動モザイクモデルの考えに基づき、リン脂質と抗酸化物質を用いた膜脂質置換療法を慢性疾患や原因不明疾患の治療に積極的に導入し、成功をおさめている。
<主催>
難病の診断と治療研究センター・糖鎖創薬研究室
03-5802-1222（内線; 3422、担当：入村）
<共催>
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
基礎研究医養成プログラム

4-7　順天堂大学　企画講座（セミナー等）

■概要

（１）名称

「～研究を楽しむためのセミナー 2016～

“Understanding human disease pathogenesis using genomics approaches”」

（２）日時、会場

開催日時：平成２９年１月２０日（金）18:30～20:00

講義会場：センチュリータワー 北 ４Ｆ　406 教室

（３）演者

Murim Choi, PhD

Assistant Professor, Seoul National University

（４）参加者の概要

参加者数：２２名

（５）主催

順天堂大学　先導的がん医療開発研究センター

■資料

・ポスター



Choi博士は、Yale大学のRichard Lifton研究室において、世界に先駆けて、全エクソン配列解析手法の構築と、その臨床応用を行いました（Choi, M. et al, Proc. Natl. Acad. Sci. USA. (2009) 106:19096-19101）。その後、全エクソン配列解析を用いて、がんを含む多くの臨床的な問題に取り組んで来ており、すでに６０本近い論文をトップジャーナルに発表してきています。セミナーでは、患者のゲノム情報に基づき治療を行うゲノム医療について、開発者の立場から、最新の知見をお話しいただきます。多数の御来聴をお待ち致しております。

＜主催＞

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
教務課(大学院担当内) がんプロ事務局（ex：3756）

先導的がん医療開発研究センター
03-6801-5736（PHS; 72558、担当：今井）

4-8　順天堂大学　文京区立小学校・中学校でのがん教育講演

■概要

（１）名称

文京区立小学校・中学校でのがん教育講演

（２）日時、開催場所、参加者数、担当教員

【第１回】平成２８年６月３０日（木）14：35～15：20

文京区立本郷小学校　６年生７７名

分子病理病態学　樋野　興夫　教授

【第２回】平成２８年９月９日（金）13：30～14：20

文京区立文林中学校　中学校３年生１５名

臨床薬理学　佐藤　一洋　教授

【第３回】平成２８年１２月１０日（土）9：40～11：30

文京区立第一中学校　全校生徒１１３名＋（保護者）

臨床腫瘍学　加藤 俊介　教授

【第４回】平成２８年１２月２０日（火）14：20～15：05

文京区立窪町小学校　６年生１１０名

消化器内科学　加藤　順子　准教授

【第５回】平成２９年１月１４日（土）10：40～11：30

文京区立第九中学校　全校生徒３２０名

呼吸器内科学　髙橋　和久　教授

【第６回】平成２９年２月１４日（火）13：30～14：15

文京区立誠之小学校　６年生１２９名

臨床検査医学　田部　陽子　特任教授

（３）主催

順天堂大学

4-9　順天堂大学　さくらキャンパスでのがん教育

①教員免許状更新講習での講義

【教員免許状更新講習について】

講習日時：平成 28 年 8 月 17 日(水)　15：15～16：45

会場：順天堂大学 さくらキャンパス

担当教員：臨床薬理学　佐瀬 一洋　教授

参加人数：２７名

②スポーツ健康科学部での講義

日時と担当教員：平成28年6月23日（木）14：40～16：10 加藤 俊介 教授

平成28年6月28日（火）10：40～12：10 田部 陽子 先任准教授

タ　イ　ト　ル：「がん教育を進めるにあたっての基礎知識」

講　義　内　容：平成27年10月21日 がん教育講演会での加藤教授の講演内容をベースとして、前半に講義、後半はグループワーク行う。

参加者：平成28年6月23日（木）　:142名

平成28年6月28日（火）：106名

【前半】：講義

①. がんに対する予防法、検診の重要性、治療法や患者やその家族に対する思いやりの心を育むことで、自他の健康と命の大切さについて学ぶ健康教育の一環であることを説明。

②. 実際に子供達に教えるがんの基礎知識（疫学、発生要因、発生リスクを下げる生活習慣、検診の重要性、治療法、患者や家族への思いやり）などについて説明。

【後半】：グループワーク

10人程度のグループにわかれて、自分たちが教える立場になったときを想像し、子供達にがん教育を行っていく上でのプログラムや教材作りについて話し合い、それぞれがその成果について報告。

【テーマ】

1. 健康と命の大切さ
2. がんの予防と早期発見の重要性
3. がん患者とともに生きる社会

4-10　順天堂大学　平成 28 年度 文京区小学校教員対象講習会「小学校段階で必要ながん教育の在り方を考える」

■概要

（１）名称

平成２８年度 文京区小学校教員対象講習会

「小学校段階で必要ながん教育の在り方を考える」

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年７月２９日（金）　14：15～16：30

講義会場：順天堂大学第２教育棟５階５０１

（３）内容、講師

1. 講演『がん教育』～課題と展望～
2. グループディスカッション
3. オープンディスカッション

順天堂大学大学院医学研究科分子病理病態学

順天堂大学医学部 病理・腫瘍学　　樋野 興夫　教授

（４）参加者の概要

参加者数：２０名

（５）主催、後援

主催：文京区教育委員会教育センター

後援：文部科学省 平成 24 年度「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」

選定事業 ～ICT と人で繋ぐがん医療維新プラン、

順天堂大学大学院先導的がん医療開発研究センター、

文部科学省 新学術領域研究『学術研究支援基盤形成』

「コホート・生体試料支援プラットフォーム 」

■資料

・ポスター

平成２８年度 文京区立小学校教員対象講習会

小学校段階で必要ながん教育の在り方を考える

日時　平成２８年7月２９日（金）１４時１５分～１６時３０分

会場　順天堂大学第２教育棟５階５０１（文京区本郷２－１－１）

講師　順天堂大学大学院医学研究科分子病理病態学
順天堂大学医学部 病理 ・ 腫瘍学
樋野 興夫 教授

内容　1　講演『がん教育』～課題と展望～

2　グループディスカッション

3　オープンディスカッション



樋野 興夫教授 プロフィール

1954年島根県生まれ。米国アインシュタイン医科大学肝臓センター、米国フォックスチェース癌センター、癌研究会癌研究所実験病理部長等を経て、現在、順天堂大学医学部病理・腫瘍学教授、医学博士。2008年「がん哲学外来」を開設。



〔問合せ先〕
文京区教育センター
０３－５８００－２５９１

主催；文京区教育委員会教育センター

後援；
文部科学省 平成24年度「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」選定事業　～ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン～
順天堂大学大学院先導的がん医療開発研究センター
文部科学省 新学術領域研究『学術研究支援基盤形成』「コホート・生体試料支援プラットフォーム」

4-11　順天堂大学　宇宙服アートプロジェクト

■概要

（１）名称

山崎直子宇宙飛行士と一緒に宇宙飛行士さんの服を作ろう！！

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年９月８日（木）　13：30～15：00

講義会場：順天堂医院１号館１０階　カンファレンスルーム

（３）内容

順天堂大学と包括的協力協定を結んでいるアメリカ最大のがんセンターMDAnderson がんセンターでは、2014 年より NASA と共同で、小児がん患者支援プロジェクト“宇宙服アートプロジェクト（Space Suit Art Project）” を実施しています。このプロジェクトは、小児がんの子供たちが自らの夢を込めてパッチワークの宇宙飛行士服を共同で作成して、これを宇宙飛行士が宇宙ステーションに送るというものです。

3 回目にあたる 2016 年は、国際共同プロジェクトが企画されました。これにより、国際宇宙ステーションを共同運用する日本、ロシア、カナダ、欧州宇宙機関の宇宙センター設置都市をめぐり、各都市の代表的病院で小児がん患者による宇宙飛行士服のパッチワークペイントイベントと宇宙センター見学を実施します。訪問都市は、東京、モスクワ、ケルン、モントリオールです。

日本では、山崎直子宇宙飛行士が参加し、9 月 8 日に順天堂医院と聖路加国際病院で、宇宙服用を作るパッチワークの布に子供たちが絵具でおもいおもいの色を塗るイベントが行われました。

（４）主催

順天堂大学

■資料

・ポスター

山崎直子宇宙飛行士と一緒に宇宙飛行士さんの服を作ろう!!

NASAの“宇宙服アートプロジェクト”が順天堂医院にやってきます

日時：9月8日　（木）13 時30分～15時
場所：順天堂医院1号館10階
カンファレンスルーム

・小児科病棟に入院中の患者さん皆さんが参加できます
・就学前のお子さんには保護者の方の同伴が必要です

小児がん患者支援プロジェクト“宇宙服アートプロジェクト”では、闘病中の子供たちのパッチワークで作った宇宙飛行士服ををNASAの国際宇宙ステーションに届けます。





4-12　順天堂大学　難病の診断と治療研究センター糖鎖創薬研究室 開設記念シンポジウム「糖鎖創薬：臨床からの期待」

■概要

（１）名称

開設記念シンポジウム　「糖鎖創薬：臨床からの期待」

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年１１月１７日（木）　14：00～17：00

講義会場：順天堂大学１０号館　１階会議室

（３）演者

・癌の臨床で直面している問題点　順天堂大学：堀本　義哉　准教授

・アスベストと中皮腫　順天堂大学：樋野　興夫　教授

・糖鎖創薬の可能性　順天堂大学：入村　達郎　特任教授

・C 型レクチンと創薬　東京理科大学：岩倉　洋一郎　教授

・糖鎖による認知症疾患の制御

理化学研究所：北爪　しのぶ　副チームリーダー

・抗糖鎖抗体の開発と利用　千葉大学：川島　博人　教授

・フコシル化糖鎖による TRAIL 誘導性細胞死の制御とその癌進展への影響について

大阪大学：森脇　健太　助教

（４）参加者の概要

参加者数：８２名

（５）主催、共催

主催：順天堂大学　難病の診断と治療研究センター・糖鎖創薬研究室

共催：国際環境発がん制御研究会、がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

■資料

・ポスター



順天堂大学・難病の診断と治療研究センター
糖鎖創薬研究室
開設記念シンポジウム
糖鎖創薬：臨床からの期待
2016年11月17日(木)
14:00 ~ 17:00

場所: 順天堂大学10号館1階会議室

14:00 ご挨拶（代田浩之：順天堂大学・医学部長）
14:05 ご挨拶（入村達郎：順天堂大学）
　--座長：齊藤光江：順天堂大学--
14:10 癌の臨床で直面している問題点（堀本義哉：順天堂大学）
14:30 アスベストと中皮腫（樋野興夫：順天堂大学）
14:50 糖鎖創薬の可能性（入村達郎：順天堂大学）
15:10 C型レクチンと創薬（岩倉洋一郎：東京理科大学）
　--15:30-15:50（休憩）--
　--座長：伝田香里：順天堂大学--
15:50 糖鎖による認知症疾患の制御（北爪しのぶ：理研）
16:10 抗糖鎖抗体の開発と利用（川島博人：千葉大学）
16:30 フコシル化糖鎖によるTRAIL誘導性細胞死の制御とその癌進展への影響について（森脇健太：大阪大学）
16:50 まとめ（入村達郎：順天堂大学）
16:55 ご挨拶（千葉靖典：産総研）

＜主催＞　順天堂大学・難病の診断と治療研究センター・糖鎖創薬研究室
電話:03-5802-1222/順天堂内線:3422（担当：白鳥）
＜共催＞　国際環境発がん制御研究会
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン



4-13　順天堂大学　～公開シンポジウム～　『がん教育』について考える

■概要

（１）名称

～公開シンポジウム～『がん教育』について考える

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年１２月１４日（水）18：00～20：00

講義会場：文京シビックホール小ホール

（３）演者

基調講演.１：「がん教育について考える～それぞれの立場の人に求められるもの～」

がん・感染症センター 都立駒込病院 院長　鳶巣 賢一

基調講演.２：「がん教育への期待と課題」

読売新聞東京本社編集局社会保障部 次長 本田 麻由美

パネルデスカッション：地域と共に行う「がん教育」

（４）参加者の概要

参加者数：６３名

（５）主催、企画・共催

主催：文京区教育委員会

企画・共催：順天堂大学大学院先導的がん医療開発研究センター

平成 28 年度科学研究費助成事業 挑戦的萌芽研究

■資料

・ポスター

～ 公開シンポジウム ～

「がん教育」について考える

2人に1人が「がん」になる時代。そんな世の中だからこそ、「がん」を通して命の大切さを伝える「がん教育」が学校教育に導入されます（平成29年度より）。本シンポジウムでは、「がん」を専門とする医師から正しい知識を学び、「がん」に向き合い、地域と医療現場が連携した「がん教育」を考えます。

総合司会：内藤 裕子 (NHKアナウンサー)

挨拶

南　新平

文京区教育委員会教育長

基調講演.1



鳶巣 賢一

がん・感染症センター 都立駒込病院 院長

京都大学医学部卒業。京都大学、国立がんセンター、静岡がんセンター、聖路加国際病院などを経て、現職。医学博士。
専門は泌尿器科がんの手術・化学療法、がんに関連した集学的治療、再建手術。

「がん教育について考える
～それぞれの立場の人に求められるもの～」

基調講演.2

本田 麻由美

読売新聞東京本社編集局社会保障部 次長

お茶の水女子大卒業後、読売新聞社入社。2002年5月、自身の乳がんが見つかる。約10年間の治療を続けながらも、闘病体験に基づく医療コラムを連載。著書「３４歳でがんはないよね？」がある。



「がん教育への期待と課題」

パネルディスカッション

地域と共に行う「がん教育」

総括

樋野 興夫



順天堂大学医学部病理・腫瘍学　教授
一般社団法人「がん哲学外来」理事長

1954年年島根県生まれ。
米国アインシュタイン医科大学肝臓センター、米国フォックスチェース癌センター、癌研究会癌研究所実験病理理部部長等を経て、現職。医学博士。
2008年「がん哲学外来」を開設。第68回「保健文化賞」受賞。

2016年12月14日(水) 18:00-20:00

文京シビックホール小ホール

主催；文京区教育委員会

<企画･共催>

順天堂大学大学院先導的がん医療開発研究センター
平成28年度科学研究費助成事業 挑戦的萌芽研究

<問い合わせ先>

本郷・お茶の水キャンパス教務課(大学院担当内）がんプロ事務局(ex：3756)

4-14　順天堂大学　キャンサーボード

■概要

・キャンサーボード①

耳鼻科症例：中咽頭進行癌、直腸癌、胃癌の多重癌症例

開催日時：平成 28 年 4 月 7 日（木）

関連科：大腸肛門外科、食道胃外科、消化器内科

・キャンサーボード②

1．大腸肛門外科症例：直腸癌術後に直腸右側方 LN＋右胸骨傍 LN 転移出現した症例

関連科：乳腺科、呼吸器外科、泌尿器科、病理診断科、放射線科、腫瘍内科

2．食道胃外科症例：食道癌術後、縦隔リンパ節転移・多発肝転移・頚椎転移の症例

関連科：腫瘍内科

開催日時：平成 28 年 4 月 28 日（木）

・キャンサーボード③

血液内科症例：肺癌化学療法後、悪性リンパ腫と診断された症例

開催日時：平成 28 年 5 月 12 日（木）

関連科：呼吸器内科、病理診断科

・キャンサーボード④

1．総合診療科症例：原発不明がんの症例

関連科：呼吸器内科、消化器内科、病理診断科

2．呼吸器内科症例：サルコイドーシス経過中に全身リンパ節腫大を認め、
生検で hystiocytic cell tumor の疑いとされた症例

関連科：血液内科、病理診断科

開催日時：平成 28 年 6 月 2 日（木）

・キャンサーボード⑤

1．大腸肛門外科症例：骨盤内巨大腫瘤の症例

関連科：総合診療科、放射線科、腫瘍内科、消化器内科、心臓血管外科、
整形外科、病理診断科

2．形成外科症例：左下眼瞼悪性腫瘍術後に再発を繰り返している症例

関連科：放射線科、腫瘍内科、耳鼻科

開催日時：平成 28 年 6 月 9 日（木）

・キャンサーボード⑥

1．小児外科・小児科症例：高リスク神経芽腫症例

関連科：放射線診断科、放射線治療科、病理診断科

2．婦人科症例

関連科：泌尿器科、腫瘍内科

開催日時：平成 28 年 6 月 23 日（木）

・キャンサーボード⑦

婦人科症例：卵巣癌術後に胃周囲巨大嚢胞性腫瘤を認めた症例

開催日時：平成 28 年 6 月 30 日（木）

関連科：消化器内科、食道胃外科、肝胆膵外科、大腸肛門外科、腫瘍内科、
病理診断科

・キャンサーボード⑧

腫瘍内科症例：悪性黒色腫多発脳転移に対し免疫チェックポイント阻害薬使用した症例

開催日時：平成 28 年 7 月 14 日（木）

関連科：消化器内科、呼吸器内科、膠原病・リウマチ内科、
血液内科、代謝内分泌内科、皮膚科、肝胆膵外科

・キャンサーボード⑨

消化器内科症例：骨盤内腫瘤を認めた症例

開催日時：平成 28 年 7 月 21 日（木）

関連科：大腸肛門外科、泌尿器科、放射線科、腫瘍内科

・キャンサーボード⑩

小児科症例：1 歳時に膀胱原発横紋筋肉腫の治療後、
今回 2 がんと考える骨盤内腫瘤（骨肉腫）を生じた症例

開催日時：平成 28 年 7 月 28 日（木）

関連科：小児外科、整形外科、婦人科、大腸肛門外科、泌尿器科

・キャンサーボード⑪

大腸肛門外科：盲腸癌腹膜播種で化学療法継続されている症例

開催日時：平成 28 年 9 月 1 日（木）

関連科：泌尿器科、腫瘍内科、病理診断科

・キャンサーボード⑫

乳腺科：乳癌多発骨転移、肝転移で化学療法中、汎血球減少を呈している症例

開催日時：平成 28 年 9 月 8 日（木）

関連科：血液内科、放射線科、腫瘍内科、病理診断科

・キャンサーボード⑬

泌尿器科：原発不明癌多発骨転移の症例

開催日時：平成 28 年 10 月 6 日（木）

関連科：整形外科、消化器内科、循環器内科、放射線科

・キャンサーボード⑭

1．放射線科：大動脈弁置換術後、冠動脈バイパス術後に肺癌加療予定の症例

関連科：呼吸器外科、呼吸器内科、心臓血管外科、放射線科

2．放射線科：胃癌術後、多発肺腫瘍、腹膜播種疑いの症例

関連科：腫瘍内科、放射線科

開催日時：平成 28 年 10 月 27 日（木）

・キャンサーボード⑮

1．小児科：横紋筋肉腫治療後の二次発がん症例

関連科：整形外科、婦人科、大腸肛門外科、泌尿器科

2．消化器内科：原発不明癌の症例

関連科：呼吸器内科

開催日時：平成 28 年 11 月 10 日（木）

・キャンサーボード⑯

1．大腸肛門外科：S 状結腸癌肝転移肺転移根治手術後再発の症例

関連科：呼吸器内科、呼吸器外科

2．放射線科：自殺企図を伴う精神疾患を合併した子宮頸癌円錐切除術後ⅠB1 の症例

関連科：婦人科　メンタルクリニック

開催日時：平成 28 年 11 月 17 日（木）

・キャンサーボード⑰

泌尿器科：神経原性腫瘍を疑う後腹膜腫瘤症例

開催日時：平成 28 年 11 月 24 日（木）

関連科：整形外科、放射線科

・キャンサーボード⑱

脳神経内科：子宮体癌・傍腫瘍性辺縁系脳炎の症例

開催日時：平成 28 年 12 月 1 日（木）

関連科：婦人科、呼吸器内科、腫瘍内科、病理診断科、放射線科

・キャンサーボード⑲

呼吸器内科：右肺腫瘤・頸部リンパ節腫大の症例

開催日時：平成 28 年 12 月 8 日（木）

関連科：病理診断科　放射線科　腫瘍内科

・キャンサーボード⑳

1．婦人科：子宮体癌・傍腫瘍性辺縁系脳炎の症例

関連科：脳神経内科、呼吸器内科、腫瘍内科、病理診断科、放射線科

2．消化器内科：MAC 症合併の直腸癌症例

関連科：大腸肛門外科、呼吸器内科

開催日時：平成 28 年 12 月 22 日（木）

・キャンサーボード㉑

1．消化器内科：乳がん術後多発リンパ節腫大の症例

関連科：乳腺科、食道胃外科、放射線科

2．婦人科：卵巣癌術後の肺腫瘍の症例

関連科：呼吸器内科、病理診断科、婦人科、放射線科

開催日時：平成 29 年 1 月 12 日（木）

・キャンサーボード㉒

脳神経外科：転移性脳腫瘍(melanoma 疑い)の症例

開催日時：平成 29 年 1 月 26 日（木）

関連科：腫瘍内科、皮膚科、放射線科

・キャンサーボード㉓

1．泌尿器科：副腎腫瘍の症例

関連科：肝胆膵外科、食道胃外科、代謝内分泌内科、放射線科

2．大腸肛門外科：上行結腸癌の症例

関連科：産婦人科、泌尿器科、循環器内科、放射線科、病理診断科、心臓血管外科

開催日時：平成 29 年 2 月 2 日（木）

・キャンサーボード㉔

1．大腸肛門外科：乳がんおよび直腸癌の症例

関連科：婦人科、整形外科、泌尿器科、放射線科、乳腺科

2．整形外科：神経鞘腫の症例

関連科：放射線科、婦人科、大腸肛門外科

開催日時：平成 29 年 2 月 9 日（木）

・キャンサーボード㉕

1．耳鼻咽喉科：中咽頭癌術後の症例

関連科：大腸肛門外科、食道胃外科、呼吸器内科、呼吸器外科、形成外科、腫瘍内科、
放射線科

2．脳神経外科：Spinal chondrosarcoma の症例

関連科：腫瘍内科、病理診断科、整形外科、放射線科

開催日時：平成 29 年 2 月 16 日（木）

・キャンサーボード㉖

開催日時：平成 29 年 2 月 23 日（木）

以降、平成 29 年 3 月 9 日（木)、平成 29 年 3 月 23 日（木）開催予定

4-15　順天堂大学　SRE カンファレンス

■概要

・SRE カンファレンス①

主科：血液内科、乳腺センター、整形外科、泌尿器科

開催日時：平成 28 年 4 月 22 日（金）

・SRE カンファレンス②

主科：乳腺センター、血液内科、泌尿器科、呼吸器内科

開催日時：平成 28 年 5 月 6 日（金）

・SRE カンファレンス③

主科：呼吸器内科、泌尿器科、血液内科、食道胃外科、消化器内科、

開催日時：平成 28 年 5 月 27 日（金）

・SRE カンファレンス④

主科：泌尿器科、乳腺センター、呼吸器内科、大腸肛門外科、消化器内科

開催日時：平成 28 年 6 月 10 日（金）

・SRE カンファレンス⑤

主科：呼吸器外科、大腸肛門外科、血液内科、食道・胃外科、消化器内科

開催日時：平成 28 年 6 月 24 日（金）

・SRE カンファレンス⑥

主科：乳腺センター、呼吸器外科、血液内科、呼吸器内科、泌尿器科、整形外科

開催日時：平成 28 年 7 月 8 日（金）

・SRE カンファレンス⑦

主科：整形外科、乳腺センター、泌尿器科

開催日時：平成 28 年 8 月 5 日（金）

・SRE カンファレンス⑧

主科：消化器内科、食道胃外科、呼吸器外科、整形外科、泌尿器科

開催日時：平成 28 年 8 月 26 日（金）

・SRE カンファレンス⑨

主科：泌尿器科、消化器内科、血液内科、呼吸器内科

開催日時：平成 28 年 9 月 9 日（金）

・**SRE カンファレンス⑩**

主科：耳鼻咽喉・頭頸科、呼吸器内科

開催日時：平成 28 年 9 月 30 日（金）

・**SRE カンファレンス⑪**

主科：消化器内科、泌尿器科、大腸肛門外科、血液内科

開催日時：平成 28 年 10 月 14 日（金）

・**SRE カンファレンス⑫**

主科：血液内科、呼吸器内科、泌尿器科、食道・胃外科、

開催日時：平成 28 年 11 月 4 日（金）

・**SRE カンファレンス⑬**

主科：呼吸器内科、泌尿器科、消化器内科

開催日時：平成 28 年 11 月 18 日（金）

・**SRE カンファレンス⑭**

主科：血液内科、乳腺センター、食道胃外科、大腸肛門外科、泌尿器科、呼吸器内科

開催日時：平成 28 年 12 月 2 日（金）

・**SRE カンファレンス⑮**

主科：呼吸器内科、泌尿器科、婦人科、腎・高血圧内科

開催日時：平成 28 年 12 月 16 日（金）

・**SRE カンファレンス⑯**

主科：胆肝膵外科、呼吸器内科、婦人科、腎・高血圧内科、血液内科、食道胃外科

開催日時：平成 29 年 1 月 6 日（金）

・**SRE カンファレンス⑰**

主科：呼吸器内科、整形外科、食道胃外科、消化器内科

開催日時：平成 29 年 1 月 20 日（金）

・**SRE カンファレンス⑱**

主科：呼吸器内科、食道胃外科、消化器内科、乳腺センター、肝胆膵外科

開催日時：平成 29 年 2 月 3 日（金）

以降、平成 29 年 3 月開催予定

4-16　島根大学・鳥取大学
山陰がん認定医療スタッフ育成コース（インテンシブ）夏季セミナー

■概要

（１）名称

山陰がん認定医療スタッフ育成コース（インテンシブ）夏季セミナー

（２）日時、会場、講師

開催日時：平成２８年９月２５日（日）8：30～16：30

講義会場：鳥取大学医学部附属病院がんセンターキャンサーボード

島根大学医学部附属病院みらい棟４階ギャラクシー

サテライト会場：鳥取市立病院、鳥取県立中央病院、浜田医療センター

講師：鳥取大学医学部教職員、島根大学医学部教職員

（３）参加者数：３９名（講師含む）

■資料

・ポスター

文部科学省大学改革推進事業がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
<ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン>

山陰がん認定医療スタッフ育成コース（インテンシブ）夏季セミナー

日時:平成 28年 9月 25日(日）8:30～16:30

幅広いがん領域の最新治療法などを学べる集中講義を行います。
どなたでもご参加いただけます。
鳥取大学、島根大学よりTV会議配信いたしますので、各所属施設で受講可能です。

（講義会場）鳥取大学医学部附属病院がんセンターキャンサーボード
島根大学医学部附属病院みらい棟４階ギャラクシー

（サテライト予定会場）TV会議システムで受講可能
鳥取市立病院、鳥取県立中央病院、鳥取生協病院、
島根県済生会江津総合病院、町立奥出雲病院、出雲市立総合医療センター、
浜田医療センター
（講　師）　鳥取大学医学部教職員、島根大学医学部教職員
※詳細は確定次第連絡いたします。

（講義内容）１講義３０分前後で幅広い領域のがん医療について学ぶことができます。
（履　修）　終日出席で６講義出席相当（半日は３講義相当）とします。

（昼　食）各自ご準備下さい。
（参加費）無料
（教材費）無料　テキストを配布いたします。
(お申込）チラシ裏面の必要事項をご記入の上、FAXにてお申込下さい。
メールの場合は申込書に入力の上添付でお送りください。
鳥取県内の方→鳥取大学FAX：0859-38-7109へ/島根県内の方→島根大学FAX：0853-20-2580へ

（申込締切）平成２８年８月２６日（金）

主催：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン<ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン>
山陰がん認定医療スタッフ育成コース（インテンシブ）鳥取大学、島根大学
後援：都道府県がん診療連携拠点病院 鳥取大学医学部附属病院/島根大学医学部附属病院
島根呼吸・感染・がん研究会

問合せ先
鳥取大学医学部学務課教務係　がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン担当
〒683-8503　鳥取県米子市西町86番地　電話：0859-38-7098　FAX：0859-38-7109
メール： me-kyoumu@adm.tottori-u.ac.jp

島根大学医学部　がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務室
〒693-8501　出雲市塩冶町89-1　電話：0853-20-2576　FAX：0853-20-2580
メール：ganpro@med.shimane-u.ac.jp　　**※土日祝日の連絡はメールでお知らせ願います。**

平成28年度がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
山陰がん認定医療スタッフ育成インテンシブコース
夏季セミナー　開催報告書

◆鳥取会場（付属病院がんセンター2階キャンサーボード）



参加者：計３９名（講師含む）

【鳥取大学医学部附属病院・鳥取県立中央病院・鳥取県市立病院・鳥取生協病院】

※島根大学、島根県の各病院とも接続して合計１４人の講師の先生に講義をしていただきました。

■（島根大学会場）医学部附属病院みらい棟４階ギャラクシーの様子



礒部　威先生



猪俣　泰典先生



中谷　俊彦先生



沖本　民生先生



鈴木　賢二先生



陶山　登之先生



島根大学会場の様子



鳥取大学会場（TV 会議画面）



終日参加された方には修了証を授与しました。

平成28年度がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

山陰がん認定医療スタッフ育成　インテンシコース夏季セミナー　**平成28年9月25日（日）**

日程表（案）

開始時刻	時間（分）		テーマ	演者	
8:15	15		受付開始		
8:30	10		がんプロフェッショナル養成基盤推進プランと山陰がん医療の現状と対策	島根大学医学部　内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学　教授	礒部　威
8:40	20	がん診療のトピックス	①画像診断（オンコロジカルイメージング）	島根大学医学部 放射線医学講座 放射線腫瘍学　教授	猪俣　泰典
9:00	30		②緩和ケア	島根大学医学部 緩和ケア講座　教授	中谷　俊彦
9:30	20		③がん相談支援センター	鳥取大学医学部附属病院 がん相談支援センター 専門相談員	吉岡　奏
9:50	20		④放射線療法	島根大学医学部放射線医学講座 放射線腫瘍学　教授	猪俣　泰典
	10		休憩		
10:20	30	がん診療のトピックス	⑤分子標的治療	鳥取大学医学部附属病院 化学療法センター　助教	阪本　智宏
10:50	20		⑥化学療法の副作用対策	鳥取大学医学部附属病院 がんセンター　助教	大山　賢治
11:10	20		⑦地域連携パス	鳥取大学医学部附属病院 がんセンター　専門相談員	足立　寛子
11:30	30		⑧がん救急	島根大学医学　内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学　助教	沖本　民生
12:00	60		昼食		
13:00	20	各種がんの最新情報	①肺がん	鳥取大学医学部分子制御内科学 助教	小谷　昌広
13:20	20		②消化器がん	町立奥出雲病院　院長	鈴木　賢二
13:40	20		④前立腺がん	鳥取大学医学部附属病院 泌尿器科　講師	森實　修一
14:00	20		⑤乳がん	鳥取大学医学附属病院 乳腺内分泌外科　教授	村田　陽子
14:20	10		休憩		
14:30	30	地域がん医療	地域がん医療における看護師の役割	鳥取大学医学部附属病院 がんセンター　看護師長	上田　恵巳
15:00	20		地域がん医療における薬剤師の役割	島根大学医学部附属病院 薬剤部　薬剤主任	陶山　登之
15:20	30		地域がん医療における診療所の役割	ひだまりクリニック院長	福田　幹久
15:50	10		閉会のあいさつ	鳥取大学医学部附属病院 がんセンター　教授	辻谷　俊一

4-17　島根大学・東京理科大学
トランスレーショナルリサーチセミナー

■概要

（１）名称

トランスレーショナルリサーチセミナー

（２）日時、会場

開催日時：平成２９年１月３０日　17：30～21：00

開催場所：島根大学医学部附属病院 A 病棟２階カンファレンス室「さくら」

（３）演者

・『COPD 自然発症モデルマウスについて』

島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　教授　礒部　威

・『非小細胞肺がん細胞株におけるペメトレキセド耐性獲得に関わる SLC19A1 の役割』

島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　主任研究員　谷野　良輔

・『山下研究室の研究紹介』

東京理科大学　薬学部　教授　山下親正

・『Am80 封入多機能ナノ粒子を用いた COPD モデルマウスにおける肺胞修復効果の検討』

東京理科大学　大学院（修士１年）　長島　彰太

・『成人膵芽腫に見られた新規 APC 遺伝子変異の機能解析』

東京理科大学　大学院（修士１年）泉　祐毅

・『がん化学療法に伴う好中球減少と NAMPT 活性および SIRT1 遺伝子発現に関する検討』

東京理科大学　薬学部（５年）根岸　和也

（４）参加者の概要

参加者数：16 名

（５）主催

東京理科大学・島根大学

■資料

・ポスター

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン　<ＩＣＴと人で繋ぐがん医療維新プラン>

トランスレーショナルリサーチセミナー

日時：平成　29年　1月　30日（月）17：30～21：00
場所：島根大学医学部附属病院 A病棟2階カンファレンス室「さくら」

＝プログラム＝

17:30～18:10 トランスレーショナルリサーチセミナー

司会：島根大学医学部附属病院　呼吸器・化学療法内科　講師　津端　由佳里

『COPD自然発症モデルマウスについて』（15分・質疑5分）
島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　教授　礒部　威

『非小細胞肺がん細胞株におけるペメトレキセド耐性獲得に関わるSLC19A1の役割』
島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　主任研究員　谷野　良輔
（15分・質疑5分）

18：10-休憩（10分）

18:20～19:25 東京理科大学より研究についての発表

司会：島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　教授　礒部　威

『 山下研究室の研究紹介』（15分＋質疑5分）
東京理科大学　薬学部　教授　山下親正

『 Am80封入多機能ナノ粒子を用いたCOPDモデルマウスにおける肺胞修復効果の検討』
（10分・質疑5分）　東京理科大学　大学院（修士1年）長島彰太

『 成人膵芽腫に見られた新規APC遺伝子変異の機能解析 』（10分・質疑応答5分）
東京理科大学　大学院（修士1年）泉　祐毅

『 がん化学療法に伴う好中球減少とNAMPT活性およびSIRT1遺伝子発現に関する検討 』
（10分・質疑5分）　東京理科大学　薬学部（5年）　根岸和也

19:25～21:00 フリーディスカッション

本件連絡先：島根大学医学部がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務室
電話：0853-20-2576　FAX：0853-20-2580　E－mail：takeuti@med.shimane-u.ac.jp

4-18　島根大学　平成 28 年度 緩和ケア市民公開講座 「つながる、緩和ケア～がんと診断された時から在宅まで切れ目なく～」

■概要

（１）名称

平成２８年度 緩和ケア市民公開講座

「つながる、緩和ケア～がんと診断された時から在宅まで切れ目なく～」

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年１１月２３日（水）13：00～16：00

講義会場：島根大学医学部　臨床講義棟１階　小講義室

（３）演者

「バカボンパパに学ぶ苦しみの人間学」～聴くこと、語ることの本当の意味～

佐藤　泰子　氏

☆『緩和ケア病棟紹介』　～緩和ケア病棟ってどんなところ？～

☆ 緩和ケアについての質問コーナー

（４）参加者の概要

参加者数：76名

■資料

・ポスター

平成28年度 緩和ケア市民公開講座

入場無料
事前申込
不要

「つながる、緩和ケア」
～がんと診断された時から在宅まで切れ目なく～



基調講演

「バカボンパパに学ぶ苦しみの人間学」
～聴くこと、語ることの本当の意味～

佐藤泰子氏

京都大学大学院修了。京都大学博士（人間・環境学）大学院在中に出産、子育てを経験。博士課程修了後、主に医療系学生への教育と講演活動を行っている。講演では「バカボンパパ」や「ドラえもん」を題材にしながら人間の苦しみと言語の関係を説明し、聴くこと、話すことの構造が分かれば誰でも良い聴き手となり得ることを伝えている。著書：「苦しみと緩和の臨床人間学～聴くこと、語ることの本当の意味」、「患者の力～がんに向き合う、生に向き合う～」等

『緩和ケア病棟紹介』
～緩和ケア病棟ってどんなところ？～

緩和ケアについての質問コーナー

平成28年11月23日（水）　13：00～16：00（開場12：30）
島根大学医学部　臨床講義棟1階 小講義室

主催：島根大学医学部 緩和ケア講座・緩和ケアセンター　共催：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
お問い合わせ先：島根大学医学部 緩和ケア講座 TEL 0853-20-2237

4-19　島根大学　江津市民公開講座

■概要

診療連携を行っている島根県済生会江津総合病院と共同でがんに関する市民公開講座を江津市・江津市医師会の後援を受け、江津のがん医療のこれからを考えよう～をテーマに、肺癌治療、大腸がん治療、放射線治療、緩和ケアなど講演を行います。

（１）名称

第４回江津市民公開講座　～江津のがん医療のこれからを考えよう～

（２）日時、会場

開催日時：平成２９年１月２２日（日）13：30～16：00

開催会場：島根県済生会江津総合病院２階講堂

（３）演者

1.「「食道がん」と「胃がん」予防と治療について」

島根県済生会江津総合病院　消化器科部長　山本　宗平

2.「がん診療のトピックス」

島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学 教授　礒部　威

3.「緩和ケアにおける放射線治療」

島根大学医学部　放射線医学講座　放射線腫瘍学 教授　猪俣　泰典

（４）参加者の概要

参加者数：16 名

（５）主催

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン（島根大学）

（６）当日の様子

質問コーナーでは、医療の正確な最新情報を一般の方が知る方法は無いのでしょうかという意見があり、学会のホームページや市民公開講座などに出席いただき、医療関係者と質疑応答ができる形をとるのが良いという意見が出されました。今後の広報活動について検討させていただきたいと思います。

■資料

・ポスター

第4回　江津市民公開講座

～江津のがん医療のこれからを考えよう～



日時：平成29年1月22日（日）　13:30～16:00
会場：島根県済生会江津総合病院　2階講堂

第1部講演会　13:30～

開会の辞：医療法人社団　森医院　理事長　　森　眞爾先生

座長：島根県済生会江津総合病院　副院長　竹林　正孝先生

1.「「食道がん」と「胃がん」予防と治療について」
島根県済生会江津総合病院　消化器科部長　山本　宗平先生

2.「がん診療のトピックス」
島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学
教授　礒部　威先生

3.「緩和ケアにおける放射線治療」
島根大学医学部　放射線医学講座　放射線腫瘍学
教授　猪俣　泰典先生

第2部　質問コーナー　15:30～

事前アンケートをもとに質疑応答をおこないます。
司会：島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学
教授　礒部　威先生



主　催　：　がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
共催/後援　：　済生会江津総合病院/江津市・江津市医師会
お問合せ：　がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局
電　話　：　0853-20-2576（平日9：00～16：00）
ＦＡＸ：　0853-20-2580
E-mail：　ganpro@med.shimane-u.ac.jp

4-20　島根大学　川合小学校がん教育

■概要

（１）名称

島根県大田市立川合小学校　がん教育（島根大学病院にてがんに関する部門見学）

（２）日時、会場

開催日時：平成２９年１月２３（月）10：00～14：00

会　　場：島根大学医学部附属病院 A 病棟２階　さくら

見学場所：緩和ケアセンター、産科婦人科、外来　等

（３）見学内容概略

川合小学校で取り組まれている「がん教育」の授業の一環として島根大学病院のがんに関連する診療科・病棟などの見学を行う。がんプロ教員が院内の案内・説明を行い、授業で学ばれた知識の定着を図る。

（４）参加者の概要

見学者：大田市立川合小学校　児童（6 年生：14 名）

引率教員：2 名（丸亀 貴彦、山田友香)

合計 16 名

対応者：島根大学医学部附属病院　呼吸器・化学療法内科　講師　津端　由佳里先生

島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　教授　礒部　威先生

島根大学医学部 産科婦人科学講座　教授　京　哲先生

島根大学医学部　緩和ケア講座　教授　中谷　俊彦先生

（５）主催

島根大学

（６）当日の様子

当日は積雪の影響で遅れて開始となりましたが、各科に協力いただき様々な体験をさせていただくことができました。川合小学校ではがん教育に力を入れていらっしゃり、小学生からの質問の内容からもとても良く勉強されていることが分かるものでした。

・スケジュール

時間	場所	内容	担当者
		島根大学医学部附属病院　着	
10:00-10:10	A2 病棟さくら	**オリエンテーション** 担当者紹介、予定説明、風邪の問診、出席確認	津端先生、礒部先生 スタッフ
10:10-10:15	緩和ケア病棟へ移動		誘導（岸田、竹内）
10:15-11:00	緩和ケア病棟	**緩和ケア病棟見学** 患者さんとお話、病室・花壇見学	中谷先生
11：00～11：10	産科婦人科病棟へ移動		誘導（岸田、竹内）
11：10～11：40	産科婦人科病棟	**産科婦人科病棟見学・レクチャー** ・妊婦さんの超音波検査見学（１５分） ・超音波の原理、妊婦健診、胎児計測についてのレクチャー（１５分） **★2 班（A・B）に分かれる**	産科婦人科スタッフ 石川先生
11：40～11：50	A2 病棟さくらへ移動		誘導（岸田、竹内）
11：50～12：35	A2 病棟さくら	**昼食**（各自弁当持参） 礒部先生に小学生から質問	礒部先生・津端先生・事務スタッフが同席
12：35～12：40	クリニカルスキルアップセンターへ移動		誘導（岸田、竹内）
12：40～13：10	クリニカルスキルアップセンター	**聴診体験** 2 班に分かれる 白衣を着て聴診器で心音・肺音を聞くなど	礒部先生 **クリニカルスキルアップセンタースタッフ**
13:10-13:15	A2 病棟さくらへ移動		誘導（岸田、竹内）
13：15-13：30	A2 病棟さくら	**外来診察模擬体験** 患者さんにきていただき、外来診察の説明、問診・聴診を体験	津端先生
13：30-13：50		**質疑応答、礒部先生挨拶** ・集合写真撮影　・アンケート配布 ・津端先生に質問	礒部先生・津端先生 スタッフ
13：50-13：55	バス駐車場所へ移動		誘導（岩根、岸田）
14:00	本部棟玄関前	お見送り	礒部先生、津端先生





4-21　島根大学　企画講座（セミナー等）

■概要

（１）名称

神在りの圀　がんメディカルカフェ

（２）開催日

平成２８年6月１９日（日）

平成２８年１２月２５日（日）

（３）趣旨・目的

がん患者様、ご家族様とお茶を飲みながらなんでもお話しいただく場として開催。

主治医ではないがん治療の専門医が、カフェに居て、がん患者や家族が抱えている悩みについて話を聴くことで、「隙間」を埋めていく。

（４）主催

島根大学

4-22　島根大学　企画講座（セミナー等）

■概要

（１）名称

患者さんと家族のためのセミナー

（２）会場

島根大学医学部付属病院　外来中央診療棟３階「だんだん」

（３）日時、内容

第１回：平成２８年４月２８日（木）18：30～19：30

「副作用とその対策②－吐気・脱毛など－」

島根大学医学部 内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　教授　礒部　威

第２回：平成２８年５月１９日（木）18：30～19：30

「放射線治療の最新事情」

島根大学医学部 放射線医学講座　放射線腫瘍学　教授　猪俣　泰典

第３回：平成２８年７月２１日（木）18：30～19：30

「緩和ケアとは？～島根大学病院の活動をご紹介します～」

島根大学医学部　緩和ケア講座　教授　中谷 俊彦

第４回：平成２８年１１月１７日（木）18：30～19：30

「放射線治療のＱ＆Ａ」

島根大学医学部　放射線医学講座　放射線腫瘍学　教授　猪俣　泰典

第５回：平成２８年１２月１５日（木）18：30～19：30

「緩和ケアとは？島根大学病院の取組み」

島根大学医学部　緩和ケア講座　教授　中谷 俊彦

第６回：平成２９年１月２６日（木）

「がん診療のトピックス－最新治療－」

島根大学医学部 内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　教授　礒部　威

（４）主催

島根大学

4-23　島根大学　企画講座（セミナー等）

■概要

（１）名称

メディカルオンコロジスト養成気管支鏡ハンズオンセミナー

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年９月２６日（月）14：00～18：00

講義会場：（第一部）島根大学医学部附属病院１階　放射線部（気管支鏡検査室）

（第二部）島根大学医学部附属病院 みらい棟４階　ギャラクシー

（３）演者

（第一部）進行：島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　助教　沖本　民生

（第二部）司会：島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　助教　沖本　民生

講演：「肺がん組織を確実に採取するために！

－超音波ガイド下リンパ節生検と栗本分類－」

聖マリアンナ医科大学病院　　教授　栗本　典昭

（４）参加者の概要

参加者数：１４名

（５）主催

島根大学

4-24　島根大学　企画講座（セミナー等）

■概要

（１）名称

第３回　島根呼吸器診療スキルアップセミナー

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年１２月４日（日）9：00～14：15

講義会場：島根大学医学部附属病院　２階　クリニカルスキルアップセンター

（３）主旨・目的

医学生を対象とし、呼吸器診療に必要な技術と知識を教育し、呼吸器診療の素晴らしさを体感してもらう。呼吸器診療に必須である画像診断の極意を、実際の症例を通して学びます。

4-25　島根大学　企画講座（セミナー等）

■概要

（１）名称

日本臨床腫瘍研究グループ（JCOG）および

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（ＡＭＥＤ）長島班の病院見学

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年５月３０日　１０：００～１７：３０

開催場所：島根大学医学部附属病院

（３）目的

島根県の高齢がん診療の実際の視察

（４）見学内容概略

１.島根大学医学部付属病院施設概要紹介ならびに高齢者医療の現状紹介

病院の理念、目標、施設の紹介（礒部）

島根県の高齢がん患者診療の実態について情報提供（津端）

２.病院内見学

電子カルテシステム内の高齢者機能評価機能の見学

医療サービス課入退院センターにて実際の機能評価見学、まめネット登録方法説明

３.すぎうら医院見学

まめネットを用いた病診連携の実際を見学

４.出席者

学外８名、学内４名

（５）見学場所

呼吸器・化学療法内科医局、医療情報部、入退院センター、

カンファレンスルームさくら、杉浦医院

（６）主催

島根大学

4-26　島根大学　企画講座（後援事業一覧）

■後援事業①概要

（１）名称

肺癌学術講演会

（２）日時・会場

開催日時：平成 28 年 4 月 21 日（木）19：00～20：00

講演会場：島根大学医学部附属病院　みらい棟４階ギャラクシー

（３）演者

「EGFR 遺伝子陽性進行非小細胞肺癌の治療」

神戸先端医療センター病院　総合腫瘍科　副医長　秦　明登

（４）参加者の概要

参加者数：34 名

■後援事業②概要

（１）名称

島根呼吸器がん化学療法漢方講演会

（２）日時・会場

開催日時：平成 28 年 6 月 15 日（水）19：00～20：00

講演会場：島根大学医学部附属病院　みらい棟４階ギャラクシー

（３）演者

「がんと漢方」

芝大門 いまづクリニック　院長　今津　嘉宏

（４）参加者の概要

参加者数：62 名

■後援事業③概要

（１）名称

島根県がん検診担当者研修会

（２）日時・会場

開催日時：平成 28 年 8 月 7 日（日）10：00～15：00

研修会場：島根大学医学部附属病院　みらい棟４階ギャラクシー

（３）演者

「島根県初～がんの５年相対生存率・がん検診の現状について」

島根県保健環境科学研究所　所長　大城　等

「肺がん治療の現状について」

島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　教授　礒部　威

（４）参加者の概要

参加者数：約４０名

■後援事業④概要

（１）名称

肺癌学術講演会

（２）日時・会場

開催日時：平成 28 年 11 月 24 日（木）19：00～20：00

講演会場：島根大学医学部附属病院　みらい棟４階ギャラクシー

（３）演者

「肺癌の臨床試験～Unmet needs は何か～」

北海道大学病院 内科Ⅰ 助教　朝比奈 肇

（４）参加者の概要

参加者数：21 名

■後援事業⑤概要

（１）名称

Lung Cancer Chemotherapy Expert Meeting

（２）日時・会場

開催日時：平成 29 年 1 月 13 日（金）18：20～20：20

講演会場：島根大学医学部附属病院　みらい棟４階ギャラクシー

（３）演者

「当科での再生検の実態から考える、非小細胞肺がんの効率的かつ安全な

組織・遺伝子診断について」

島根大学医学部附属病院　呼吸器・化学療法内科　講師　津端　由佳里

「激動の肺癌治療 2017～免疫療法と殺細胞性抗がん剤を使いこなす～」

兵庫県立がんセンター 呼吸器内科　部長　里内　美弥子

座長：島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科　助教　村木　慶子

（４）参加者の概要

参加者数：21 名

■後援事業⑥概要

（１）名称

平成 28 年度島根大学がん医療従事者研修会

（２）日時・会場

開催日時：平成 29 年 3 月 9 日（金）18：30～20：00

講演会場：島根大学医学部附属病院　みらい棟４階ギャラクシー

（３）演者

「HER2-CS　Study の計画と検査実施体制について」

岡山大学病院　呼吸器・アレルギー内科　医員　二宮　貴一朗

「中国四国における臨床研究の協力体制について-HER2-CS　Study を通して～」

岡山大学病院　新医療研究開発センター　研究開発部　教授　堀田　勝幸

（４）参加者の概要

参加者数：約 30 名

4-27　鳥取大学　平成 28 年度がん医療セミナー

■概要

（１）名称

「臨床現場でのコミュニケーション」

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年１０月２３日（日）10：00～12：00

講義会場：鳥取大学医学部アレスコ棟２１１講義室（１階）

（３）演者

鳥取大学医学部保健学科　成人・老人看護学講座　教授　中條　雅美

（４）参加者

１７名

※地震の影響で演者の先生が来られなかったため、演者・演目が変更になりました。



■資料

・ポスター

平成28年度がん医療セミナー

子供を持つ
がんサバイバーへのケア

今回のがん医療セミナーではがんと闘う親とその子どもへのサポートがご専門の名古屋大学　阿部まゆみ先生をお招きし、子供を持つがんサバイバーへの援助についてご講演いただきます。
事前の申し込みは不要、参加費無料です。ご参加お待ちしています。

講師：名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻
特任准教授

阿部まゆみ　先生

日時：平成28年10月23日（日）10:00～12:00
場所：鳥取大学医学部アレスコ棟
211講義室（1階）
対象：看護師、医療職者
学生

お問合せ先：
〒683-8503　鳥取県米子市西町86
鳥取大学医学部保健学科
成人・老人看護学講座　中條雅美
TEL：0859-38-6314
E-mail：chujo@med.tottori-u.ac.jp



主催：鳥取大学医学部保健学科、鳥取県立厚生病院、鳥取県
共催：鳥取大学医学部附属病院がんセンター、がんプローICTと人で繋ぐがん医療維新プランー

4-28　鳥取大学開催　市民公開講座
「きっと思います。こんな風に死にたい。」

■概要

（１）名称

市民公開講座　「きっと思います。こんな風に死にたい。」

（２）日時、会場

開催日時：平成 28 年 12 月 18 日（日）13：00～15：30

開催会場：ふれあいの里１F 大会議室

（３）内容

第１部：ドキュメンタリー映画上映

『エンディングノート』

第２部：「ありがとうも言わずに、人生終えますか」

鳥取大学医学部附属病院緩和ケアセンター

緩和ケアチームリーダー　吉本　美和　先生

（４）参加者の概要

参加者数：436 名（講師・スタッフ含む）

（５）主催

鳥取大学医学部附属病院

■資料

・ポスター


平成28年度 鳥取大学医学部附属病院緩和ケアセンター市民公開講座
きっと思います。
こんな風に死にたい。
サン・セバスチャン国際映画祭 新人コンペディション部門 正式招待作品
わたくし、終活に大忙し。
「娘」が撮り続けた膨大な家族の記録。
感動のエンターテインメント・ドキュメンタリー
©2011「エンディングノート」製作委員会
日時
2016
12/18㊐
参加費無料
申込不要
12:30 開場 13:00 開演（15:30 終了予定）
どなたでもご参加いただけます。
みなさまのご参加をお待ちしております。
第一部
ドキュメンタリー映画上映
エンディングノート
余命半年と宣告された主人公を娘さんが撮った作品です。
仕事一筋で生きてきたお父さん。これから第二の人生を生きようとしていたお父さん。
がんは、そんなお父さんに容赦なく襲い掛かりました。
そしてお父さんは「死ぬまでやること」のリストを作ります。
果たしてお父さんは人生最後の一大プロジェクトを無事に成し遂げることができたのか？
場所
ふれあいの里1階 大会議室
〒683-0811 鳥取県米子市錦町1丁目 139-3
お問合せ先
鳥取大学医学部附属病院がんセンター事務室
〒683-8504 鳥取県米子市西町36-1
TEL/0859-38-6292
E-mail/gan-center@med.tottori-u.ac.jp
第二部
講演
「ありがとうも言わずに、人生終えますか」
演者 鳥取大学医学部付属病院 緩和ケアセンター・緩和ケアチームリーダー
吉本 美和 先生
主催/鳥取大学医学部附属病院
共催/がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン、鳥取県がん診療連携協議会、山陰がん認定医療スタッフ育成コース
後援/鳥取県、米子市、境港市、米子市教育委員会、境港市教育委員会、公益社団法人鳥取県西部医師会、NHK鳥取放送局、BSS山陰放送、新日本海新聞社、山陰中央新報社

4-29　鳥取大学　企画講座（セミナー等）

■概要

（１）名称

鳥取大学医学部付属病院がんセミナーICT

（２）会場

鳥取大学医学部付属病院第二中央診療棟２階　キャンサーボード

ICT接続先：鳥取市立病院、鳥取県立中央病院、鳥取県立厚生病院、米子医療センター、
鳥取赤十字病院、鳥取生協病院、野島病院、山陰労災病院、博愛病院

（３）日時、内容

第１回：平成２８年４月２８日（木）18：15～20：00　参加者数：６２名

製品説明「アロキシ点滴静注 0.75mg について」
大鵬薬品工業株式会社　長尾　洋志　様

講演１「肝細胞癌の診療・予防・治療」
鳥取大学医学部附属病院　がんセンター　大山　賢治　先生

講演２「甲状腺がんについて」
鳥取大学医学部附属病院　耳鼻咽喉科　福原　隆宏　先生

講演３「がん診療における精神症状(抑うつ・不安・せん妄のマネジメント)」
鳥取大学医学部附属病院　精神科　山梨　豪彦　先生

第２回：平成２８年６月２日（木）18：15～20：00　参加者数：６８名

製品説明「オプジーボ点滴静注 20ｍｇ、100ｍｇについて」
小野薬品工業株式会社　木村　亮　様

講演１「胃癌化学療法のup-to-date」
鳥取大学医学部附属病院　第一外科　齋藤　博昭　先生

講演２「慢性白血病と分子標的薬」
鳥取大学医学部附属病院　血液内科　本倉　徹　先生

講演３「がん性疼痛のマネジメント」
鳥取大学医学部附属病院 手術部　大槻　明広　先生

第３回：平成２８年７月７日（木）18：15～20：00　参加者数：６５名

製品説明「ネキシウムカプセル20ｍｇの有用性について」

第一三共株式会社　長尾　政志　様

講演１「日本の乳がん検診の現状とこれから」

鳥取大学医学部附属病院　胸部外科　村田陽子　先生

講演２「小児急性リンパ性白血病の現状」

鳥取大学医学部附属病院　小児科　上村　潤一　先生

講演３「緩和ケア身体症状・腹水治療について」

鳥取大学医学部附属病院　緩和ケアセンター　吉本　美和　先生

第４回：平成２８年８月４日（木）18：15～20：00　参加者数：５１名

製品説明「胃癌化学療法におけるオキサリプラチン」

株式会社ヤクルト　花香　喜弘　様

講演１「咽喉頭癌の治療方針」

鳥取大学医学部附属病院　耳鼻咽喉科　藤原　和典　先生

講演２「悪性リンパ腫の予後」

鳥取大学医学部　臨床検査医学分野　本倉　徹　先生

講演３「がん患者に対する周術期リハビリテーション」

鳥取大学医学部附属病院　リハビリテーション部　山川　隆　先生

第５回：平成２８年９月１日（木）18：15～20：00　参加者数：５１名

製品説明「メルクセローノと大腸がん情報」

メルクセローノ株式会社　花井　義人　様

講演１「前立腺がんの診療と治療」

鳥取大学医学部附属病院　泌尿器科　森實　修一　先生

講演２「腎細胞がんの診断と治療」

鳥取大学医学部　泌尿器科　眞紗　俊彦　先生

講演３「口腔ケア」

鳥取大学医学部附属病院　歯科口腔外科　田部　有子　先生

第６回：平成２８年１０月６日（木）18：15～20：00　　参加者数：４６名

製品説明「NSCLC におけるラムシルマブの位置づけ」

日本イーライリリー株式会社　柴田　隆之　様

講演１「NSCLC に対する Precision medicine」

鳥取大学医学部附属病院 第三内科　阪本　智宏　先生

講演２「口腔がんの診断と治療」

鳥取大学医学部　歯科口腔外科　小谷　勇　先生

講演３「分子標的薬による有害事象マネジメント」

鳥取大学医学部附属病院　薬剤部　長谷川　一将　先生

第７回：平成 28 年 11 月 10 日（木）18：15～20：00　　参加者数：３３名

製品説明「アバスチンの適正使用情報」

中外製薬株式会社　遠藤　哲弥　様

講演１「食道癌の集学的治療」

鳥取大学医学部附属病院 第一外科　福本　陽二　先生

講演２「転移性骨腫瘍 up to date」

鳥取大学医学部附属病院　整形外科　山家　健作　先生

講演３「放射線治療について」

鳥取大学医学部附属病院　放射線診療科　田原　誉敏　先生

第８回：平成 28 年 12 月 8 日（木）18：15～20：00　　参加者数：４７名

製品説明「アバスチンの適正使用情報」

中外製薬株式会社　遠藤　哲弥　様

講演１「食道癌の集学的治療」

鳥取大学医学部附属病院 第一外科　福本　陽二　先生

講演２「転移性骨腫瘍 up to date」

鳥取大学医学部附属病院　整形外科　山家　健作　先生

講演３「放射線治療について」

鳥取大学医学部附属病院　放射線診療科　田原　誉敏　先生

第９回：平成 29 年 1 月 5 日（木）18：15～20：00　　参加者数：５７名

製品説明「経口 FX の阻害剤 リクシアナ錠の VTE 領域における有効性について」

第一三共株式会社　長尾　政志　様

講演１「膵癌の治療について」

鳥取大学医学部附属病院 第二内科　武田　洋平　先生

講演２「転移性脳腫瘍における治療選択について」

鳥取大学医学部附属病院　脳神経外科　神部　敦司　先生

講演３「がんと栄養管理」

鳥取大学医学部附属病院　栄養管理室　成瀬　隆弘　先生

第 10 回：平成 29 年 2 月 2 日（木）18：15～20：00　　参加者：３０名

製品説明「CD30 陽性悪性リンパ腫の新規薬物療薬」

武田薬品工業株式会社　長尾　政志　様

講演１「大腸がんの標準治療」

鳥取大学医学部附属病院 第一外科　前田　佳彦　先生

講演２「メラノーマの診断と治療」

鳥取大学医学部附属病院　皮膚科　後藤　寛之　先生

講演３「終末期医療における Advance Care Planning (ACP)の推進の必要性、及び延命中止におけるガイドラインの検証と法的見解について」

鳥取大学医学部附属病院　緩和ケアセンター　吉本　美和　先生

第 11 回：平成 29 年 3 月 2 日（木）

製品説明「未定」

株式会社ツムラ　　龍口　祐一　様

講演１「未定」

鳥取大学医学部附属病院 第三内科　山口　耕介　先生

講演２「未定」

鳥取大学医学部附属病院　女性診療科　大石　徹郎　先生

講演３「未定」

鳥取大学医学部附属病院　がんセンター　辻谷　俊一　先生

4-30　岩手医科大学　がんプロセミナー「本邦における臨床研究の現状と展望」

■概要

（１）名称

がんプロセミナー「本邦における臨床研究の現状と展望」

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年５月１７日（火）18：00～19：00

講義会場：岩手医科大学創立６０周年記念館９階第２講義室

（３）演者

「本邦における臨床研究の現状 - 東北地方からのエビデンス発信を目指して–」

東北大学病院臨床研究推進センター 特任教授

東北医科薬科大学医学部 産婦人科学教室 教授　渡部 洋　先生

（４）参加者の概要

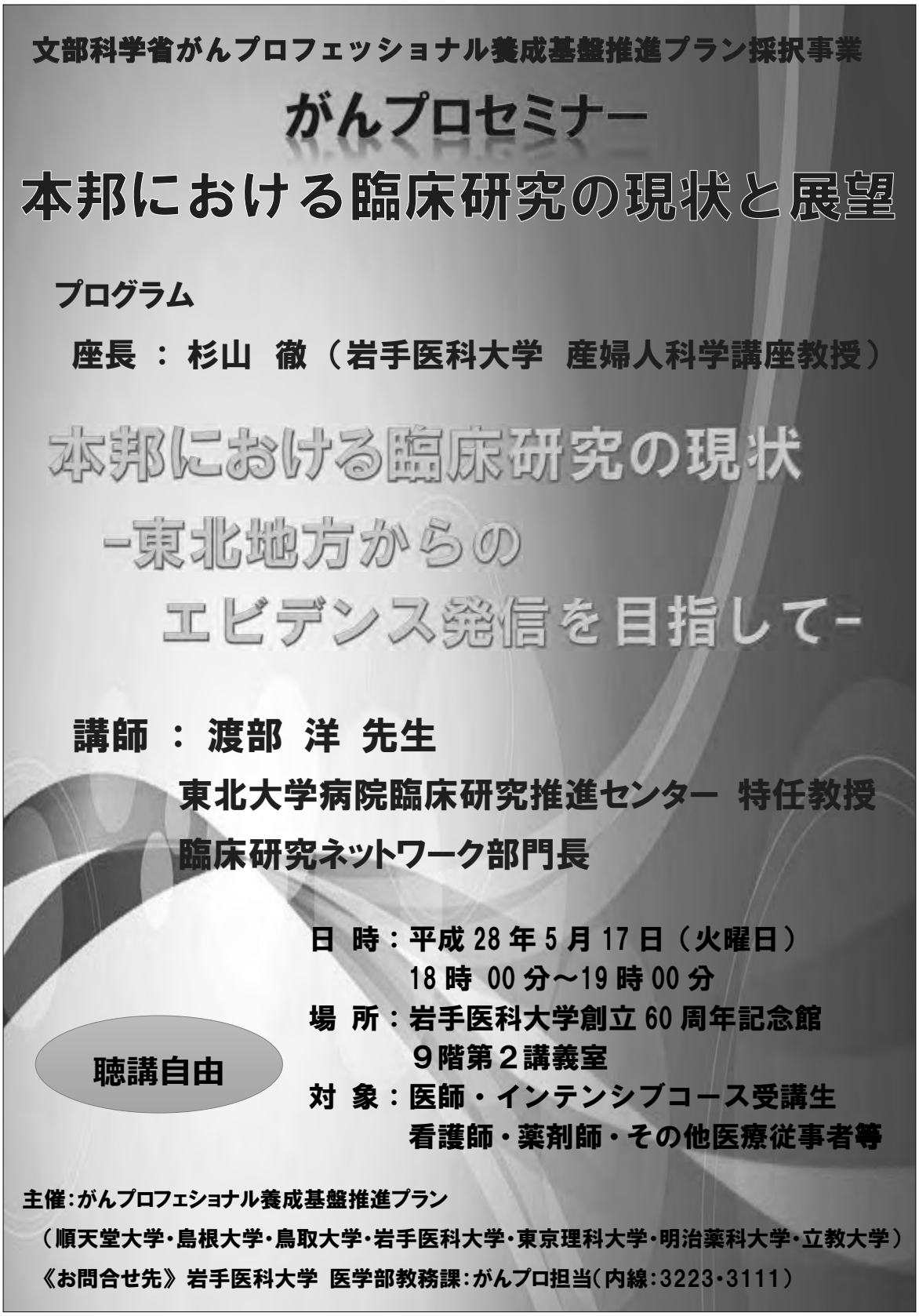
参加者数：３１名

（５）主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター


文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業
がんプロセミナー
本邦における臨床研究の現状と展望
プログラム
座長 ： 杉山 徹（岩手医科大学 産婦人科学講座教授）
本邦における臨床研究の現状
-東北地方からの
エビデンス発信を目指して-
講師 ： 渡部 洋 先生
東北大学病院臨床研究推進センター 特任教授
臨床研究ネットワーク部門長
日 時：平成 28 年 5 月 17 日（火曜日）
18 時 00 分～19 時 00 分
場 所：岩手医科大学創立 60 周年記念館
９階第２講義室
対 象：医師・インテンシブコース受講生
看護師・薬剤師・その他医療従事者等
聴講自由
主催：がんプロフェショナル養成基盤推進プラン
（順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学）
《お問合せ先》岩手医科大学 医学部教務課：がんプロ担当（内線：3223・3111）

4-31　岩手医科大学　講演会「肺癌治療における緩和ケアの重要性」

■概要

（１）名称

「肺癌治療における緩和ケアの重要性」

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年７月１９日（火）18：00～19：00

講義会場：岩手医科大学創立 60 周年記念館９階　第 2 講義室

（３）演者

「がんの治療と緩和ケア」

講師：井上　彰　先生

（東北大学大学院医学系研究科　緩和医療学分野　教授）

（４）参加者の概要

参加者数：33 名

（５）主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター

平成28年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
ーICTと人で繋ぐがん医療維新プランー

肺癌治療における緩和ケアの重要性

プログラム
司会：山内　広平
（岩手医科大学内科学講座
呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野　教授）

「がんの治療と緩和ケア」

講師：井上　彰　先生
（東北大学大学院医学系研究科
緩和医療学分野　教授）

日時：平成28年7月19日（火）
18時00分～19時00分

対象：大学院生、医師、看護師、
インテンシブコース受講生等

場所：岩手医科大学創立60周年記
念館　9階　第2講義室



主催：がんプロフェショナル養成基盤推進プラン
（順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学）
《お問合せ先》 医学部教務課：がんプロ担当（内線：3223・3111）

4-32　岩手医科大学　臨床研究セミナー
「－臨床研究プロトコールの作り方、初心者、中級者を対象に－」

■概要

（１）名称

「－臨床研究プロトコールの作り方、初心者、中級者を対象に－」

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年９月２日（金）　17：00～20：00

講義会場：岩手医科大学創立 60 周年記念館 9 階　第 1 講義室

（３）演者

【第１部：講演】

「臨床試験における研究倫理」

【第２部：講演】

「初心者における臨床研究プロトコール（コンセプト）作成方法の肝とコツ」

国立がん研究センター中央病院 JCOG(日本臨床腫瘍研究グループ)データセンター長

福田　治彦　先生

（４）参加者の概要

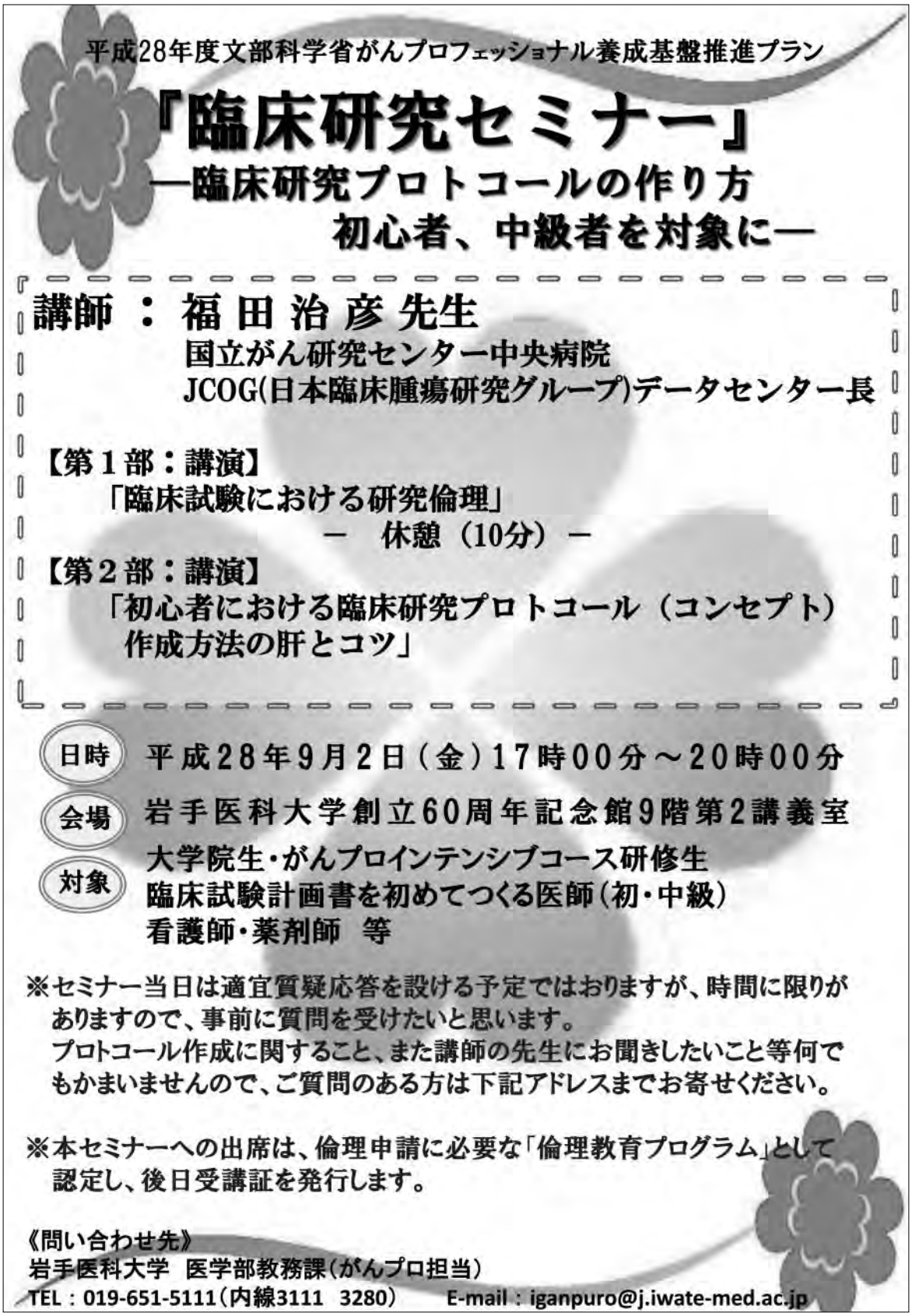
参加者数：28 名

（５）主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター


平成28年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
『臨床研究セミナー』
―臨床研究プロトコールの作り方
初心者、中級者を対象に―
講師：福田治彦先生
国立がん研究センター中央病院
JCOG(日本臨床腫瘍研究グループ)データセンター長
【第１部：講演】
「臨床試験における研究倫理」
－　休憩（10分）－
【第２部：講演】
「初心者における臨床研究プロトコール（コンセプト）
作成方法の肝とコツ」
日時
平成28年9月2日（金）17時00分～20時00分
会場
岩手医科大学創立60周年記念館9階第2講義室
対象
大学院生・がんプロインテンシブコース研修生
臨床試験計画書を初めてつくる医師（初・中級）
看護師・薬剤師　等
※セミナー当日は適宜質疑応答を設ける予定ではおりますが、時間に限りがありますので、事前に質問を受けたいと思います。
プロトコール作成に関すること、また講師の先生にお聞きしたいこと等何でもかまいませんので、ご質問のある方は下記アドレスまでお寄せください。
※本セミナーへの出席は、倫理申請に必要な「倫理教育プログラム」として認定し、後日受講証を発行します。
《問い合わせ先》
岩手医科大学　医学部教務課（がんプロ担当）
TEL：019-651-5111（内線3111　3280）　E-mail：iganpuro@j.iwate-med.ac.jp

4-33　岩手医科大学　キッズキャンサーセミナー

■概要

（１）名称

「キッズキャンサーセミナー」

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年９月１０日（土）13：00～16：40

講義会場：岩手医科大学 矢巾キャンパス災害時地域医療支援教育センター

（３）演者

【第１部】オリエンテーション

岩手医科大学　緩和医療学科 教授　木村　祐輔　先生

【第２部】基礎講義

「がんについて」岩手医科大学　緩和医療学科 教授　木村　祐輔　先生、 他

【第３部】体験セミナー

・「麻酔をかけてみよう！全身麻酔体験コーナー」
・「君も明日からブラックジャックだ！外科手術コーナー・電気メス体験コーナー」
・「自分の体の中を見てみよう！超音波検査・内視鏡検査体験コーナー」
・「抗がん剤の調剤にチャレンジだ！調合体験コーナー」

【第４部】修了式

『キッズキャンサーサポーター』認定証交付

（４）参加者の概要

参加者数：３０名

（５）主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター

キッズキャンサーセミナー

開催日：平成28年9月10日（土）13：00～16：40（予定）

参加無料

岩手県内の
小学5、6年生
対象（定員30名）
※先着順
※要申込み







外科手術のシュミレーターや、調剤体験など楽しいセミナーがたくさん♪

主なスケジュール

【会場】
矢巾キャンパス災害時地域医療支援教育センター、他

☆オリエンテーション
☆基礎講義（がんについて（仮））
☆体験セミナー（外科手術コーナー、全身麻酔体験、調剤体験など）
グループに分かれて、体験コーナーを回ります！

＊父兄同伴での参加も可能です。

応募方法

平成28年8月27日（土）

岩手医科大学附属病院ホームページ内
専用応募フォームまたは、裏面申込用紙を
記入の上FAXにてお申し込み下さい。
<ホームページ>
最新ニュース＞お知らせ
＞キッズキャンサーセミナー開催のお知らせ
＊先着順となります。
＊集合場所、当日スケジュール等の詳細は9月上旬に発送させていただきます。

お問合せ・お申込み
岩手医科大学　病院事務部医務課
〒020-8505
岩手県盛岡市内丸19-1
TEL：019-651-5110（内線：3124・3125）
FAX：019-651-6606

共催：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

■資料

・ポスター

平成28年度　岩手医科大学附属病院
「キッズキャンサーセミナー」参加申込要領

【申し込み方法】

参加希望の方は、岩手医科大学附属病院ホームページ内専用応募フォームまたは以下の必要事項を記入の上、FAXにて送信願います。

☆専用応募フォーム

岩手医科大学附属病院ホームページ内＞最新ニュース
＞お知らせ＞キッズキャンサーセミナー開催のお知らせ

☆FAX

019-651-6606
岩手医科大学　病院事務部医務課

（ふりがな） **氏名**			**年齢**	
ニックネーム				
学校名			**学年**	
※1 **連絡先**	**住所**	〒		
	電話			
	E-mail **アドレス**			
※2　**同伴者** **氏名（ふりがな）**				

※1 「連絡先」はできる限り連絡のつく電話番号をご記入願います。
※2　父兄同伴での参加も可能です。参加を希望する方は、「同伴者氏名」に氏名をご記入願います。
※3　本学は、法令に定める場合を除き、個人情報を本件業務遂行の目的にのみ利用します。

【申し込み締切】

平成27年8月27日（土）
※定員（30名）になり次第、締め切らせていただきます。予めご了承願います。

4-34　岩手医科大学　市民公開講座「知っ得、なっ得、乳がんの“いろは”」

■概要

（１）名称

健康フェス２０１６　市民公開講座「知っ得、なっ得、乳がんの“いろは”」

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年９月１０日（土）11：00～14：50

開催会場：岩手医科大学 矢巾キャンパス東講義棟２階 ゼミナール室

（３）演者（第一部：11 時 05 分～11 時 40 分、第二部：14 時 05 分～14 時 40 分）

１.「知っ得、なっ得、乳がんの“いろは”」

岩手医科大学　医学部　外科学講座　教授　小松 英明　先生

※第一部と第二部の講演内容は同じです。

２.質疑応答（１０分）

（４）参加者の概要

参加者数：２０名

（５）主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター

岩手医科大学

岩手医科大学 『健康フェス2016』
腫瘍センター企画イベント



知っ得、なっ得、乳がんの"いろは"

平成28年9月10日（土） 10時30分～15時

市民公開講座　「知っ得、なっ得、乳がんの“いろは”」

がんの薬物療法は著しく進歩しています。最新の乳がんの治療をとおして、がん治療の確実な進歩を知っていただきます。そして、市民の皆さんにも早期発見早期治療大切さとのポイントをお知らせします。

午前の部：11時～11時50分
午後の部：14時～14時50分　　※午前・午後内容は同じです
矢巾キャンパス東棟　2階講義室

司会：岩手医科大学附属病院　腫瘍センター長　伊藤　薫樹　先生
（岩手医科大学医学部　腫瘍内科学科　教授）

講師：　岩手医科大学　外科学講座　乳腺外科グループ
小松　英明先生

対象：　どなたでもご参加いただけます（参加費　無料）



展示と啓発活動　10時30分～15時
矢巾キャンパスモール

乳がん看護認定看護師が乳がんについてクイズや啓発グッズ「Pinkりんごtouch」を通して正しい知識をお伝えします。答えた方には素敵なプレゼントをご用意しています。

また、乳がん患者会と当院の「がん患者・家族サロン」のスタッフが「がんになっても“ひとりじゃない”」という思いを込めた手作り帽子やポプリなどをご用意しています。

対象：　どなたでもご参加いただけます（参加費　無料）

主催：岩手医科大学　　共催：岩手医科大学附属病院　腫瘍センター
がんプロフェショナル基盤推進プラン

4-35　岩手医科大学　肺癌国際シンポジウム
～地域から首都圏、そしてアジアまで俯瞰する肺がん研究 2016～

■概要

（１）名称

肺癌国際シンポジウム

「地域から首都圏、そしてアジアまで俯瞰する肺がん研究 2016」

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年１０月２０日（木）16：00～18：40

講義会場：岩手医科大学創立６０周年記念館９階　第２講義室

（３）演者

【第１部　講演】

・「岩手医科大学における肺癌の臨床研究について」

岩手医科大学内科学講座　呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野　千葉　亮祐　先生

・「島根大学病院における脳転移を有する EGFR 陽性肺がん患者に対する放射線治療の現状」

島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　助教　沖本　民生　先生

・「EGFR-TKI の濃度とその臨床的有効性、副作用の関係」

鳥取大学医学部附属病院　第三内科診療科群　助教　武田　賢一　先生

・「化学療法と高度な胸腺癌患者における予後因子の有効性」

順天堂大学医学部　内科学教室・呼吸器内科学講座　助教 高　遼　先生

【第２部　特別講演】

・「RET 遺伝子陽性肺癌における薬剤耐性の克服」

MD アンダーソンがんセンター/

岩手医科大学　内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野　講師 森川　直人　先生

・「ラマティボディ病院における肺がん診断と集学的治療の新たな希望」

タイ王立マヒドン大学ラマティボディ病院　医学部 内科学臨床腫瘍学講座　助教

Thanyanan Reungwetwattana

【第３部　パネルデスカッション】

（４）参加者の概要

参加者数：５８名

（５）主催

岩手医科大学



■資料

・ポスター

平成28年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プランーICTと人で繋ぐがん医療維新プランー

～肺癌国際シンポジウム～

地域から首都圏、そしてアジアまで俯瞰する肺がん研究　2016

Update for lung cancer treatment

日時：平成28年10月20日（木）16：00～18：40

場所：岩手医科大学創立60周年記念館9階　第2講義室

開会の辞　山内　広平（岩手医科大学　内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野　教授）

【第1部　講演】16：05～17：05

司会：礒部　威（島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　教授）

井岸　正（鳥取大学医学部附属病院　卒後臨床研修センター　教授）

1）岩手医科大学における肺癌の臨床研究について（15分）

千葉　亮祐　先生（岩手医科大学内科学講座　呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野）

2）島根大学病院における脳転移を有するEGFR陽性肺がん患者に対する放射線治療の現状（15分）

沖本　民生　先生（島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　助教）

3）EGFR-TKIの濃度とその臨床的有効性、副作用の関係（15分）

武田　賢一　先生（鳥取大学医学部附属病院　第三内科診療科群　助教）

4）化学療法と高度な胸腺癌患者における予後因子の有効性（15分）

高　遼　先生（順天堂大学医学部　内科学教室・呼吸器内科学講座　助教）

【第2部　特別講演】17：05～18：05

司会：高橋　和久（順天堂大学大学院医学研究科　呼吸器内科学　教授）

山内　広平（岩手医科大学　内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野　教授）

1）RET遺伝子陽性肺癌における薬剤耐性の克服（20分）

森川　直人（MDアンダーソンがんセンター/

岩手医科大学　内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野　講師）

2）ラマティボディ病院における肺がん診断と集学的治療の新たな希望（40分）

Thanyanan Reungwetwattana

（タイ王立マヒドン大学ラマティボディ病院　医学部 内科学臨床腫瘍学講座　助教）

【第3部　パネルディスカッション】18：10～18：40

本シンポジウムは、TV会議システムを利用して連携大学にライブ配信され、双方向で討議を行います。ご興味のある方は是非ご来場下さい。（聴講自由）

【接続予定】マヒドン大学（タイ）、順天堂大学、立教大学、東京理科大学、岩手医科大学

主催：がんプロフェショナル養成基盤推進プラン

（順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学）

《お問合せ先》 医学部教務課：がんプロ担当（内線：3223・3111）

■資料

・ポスター

Promotion activity for training cancer professionals under the sponsorship of the MEXT, Japan

A study of lung cancer covering local areas, the Tokyo metropolitan area, and Asia 2016

Update for lung cancer treatment

【Date】October 20, 2016 (Thursday) 14:00～16:40(Thai) 16:00～18:40(Japan)

【 Place 】Iwate Medical University, Morioka

Lecture 16:05 ～17:05

Chair person: Prof. Isobe (Shimane University) Prof. Igishi (Tottori University)

1. Clinical research of lung cancer in Iwate Medical University(15 min)
Ryosuke Chiba, MD, Iwate Medical University

2. Current status of radiation therapy for brain metastasis of lung cancer patients harboring EGFR active mutation in Shimane University Hospital (15 min)
Tamio Okimoto, MD. PhD., Shimane University

3. Relation between EGFR-TKI concentration and its clinical efficacy, side effect. (15 min)
Kenichi Takeda, MD. Ph.D., Tottori University

4. Efficacy of chemotherapy and prognostic factors in patients with advanced thymic carcinoma: a retrospective analysis of 289 patients from NEJ023 Study (15 min)
Ryo Ko MD. Ph.D., Juntendo University

Special lecture 17:05～18:05

Chair person: Prof. Takahashi Juntendo University) Prof. Yamauchi (Iwate Medical University)

1.Overcoming drug resistance to targeted therapies for lung cancer with RET fusion. (20 min)
Dr Morikawa MD, PhD (Iwate Medical University,Thoracic/Head and Neck Medical Oncology department,University of Texas, MD Anderson Cancer Center, USA))

2.A New Era of Hope in Lung Cancer Diagnosis & Multidisciplinary Treatment at Ramathibodi Hospital(40 min)
Dr Thanyanan Reungwetwattana (Assistant Professor Thanyanan Reungwetwattana, M.D.,M.Sc. Faculty of Medicine, Ramathibodi Hospital, Mahidol University, Thailand)

Panel Discussion 18:10～18:40

Discusser: Ryosuke Chiba, MD, Iwate Medical University
Tamio Okimoto, MD. PhD., Shimane University
Kenichi Takeda, MD. Ph.D., Tottori University
Ryo Ko MD. Ph.D., Juntendo University
Dr Morikawa (MD Anderson, Cancer Center)
Dr Thanyanan Reungwetwattana (Mahidol University, Thailand)
Dr Jitlada Juengsamarn (Mahidol University, Thailand)

This symposium will connect the forrowing facilities using ICT.
Mahidol University, Iwate medical university, Shimane University,Tokyo University of Science, Rikkyo University , Juntendo University School of medicine

Sponsorship：Cancer Professional Training Infrastructure Development Plan
Contact：Iwate medical university +81-19-651-5111 (Ext. 3223,3111)

4-36　岩手医科大学　講演会　「病理診断」

■概要

（１）名称

「病理診断」

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年１０月２８日（金）　18：00～19：00

講義会場：岩手医科大学創立６０周年記念館９階　第２講義室

（３）演者

・「癌の病理診断と最近の進歩」

東京大学大学院医学系研究科　医学部人体病理学　病理診断学分野　教授

深山　正久　先生

（４）参加者の概要

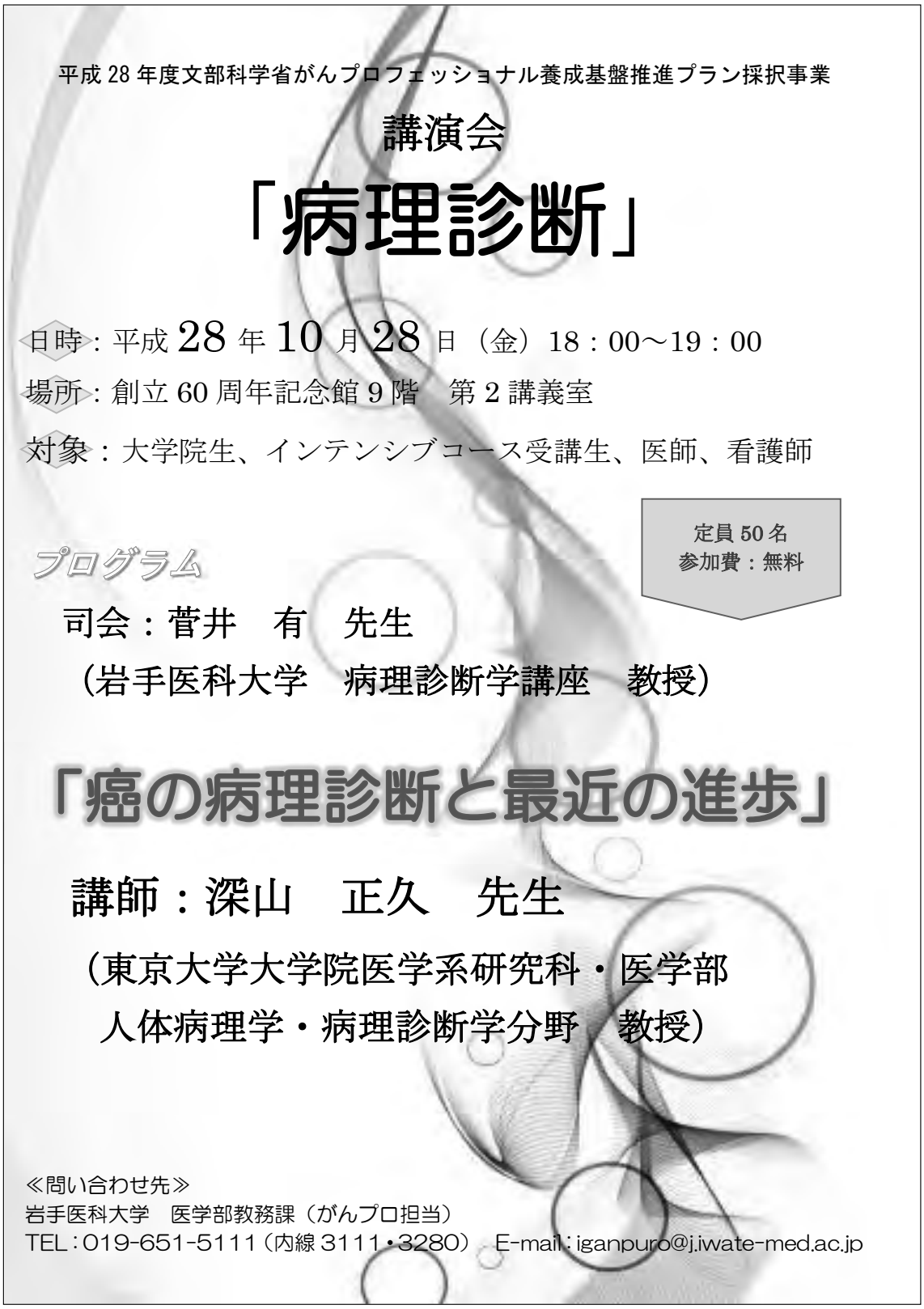
参加者数：２６名

（５）主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター


平成 28 年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業
講演会
「病理診断」
日時：平成 28 年 10 月 28 日（金）18：00～19：00
場所：創立 60 周年記念館 9 階　第 2 講義室
対象：大学院生、インテンシブコース受講生、医師、看護師
定員 50 名
参加費：無料
プログラム
司会：菅井　有　先生
（岩手医科大学　病理診断学講座　教授）
「癌の病理診断と最近の進歩」
講師：深山　正久　先生
（東京大学大学院医学系研究科・医学部
人体病理学・病理診断学分野　教授）
≪問い合わせ先≫
岩手医科大学　医学部教務課（がんプロ担当）
TEL：019-651-5111（内線 3111・3280）　E-mail：iganpuro@j.iwate-med.ac.jp

4-37　岩手医科大学 講演会「婦人科がんに対する妊孕性温存治療の現状と課題」

■概要

（１）名称

「婦人科がんに対する妊孕性温存治療の現状と課題」

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年１１月１日（火）　16：00～18：00

講義会場：岩手医科大学創立６０周年記念館９階　第２講義室

（３）演者

・「妊孕性温存を希望する初期子宮体がん患者に対するホルモン療法」

慶應義塾大学医学部　産婦人科学教室　助教　山上　亘　先生

・「妊孕性温存を希望する初期卵巣がん患者に対する機能温存手術」

名古屋大学大学院医学系研究科　総合医学専攻　発育・加齢医学講座

産婦人科教室　准教授　梶山　広明　先生

・「妊孕性温存を希望する子宮頸部前がん患者に対する機能温存手術」

鳥取大学　器官制御外科学講座　生殖機能医学分野(産科婦人科学)

講師 大石　徹郎　先生

・「妊孕性温存を希望する初期子宮頸がん患者に対する機能温存手術」

島根大学医学部産科婦人科　教授　京　哲　先生

（４）参加者の概要

参加者数：３４名

（５）主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター

平成28年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
ーICTと人で繋ぐがん医療維新プランー

講演会

「婦人科がんに対する妊孕性温存治療の現状と課題」

日時：平成28年11月1日（火）16時00分～18時00分

場所：岩手医科大学創立60周年記念館9階　第2講義室

対象：大学院生、医師、看護師、インテンシブコース受講生等

～プログラム～

司会：千葉　淳美　先生（岩手医科大学　産婦人科学講座　講師）
座長：板持　広明　先生（岩手医科大学　産婦人科学講座　教授）

開会の辞：杉山　徹　先生（岩手医科大学附属病院　病院長、
岩手医科大学　産科婦人科学講座　教授）

講演：
(1)「妊孕性温存を希望する初期子宮体がん患者に対するホルモン療法」
山上　亘　先生（慶應義塾大学医学部　産婦人科学教室　助教）
(2)「妊孕性温存を希望する初期卵巣がん患者に対する機能温存手術」
梶山　広明　先生
（名古屋大学･大学院医学系研究科
総合医学専攻　発育･加齢医学講座　産婦人科教室　准教授）
(3)「妊孕性温存を希望する子宮頸部前がん患者に対する機能温存手術」
大石　徹郎　先生
（鳥取大学器官制御外科学講座
生殖機能医学分野（産科婦人科学）講師）
(4)「妊孕性温存を希望する初期子宮頸がん患者に対する機能温存手術」
京　哲　先生（島根大学医学部産科婦人科　教授）

閉会の辞：菅井　有　先生（岩手医科大学　病理診断学講座　教授）

本シンポジウムは、TV会議システムを利用して連携大学にライブ配信され、双方向で討議を行います。ご興味のある方は是非ご来場下さい。（聴講自由）

主催：がんプロフェショナル養成基盤推進プラン
（順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学）
《お問合せ先》医学部教務課：がんプロ担当（内線：3223・3111）

4-38　岩手医科大学　講演会
「頭頸部悪性腫瘍に使用される分子標的薬の実際－効果と副作用、臨床における役割と展望－」

■概要

（１）名称

「頭頸部悪性腫瘍に使用される分子標的薬の実際－効果と副作用、臨床における役割と展望－」

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年１１月１１日（金）　18：30～20：30

講義会場：岩手医科大学創立６０周年記念館９階　第１講義室

（３）演者

・「頭頸部癌における抗 EGFR 抗体薬の役割と展望」

国立がん研究センター東病院　頭頸部内科　岡野　晋　先生

・「甲状腺がんに対する薬物療法～分子標的薬を中心に～」

宮城県立がんセンター　頭頸部内科　科長　山崎　知子　先生

・総合討論

（４）参加者の概要

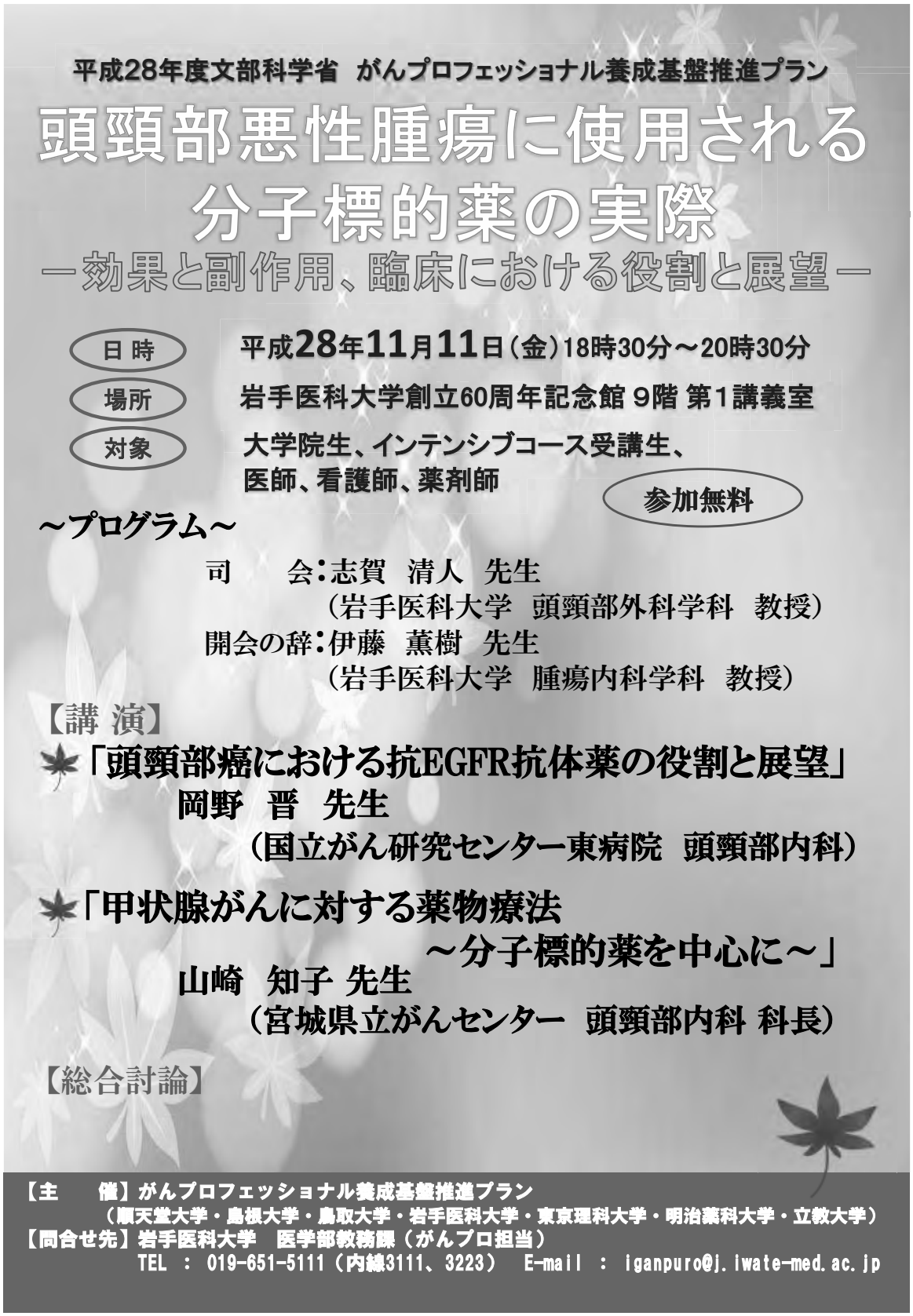
参加者数：33 名

（５）主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター


平成28年度文部科学省　がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
頭頸部悪性腫瘍に使用される
分子標的薬の実際
ー効果と副作用、臨床における役割と展望ー
日 時
平成28年11月11日（金）18時30分～20時30分
場所
岩手医科大学創立60周年記念館 9階 第1講義室
対象
大学院生、インテンシブコース受講生、
医師、看護師、薬剤師
参加無料
～プログラム～
司　　会：志賀　清人　先生
（岩手医科大学　頭頸部外科学科　教授）
開会の辞：伊藤　薫樹　先生
（岩手医科大学　腫瘍内科学科　教授）
【講 演】
「頭頸部癌における抗EGFR抗体薬の役割と展望」
岡野　晋　先生
（国立がん研究センター東病院　頭頸部内科）
「甲状腺がんに対する薬物療法
～分子標的薬を中心に～」
山崎　知子 先生
（宮城県立がんセンター　頭頸部内科 科長）
【総合討論】
【主　　催】がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
（順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学）
【問合せ先】岩手医科大学　医学部教務課（がんプロ担当）
TEL ： 019-651-5111（内線3111、3223）　E-mail ： iganpuro@j.iwate-med.ac.jp

4-39　岩手医科大学　講演会
「大腸がんの予防 - 内科的・外科的治療および予防法についてー」

■概要

（１）名称

「大腸がんの予防 - 内科的・外科的治療および予防法についてー」

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年１１月１７日（木）16：00～18：30

講義会場：岩手医科大学創立６０周年記念館９階　第２講義室

（３）演者

【第１部　一般講演】

・「早期大腸癌に対する内視鏡治療 –内視鏡的粘膜下層剥離術を中心に–」

岩手医科大学　消化器内科消化管分野 助教　川崎 啓祐　先生

・「血中遊離 DNA を用いた大腸癌患者の体内腫瘍量のモニタリング」

能代厚生医療センター 外科 医長　佐藤 慧　先生

【第２部　特別講演】

・「大腸癌予防法の開発研究」

京都府立医科大学 分子標的癌予防医学 特任教授　石川　秀樹　先生

【第３部　フリーデスカッション】

（４）参加者の概要

参加者数：43 名

（５）主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター


平成28年度文部科学省　がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
－ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン－
大腸がんの予防
－内科的・外科的治療および予防法について－
【日　時】
平成28年11月17日(木)
16:00～18:30
【会　場】
創立60周年記念館
9階　第2講義室
【対象】
医師、看護師、薬剤師、
インテンシブコース受講生
大学院生、ME従事者 等
参加無料
【第1部：一般講演】
➢「早期大腸癌に対する内視鏡治療 -内視鏡的粘膜下層剥離術を中心に-」
川崎 啓祐 先生(岩手医大 消化器内科消化管分野 助教)
➢「血中遊離DNAを用いた大腸癌患者の体内腫瘍量のモニタリング」
佐藤 慧 先生(能代厚生医療センター 外科 医長)
【第2部：特別講演】
➢「大腸癌予防法の開発研究」
石川　秀樹 先生(京都府立医科大学 分子標的癌予防医学 特任教授)
【第3部：フリーディスカッション】
司会：松本　主之
(内科学講座消化器内科消化管分野　教授)
【主　　催】　がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
(順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学)
【問合せ先】　岩手医科大学　医学部教務課（がんプロ担当）
TEL ： 019-651-5111（内線3111、3223）　E-mail ： iganpuro@j.iwate-med.ac.jp

4-40　岩手医科大学 腫瘍センター講演会「がんのゲノム医療実現に向けて」

■概要

（１）名称

「がんのゲノム医療実現に向けて」

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年１１月２９日（火）　18：00～19：00

講義会場：岩手医科大学創立６０周年記念館９階　第１講義室

（３）演者

・「ゲノム解析による疾患発症メカニズムの解明と個別化医療」

東京大学大学院 新領域創成科学研究科　メディカル情報生命専攻

クリニカルシークエンス分野　　教授　松田　浩一　先生

（４）参加者の概要

参加者数：55 名

（５）主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター

平成28年度文部科学省　がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
－ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン－

腫瘍センター講演会

がんのゲノム医療実現に向けて

【開会の辞】
伊藤　薫樹　先生
（腫瘍内科学科　教授）
（本学附属病院　腫瘍センター長）

【日　時】
平成28年11月29日（火）
18：00～19：00
【会　場】
創立60周年記念館
9階　第1講義室

【講　演】

「ゲノム解析による疾患発症メカニズムの解明と個別化医療」

講師：松田　浩一　先生
（東京大学大学院 新領域創成科学研究科
メディカル情報生命専攻
クリニカルシークエンス分野　教授）

【対象】
医師、看護師、薬剤師、
インテンシブコース受講生
大学院生、ME従事者 等

参加無料

座長：小原　航
（泌尿器科学講座　教授）

【主　　催】　がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
（順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学）

【共　　催】　岩手医科大学附属病院　腫瘍センター

【問合せ先】　岩手医科大学　医学部教務課（がんプロ担当）
TEL ： 019-651-5111（内線3111、3223）　E-mail ： iganpuro@j.iwate-med.ac.jp

4-41　岩手医科大学　国際シンポジウム「今後の国際共同試験のあり方について」

■概要

（１）名称

国際シンポジウム

「今後の国際共同試験のあり方について」

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年１１月３０日（水）　15：00～18：00

講義会場：岩手医科大学創立６０周年記念館９階　第１講義室

（３）演者

・「東北地方における臨床研究ネットワークの構築 －国際共同試験を意識して－」
東北大学医学部　産婦人科学教室　准教授　島田　宗昭　先生

・「本邦で計画された臨床試験の国際共同試験への展開～JGOG3017, 3020 を通して」
順天堂大学医学部大学院医学研究科　産婦人科学教室　准教授　寺尾　泰久　先生

・「国際共同試験における要件とわが国の取るべき戦略について」
（公財）先端医療振興財団臨床研究情報センター　センター長
京都大学名誉教授　福島　雅典　先生

・「International Collaboration for clinical trials: experiences of KGOG」
Seoul National University　Prof. Jae-Weon Kim

・「Role of Central Pathological Review in Clinical Trials: Lessons from GOG」
University of Maryland　Prof. Steven G. Silverberg

（４）参加者の概要

参加者数：53 名

（５）主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター


Promotion activity for training cancer professionals under the sponsorship of the MEXT, Japan
International Symposium
"The present status and problems of Global Clinical Trials"
【Date】November 30, 2016 (Wednesday) 15:00～18:00 (Japan)
【 Place 】Iwate Medical University, Morioka
Lecture
Chair person: Prof. Ito (Iwate Medical University)
Prof. Itamochi (Iwate Medical University)
Opening address: Prof. Sugiyama (Iwate Medical University)
1.Construction of clinical research network in Tohoku region; with a view for international collaborative trials.
Dr. Muneaki Shimada, Associate professor of Tohoku University
2. International collaborative study proposed from Japanese investigators; discussion though the previous JGOG studies.
Dr. Yasuhisa Terao, Associate professor of Juntendo University
3. Prerequisites for international collaborative studies and strategy to be taken by our country.
Prof. Masanori Hukushima, Honorary professor of Kyoto University, President of Translational Research Informatics Center, Kobe
4. International collaboration for clinical trials: experiences of KGOG
Prof. Jae- Weon Kim, Seoul National University
5. Role of central pathological review in clinical trials: Lessons from GOG
Prof. Steven G. Silverberg, University of Maryland
Closing address: Prof. Itamochi (Iwate Medical University)
This symposium will connect the following facilities using ICT;
Tottori University, Shimane University, Tokyo University of Science, Rikkyo University , Juntendo University School of medicine
Sponsorship：Cancer Professional Training Infrastructure Development Plan
Contact：Iwate medical university +81-19-651-5111 (Ext. 3223,3111)

■資料

・ポスター


平成28年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
ーICTと人で繋ぐがん医療維新プランー
がんプロ国際シンポジウム
「今後の国際共同試験のあり方について」
日時：平成28年11月30日（水）15時00分～18時00分
場所：岩手医科大学創立60周年記念館9階　第1講義室
対象：大学院生、医師、看護師、インテンシブコース受講生等
座長：伊藤　薫樹（岩手医科大学　腫瘍内科学科　教授）
板持　広明（岩手医科大学　産婦人科学講座　教授）
開会の辞　杉山　徹（岩手医科大学　産婦人科学講座　教授）
(1)『東北地方における臨床研究ネットワークの構築ー国際共同試験を意識してー』
島田　宗昭　先生（東北大学医学部　産婦人科学教室　准教授）
(2)『本邦で計画された臨床試験の国際共同試験への展開～JGOG3017,3020を通して』
寺尾　泰久　先生（順天堂大学　医学部・大学院医学研究科
産婦人科学教室　准教授）
(3)『国際共同試験における要件とわが国の取るべき戦略について』
福島　雅典　先生（（公財）先端医療振興財団臨床研究情報センター
センター長　京都大学名誉教授）
(4)『International Collaboration for clinical trials: experiences of KGOG』
Prof. Jae-Weon Kim（ Seoul National University）
(5)『Role of Central Pathological Review in Clinical Trials: Lessons from GOG』
Prof. Steven G. Silverberg（University of Maryland）
閉会の辞　板持　広明（岩手医科大学　産婦人科学講座　教授）
本シンポジウムは、TV会議システムを利用して連携大学にライブ配信され、双方向で討議を行います。ご興味のある方は是非ご来場下さい。（聴講自由）
主催：がんプロフェショナル養成基盤推進プラン
（順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学）
《お問合せ先》 医学部教務課：がんプロ担当（内線：3223・3111）

4-42　岩手医科大学　講演会「若年乳がん患者における妊孕性の温存」

■概要

（１）名称

「若年乳がん患者における妊孕性の温存」

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年１２月１５日（木）18：00～19：00

講義会場：岩手医科大学創立６０周年記念館９階　第２講義室

（３）演者

・「乳がん診療における、リプロダクティブヘルス＆ライツ」

順天堂大学医学部附属浦安病院　産婦人科　准教授　菊地　盤　先生

（４）参加者の概要

参加者数：22 名

（５）主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター


平成 28 年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業
講演会
「若年乳がん患者における妊孕性の温存」
司 会：小松 英明（岩手医科大学外科学講座 助教）
【講演】
乳がん診療における、
リプロダクティブヘルス
＆ライツ
講師：菊地　盤 先生
順天堂大学医学部附属浦安病院
産婦人科　准教授
座 長：菅井 有（岩手医科大学病理診断学講座 教授）
【日時】平成 28 年 12 月 15 日（木）18：00～19：00
【会場】創立 60 周年記念館 9 階　第２講義室
【対象】医師、インテンシブコース受講生、看護師
大学院生、薬剤師、ME 従事者等　（参加無料）
本シンポジウムは、TV 会議システムを利用して連携大学にライブ配信され、
双方向で討議を行います。ご興味のある方は是非ご来場下さい。（聴講自由）
【主催】がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
（順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学）
【問合せ先】岩手医科大学医学部教務課（がんプロ担当）
TEL：019-651-5111（内線 3111、3223）E-mail ：iganpuro@j.iwate-med.ac.jp

4-43　岩手医科大学　腫瘍センター講演会
「がん薬物療法の曝露対策の現状と課題」

■概要

（１）名称

「がん薬物療法の曝露対策の現状と課題」

（２）日時、会場

開催日時：平成２９年１月３０日（金）　18：00～19：45

講義会場：岩手医科大学創立 60 周年記念館 9 階　第 2 講義室

（３）演者

・「抗がん剤曝露の実践的対策とその背景」

岩手医科大学薬学部研修・教育部門主任薬剤師　佐藤　淳也　先生

・「抗がん薬職業曝露に対する正しい理解と組織対策の必要性」

公益財団法人がん研究会　有明病院薬剤部部長　濱　敏弘　先生

（４）参加者の概要

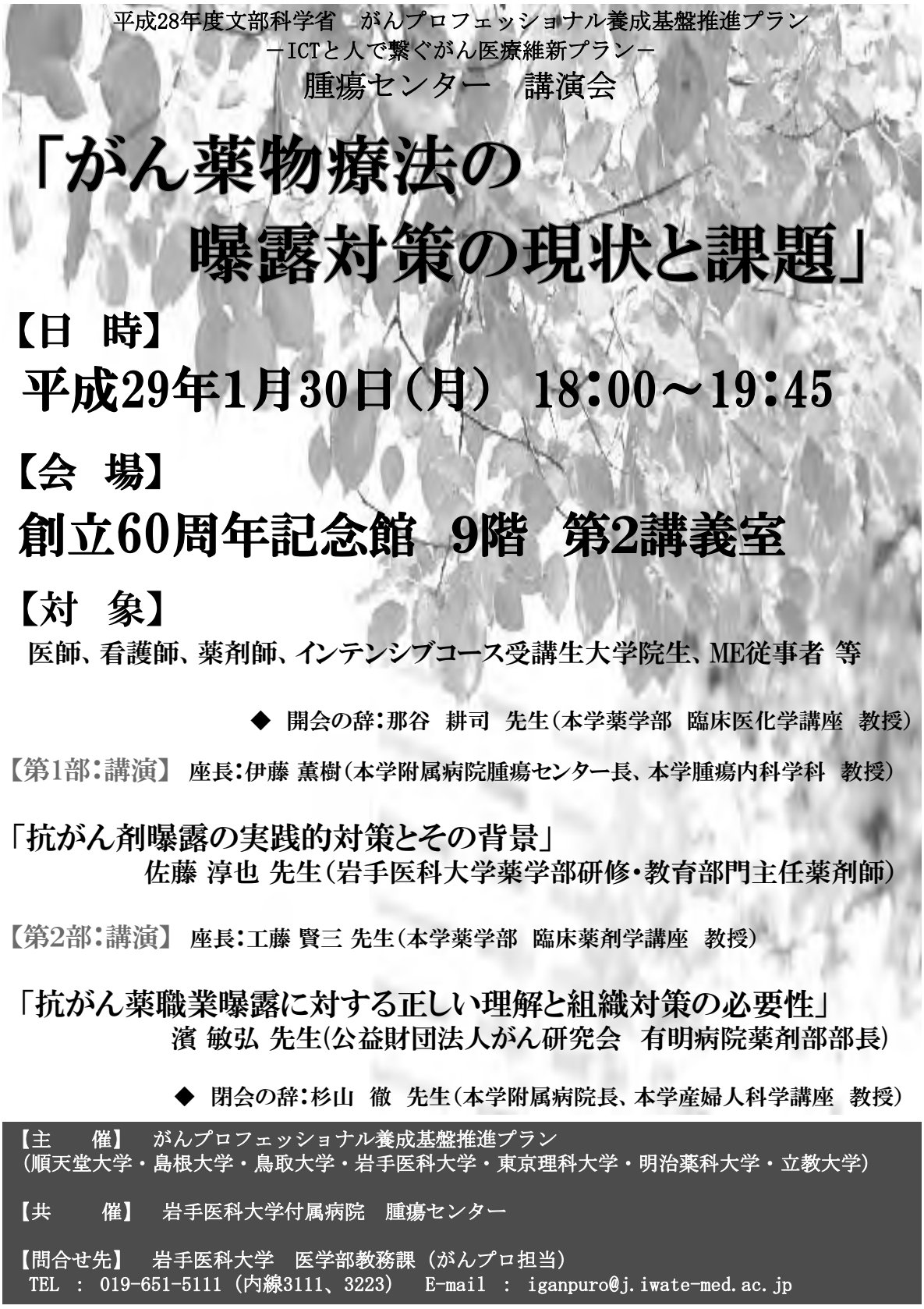
参加者数：５７名

（５）主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター


平成28年度文部科学省　がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
－ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン－
腫瘍センター　講演会
「がん薬物療法の
曝露対策の現状と課題」
【日　時】
平成29年1月30日（月）　18:00～19:45
【会　場】
創立60周年記念館　9階　第2講義室
【対　象】
医師、看護師、薬剤師、インテンシブコース受講生大学院生、ME従事者 等
◆ 開会の辞：那谷　耕司　先生（本学薬学部　臨床医化学講座　教授）
【第1部：講演】 座長：伊藤 薫樹（本学附属病院腫瘍センター長、本学腫瘍内科学科　教授）
「抗がん剤曝露の実践的対策とその背景」
佐藤 淳也 先生（岩手医科大学薬学部研修・教育部門主任薬剤師）
【第2部：講演】 座長：工藤 賢三 先生（本学薬学部　臨床薬剤学講座　教授）
「抗がん薬職業曝露に対する正しい理解と組織対策の必要性」
濱 敏弘 先生(公益財団法人がん研究会　有明病院薬剤部部長)
◆ 閉会の辞：杉山　徹　先生（本学附属病院長、本学産婦人科学講座　教授）
【主　　催】　がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
（順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学）
【共　　催】　岩手医科大学付属病院　腫瘍センター
【問合せ先】　岩手医科大学　医学部教務課（がんプロ担当）
TEL ： 019-651-5111（内線3111、3223）　E-mail ： iganpuro@j.iwate-med.ac.jp

4-44　岩手医科大学　高校生キャンサーセミナー

■概要

（１）名称

「高校生キャンサーセミナー」

（２）日時、会場

開催日時：平成２９年２月１１日（土）　10：00～16：00

講義会場：岩手医科大学　災害時地域医療支援教育センター（矢巾キャンパス）

（３）セミナープログラム

a）開会の挨拶

b）オリエンテーション：10：00～10：10

c）基礎講義

：10：10～12：00

d）昼食：12：00～13：00

e）体験セミナー：13：00～15：20　がんワークショップ同時実施

５～６名ずつのグループに分かれ、体験セミナーとがんワークショップを行う。

『体験セミナー』

・内視鏡手術シミュレーター体験

・エネルギーデバイス体験

・消化器内視鏡検査シミュレーター体験、超音波検査体験

・全身麻酔管理体験

・病理診断実習

・抗がん剤調剤模擬体験

『がんワークショップ』13：00～15：10　体験セミナー同時実施

「家族ががんを患った際の苦悩とは？さらに高校生である自分にはどのようなサポートができるか？」KJ 法を用いたグループディスカッション、発表会

f）アンケート記入・修了式：15：20～16：00

（４）参加者の概要

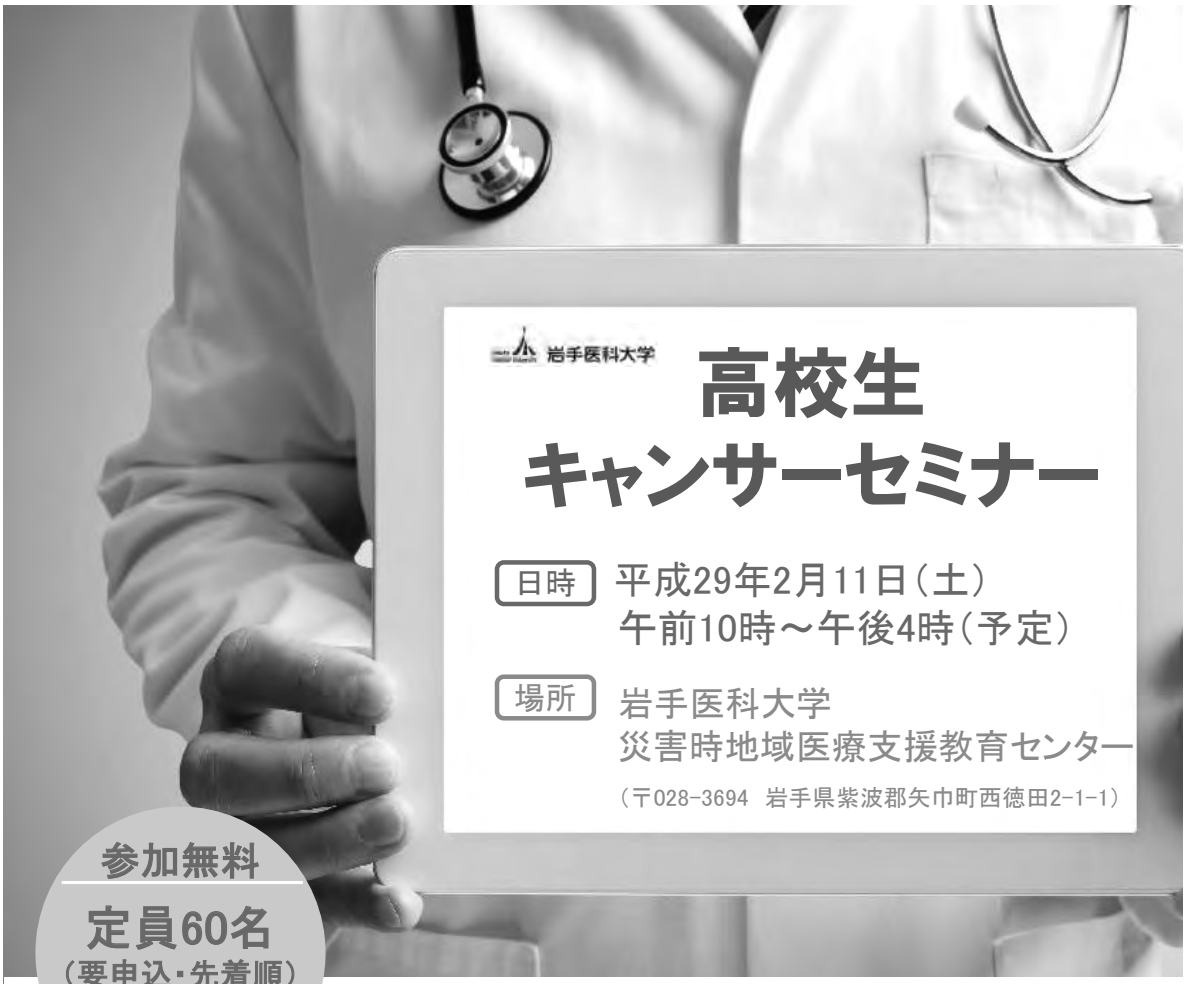
参加者数：４５名

（５）主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター



参加無料

定員60名
（要申込・先着順）
※平成29年1月24日（火）必着

医師、薬剤師、看護師などの医療者による基礎講義などの他外科手術のシミュレーターや内視鏡検査などの体験セミナーを予定しています。

AM（10:00～12:00）		PM（1:00～4:00）
☆オリエンテーション ☆基礎講義『がんを知る』 がんの基礎的知識から、検査　方法、治療方法、さらに最新研究まで	昼食	☆体験セミナー ・内視鏡手術シミュレーター体験 ・消化器内視鏡検査シミュレーター体験 ・全身麻酔管理体験 ・抗がん剤調剤模擬体験　など ※グループに分かれてローテーション

申込用紙もしくはWeb上の**必要事項（氏名、ふりがな、性別、学校名、学年郵便番号、住所、電話番号、E-mailアドレス）**をご記入の上、FAXもしくはWebのいずれかでお申込下さい。

※お申し込みは先着となります。
※集合場所、当日スケジュール等の詳細は、1月下旬に発送いたします。

FAXでの申込は
019-651-6606
Webでの申込は
http://www.iwate-med.ac.jp/hospital/

お問い合わせ
〒020-8505　岩手県盛岡市内丸19番1号
岩手医科大学　病院事務部医務課
高校生キャンサーセミナー担当
TEL　019-651-5110（内線3124もしくは3125）
FAX　019-651-6606
E-mail　imu@j.iwate-med.ac.jp

共催：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

4-45　東京理科大学　企画講座（セミナー等）

■概要

（１）名称

東京理科大学「第３２回　薬学講座」

（２）日時、会場

開催日時：平成２８年１０月１５日（土）　10：30～17：00

開催会場：東京理科大学神楽坂キャンパス 1 号館 17 階（記念講堂）

（３）演者

・「華々しき医療の進歩とすこしの不安」

東京理科大学 生命医科学研究所 所長　江角　浩安

・「石綿がんからナノファイバー、そして薬へ」

愛知学泉大学 家政学部　教授　久永 直見

・「化学物質による発がんの機構の毒性学的な考察」

労働者健康安全機構 日本バイオアッセイ研究センター 所長 菅野 純

・「神経発達障害の分子メカニズム解明へ」

東京大学 大学院医学系研究科 准教授　田中 輝幸

（４）参加者の概要

参加者数：８２名

（５）主催

東京理科大学

■資料

・ポスター

第 32 回　薬学講座　開催要項

期　　日　　平成 28 年 10 月 15 日（土）
時　　間　　10：30 ～ 17：00（10：00　受付開始）
定　　員　　240 名
場　　所　　東京理科大学神楽坂キャンパス 1 号館 17 階（記念講堂）
参 加 費　　2,000 円（講演要旨代を含む）
※ 昼食代は含まれておりません。
主　　催　　東京理科大学薬学部
共　　催　　東京理科大学生涯学習センター
東京理科大学薬学部同窓会
公益財団法人日本薬剤師研修センター
文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業

● プログラム ●

10：30 ～ 10：35　開会の辞　実行委員長　市原　学
10：35 ～ 10：40　学部長挨拶　東京理科大学　薬学部長
10：40 ～ 11：50
「華々しき医療の進歩とすこしの不安」
東京理科大学　生命医科学研究所　所長　**江角　浩安**
≪11：50 ～ 12：50 昼食・休憩≫
12：50 ～ 14：00
「石綿がんからナノファイバー、そして薬へ」
愛知学泉大学 家政学部　教授　**久永 直見**
≪14：00 ～ 14：15 休憩≫
14：15 ～ 15：25
「化学物質による発がんの機構の毒性学的な考察」
労働者健康安全機構　日本バイオアッセイ研究センター　所長　**菅野　純**
≪15：25 ～ 15：40 休憩≫
15：40 ～ 16：50
「神経発達障害の分子メカニズム解明へ」
東京大学　大学院医学系研究科　准教授　**田中　輝幸**
16：50　閉会の辞　実行委員長　市原　学

● 講座のお申し込みについて ●

今回の薬学講座は公益財団法人日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度の認定対象研修会であり、参加される場合は３単位の修得となります。単位認定を希望する方は事前に東京理科大学生涯学習センターＨＰ（http://www.tus.ac.jp/manabi/）からお申し込みください（インターネットをご使用になれない方は下記へご連絡ください）。受付期間は平成 28 年 8 月 1 日（月）から平成 28 年 10 月 5 日（水）までとさせていただきます。なお、単位認定が不要な方の事前申込は必要ありません。

● お問い合わせ先 ●

東京理科大学生涯学習センター
〒162-8601　東京都新宿区神楽坂 1-3
TEL：03-3267-9462　　FAX：03-3267-2048
E-mail：manabi@admin.tus.ac.jp
URL：　http://www.tus.ac.jp/manabi/

4-46　東京理科大学　企画講座（セミナー等）

■概要

（１）名称

「がんチーム医療と臨床試験」

（２）日時

開催日時：平成２８年４月２２日（金）10：40～18：00

平成２８年４月２３日（土）10：40～18：00

平成２８年５月１４日（土）　9：00～14：40

（３）演者

・４月２２日（金）

「症例検討と論文吟味 PBL」

聖マリアンナ医科大学薬剤師　前田 幹広

・４月２３日（土）

「臨床試験デザイン PBL」

大阪大学大学院医学系研究科臨床統計疫学寄附講座准教授 山本 紘司

・５月１４日（土）

「緩和ケアにおける薬剤師の役割」

がん研究センター東病院 、緩和薬物療法認定薬剤師 市田 泰彦

「がん薬物療法における薬剤師の役割」

がん研究センター東病院 、がん指導薬剤師 松井 礼子

「がんの臨床試験」

がん研究センター東病院　副薬剤部長 川崎 敏克

4-47　明治薬科大学　がんプロフェッショナル養成基盤事業講演会「Clinical Competency of Pharmacists impacting the Care of Oncology Patients」

■概要

（１）名称

「Clinical Competency of Pharmacists impacting the Care of Oncology Patients」

（２）日時、会場

開催日時：平成 29 年１月 21 日（土）13：00-16：00

開催会場：明治薬科大学清瀬キャンパス

総合教育研究棟フロネシス１階　講義室８１１１

（３）演者

Professor Alan Lau, College of Pharmacy, University of Illinois, USA

（４）参加者の概要

参加者数：76 名

（５）主催

明治薬科大学

5. 連携大学ICT特別講義

5-1　連携大学 ICT 特別講義
『Hematology/Oncology Clinical Pharmacy Practice in the USA』

■概要

（1）日時、会場

開催日時：平成２８年６月１日（水）18：30～20：00

講義会場：明治薬科大学清瀬キャンパス

総合教育研究棟フロネシス１階　講義室８１１１

（2）ゲストスピーカー

・「Hematology/Oncology Clinical Pharmacy Practice in the USA」

Meagan Spencer Barbee 先生

（3）主担当大学

明治薬科大学

■資料

・ポスター

がんプロフェッショナル養成基盤推進事業
ICT連携特別講演会のお知らせ

明治薬科大学ではがんプロフェッショナル養成活動の一環として先進的な海外でのがん専門薬剤師の活躍を紹介するため、本年度から本学の非常勤講師にお招きしたMeagan Spencer Barbee先生による講演会を開催することになりました。先生はMercer大学薬学部を卒業された後、Emory大学で血液学を中心に研鑽を積まれPharmDを取得され、その後Sloan Kettering Cancer Centerなどでがん専門薬剤師として活躍された先生です。今回は、血液学／腫瘍学分野における米国がん専門薬剤師の臨床活動について講演をして頂きます。興味のある大学院学生、学部学生、教員の方々は奮って参加してください。



Meagan Barbee, PharmD

記

講演会

日時：平成28年6月1日（水）　午後 6:30 – 8:00

場所：東京都清瀬市野塩2-522-1
明治薬科大学清瀬キャンパス
総合教育研究棟フロネシス1階　講義室8111

演者：Meagan Spencer Barbee 先生

演題：Hematology/Oncology Clinical Pharmacy Practice in the USA

（質疑には適宜日本語通訳が付きますので学部学生も是非参加してください）

問い合わせ先：　明治薬科大学教務課大学院係
TEL. 042-495-8613　　MAIL. grad@my-pharm.ac.jp

5-2　連携大学 ICT 特別講義
『Molecular Pathogenesis and Oncotarget in Pancreatic Tumor. 』
『Recent Updates in Lung Cancer』

■概要

（１）日時、会場

開催日時：平成２８年７月２０日（水）16：00～18：00

講義会場：がんセンターキャンサーボード

（鳥取大学医学部付属病院第二中央診療棟２階がんセンター内）

（２）ゲストスピーカー

講演１

・「Molecular Pathogenesis and Oncotarget in Pancreatic Tumor.」

Dr. Maria Zajac-Kaye,

Associate Professor, Department of Anatomy and Cell Biology

College of Medicine, University of Florida

講演２

・「Recent Updates in Lung Cancer」

Dr. Frederic J Kaye,

Professor of Medicine and Medical Director of Thoracic Oncology Program,

Lung Cancer Center, University of Florida

Dupty Editor of JNCI

（３）主担当大学

鳥取大学

■資料

・ポスター


がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
〈ICT と人で繋ぐがん診療維新プラン〉
ICT 連携特別講義
日　時：平成２８年７月２０日(水)16:00～18:00
場　所：がんセンターキャンサーボード
（鳥取大学医学部附属病院第二中央診療棟２階がんセンター内）
座長：鳥取大学医学部附属病院卒後臨床研修センター教授　井岸　正
講演１
「Molecular Pathogenesis and Oncotarget in Pancreatic Tumor.」
Dr. Maria Zajac-Kaye,
Associate Professor, Department of Anatomy and Cell Biology
College of Medicine, University of Florida
講演２
「Recent Updates in Lung Cancer」
Dr. Frederic J Kaye,
Professor of Medicine and Medical Director of Thoracic Oncology Program,
Lung Cancer Center, University of Florida
Dupty Editor of JNCI
Frederic Kaye 教授は JNCI (impact factor 13)の副編集長で定期的に JNCI に review article を執筆され、肺癌の EGFR 変異が EGFR-TKI のバイオマーカーであることを明らかにした発見者の一人でもあります。さらに固形癌で fusion product が発癌に関わることを Nature genetics に発表されています。米国国立癌研究所および海軍病院腫瘍内科で研究者・医師として長期間勤務された後にフロリダ大学に移動され、ご活躍中です。
主催：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン〈ICT と人で繋ぐがん診療維新プラン〉
順天堂大学・島根大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学・鳥取大学
共催／後援：鳥取大学医学部附属病院がんセンター、鳥取大学染色体工学センター
機能病態内科学、生命化学科病態生化学分野、分子制御内科学
お問合せ：鳥取大学医学部学務課教務係
TEL (0859)38-7098（内線 7107,7094）
E-mail: me-kyoumu@adm.tottori-u.ac.jp

5-3　連携大学 ICT 特別講義
『がんチーム医療における薬剤師』

■概要

（１）日時、会場

開催日時：平成２８年９月１３日（火）18：30～20：00

講義会場：順天堂大学　センチュリータワー南４F　４０３教室

（２）ゲストスピーカー

・「がんチーム医療における薬剤師」

浅子　恵利　先生

千葉県こども病院　薬剤部部長

（３）主担当大学

東京理科大学／明治薬科大学

■資料

・ポスター

文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業

連携大学ICT特別講義

がんチーム医療における薬剤師

講師：浅子恵利　先生

千葉県こども病院　薬剤部部長

浅子先生はがん専門病院でがん薬物療法を長く手がけていらっしゃる方ですので、がんチーム医療における薬剤師について貴重なお話を伺えると思います。本特別講義では、TV会議システムを利用して連携大学に講義の内容をライブ配信し、双方向で討議を行います。ご興味のある方は是非ご参加ください（聴講自由）。

日時：平成28年9月13日（火）　18：30～20：00
会場：順天堂大学　センチュリータワー 南4F　403教室
主担当大学・教員：
　東京理科大学薬学部　講師　吉澤一巳
　明治薬科大学　副学長　教授　越前宏俊
対象：学生、大学院生、薬剤師、研究者、教職員、医療従事者
問合せ先：東京理科大学（野田）薬学部事務課
　04-7121-3691（直通）

5-4　連携大学 ICT 特別講義
『日本における医薬品開発の現状と課題、医薬品審査の観点から』

■概要

（１）日時、会場

開催日時：平成２８年１１月１１日（金）18：30～20：00

講義会場：順天堂大学　センチュリータワー北棟４階　４０６教室

（２）ゲストスピーカー

・「日本における医薬品開発の現状と課題、医薬品審査の観点から」

柴田　憲広　先生

（独）医薬品医療機器総合機構　新薬審査第五部審査専門員

（３）主担当大学

東京理科大学／順天堂大学

■資料

・ポスター

文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業

連携大学ICT特別講義

日本における医薬品開発の現状と課題、医薬品審査の観点から

講師：柴田 憲広　先生

（独）医薬品医療機器総合機構 新薬審査第五部 審査専門員

医薬品医療機器総合機構（PMDA）は、国民保健の向上に貢献することを目的として、医薬品や医療機器などの品質、有効性および安全性について、治験前から承認までを一貫した体制で指導・審査しています。本講義では、医薬品開発の現状と課題について貴重なお話を伺えると思います。当日は、TV会議システムを利用して連携大学に講義の内容をライブ配信し、双方向で討議を行います。ご興味のある方は是非ご参加ください（聴講自由）。

日時：平成28年11月11日（金）　18：30～20：00
会場：順天堂大学　センチュリータワー 北棟4階　406教室
主担当大学・教員：
　東京理科大学薬学部　教授　深井文雄
　順天堂大学大学院医学研究科　教授　佐瀬一洋
対象：学生、大学院生、薬剤師、研究者、教職員、医療従事者
問合せ先：東京理科大学（野田）薬学部事務課
　04-7121-3691（直通）

5-5　連携大学 ICT 特別講義
『がんプロによって構築された地域連携と生涯教育の将来展望』

■概要

（１）日時、会場

開催日時：平成２８年１１月１６日（水）18：30～20：00

講義会場：鳥取大学医学部附属病院がんセンター　キャンサーボード

島根大学医学部附属病院みらい棟４階　ギャラクシー

（２）ゲストスピーカー

【第１部：講義】

講義１

・「認定看護師の実践能力育成支援～フォローアップセミナーの紹介～」

鳥取大学医学部附属病院　医療スタッフ研修センター　認定看護師育成支援室

深田　美香

講義２

・「島根県のがん診療における地域連携の現状と今後の課題 –看護師としての役割–」

島根大学医学部附属病院緩和ケアセンター　看護師

宮本　冬美

講義３

・「島根県のがん診療における地域連携の現状と今後の課題 –医師としての役割–」

島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　助教

沖本　民生

【第２部：パネルディスカッション】

・「がんプロによって構築された地域連携と生涯教育の将来展望」

コーディネーター

・島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　教授

礒部　威

パネリスト

・鳥取大学医学部附属病院　医療スタッフ研修センター　認定看護師育成支援室

深田　美香

・島根大学医学部附属病院緩和ケアセンター　看護師

宮本　冬美

・島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　助教

沖本　民生

・鳥取大学医学部附属病院がんセンター　教授

辻谷　俊一

（３）主担当大学

鳥取大学/島根大学

■資料

・ポスター

平成24年度文部科学省採択事業　がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
～ICTと人で繋ぐがん医療推進プラン～

連携大学 ICT特別講義

「がんプロによって構築された 地域連携と生涯教育の将来展望」

日時：平成28年11月16日（水）18：30～20：00

会場：鳥取大学医学部附属病院がんセンター　キャンサーボード
島根大学医学部附属病院 みらい棟4階　ギャラクシー

プログラム

【開会挨拶】 18：30～18：35
鳥取大学医学部附属病院がんセンター　教授　辻谷　俊一

【第1部：講義】 18：35～19：35
司会：　島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　教授　礒部　威

講義1.「認定看護師の実践能力育成支援～フォローアップセミナーの紹介～」
鳥取大学医学部附属病院　医療スタッフ研修センター 認定看護師育成支援室
深田　美香

講義2「島根県のがん診療における地域連携の現状と今後の課題 -看護師としての役割-」
島根大学医学部附属病院緩和ケアセンター　看護師　宮本　冬美

講義3「島根県のがん診療における地域連携の現状と今後の課題-医師としての役割-」
島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　助教　沖本　民生

【第2部：パネルディスカッション】 19：35～19：55
「がんプロによって構築された地域連携と生涯教育の将来展望」
コーディネーター：島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　教授　礒部　威

パネリスト：
鳥取大学医学部附属病院　医療スタッフ研修センター 認定看護師育成支援室 深田美香
島根大学医学部附属病院緩和ケアセンター　看護師　宮本　冬美
島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　助教　沖本　民生
鳥取大学医学部附属病院がんセンター　教授　辻谷　俊一

【閉会挨拶】 19：55～20：00
島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　教授　礒部　威

・本特別講義では、TV会議システムを利用して連携大学に講義の内容をライブ配信し、双方向で討議を行います。ご興味のある方は是非ご来場下さい。（聴講自由）

主催：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
（順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学）

お問合せ先：　がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
島根大学医学部事務室　　電話　0853-20-2576　　Fax：0853-20-2580　　Mail: ganpro@med.shimane-u.ac.jp

5-6　連携大学 ICT 特別講義
『高齢者のがん薬物療法の現状と課題』

■概要

（１）日時、会場

開催日時：平成２８年１１月２２日（火）18：00～20：00

講義会場：岩手医科大学　創立６０周年記念館９階　第１講義室

（２）ゲストスピーカー

【第１部：講演】

・「薬学的管理で支える高齢者のがん治療」

二瓶　哲　先生

岩手医科大学附属病院　がん専門薬剤師

・看護師からみた高齢者がん薬物療法の現状と課題」

澁谷　幸子　先生

岩手医科大学附属病院　がん化学療法看護認定看護師

【第２部：特別講演】

・「高齢者がん患者に対する薬物療法　−高齢者機能評価と precision medicine−」

礒部　威 先生

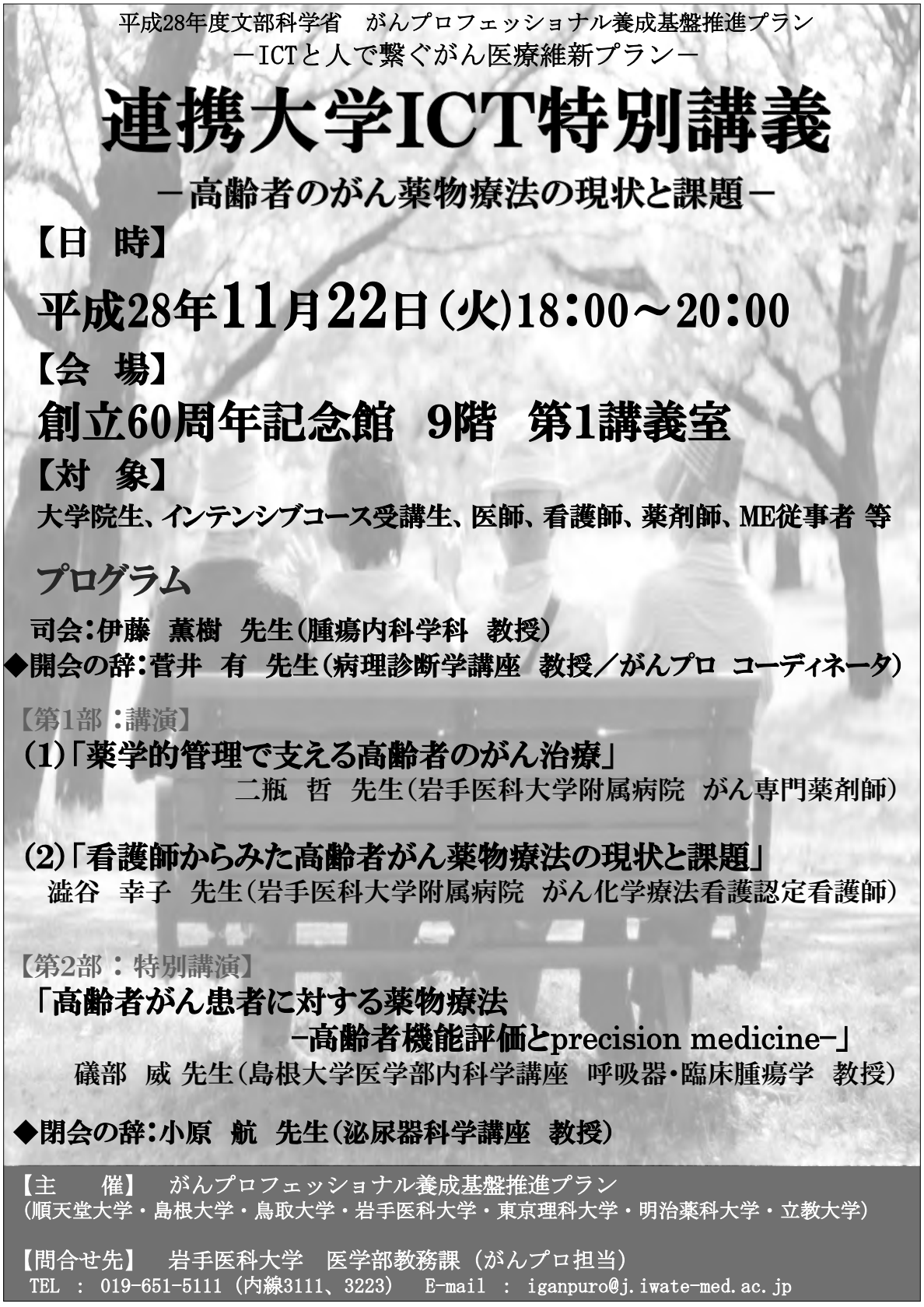
島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　教授

（３）主担当大学

岩手医科大学

■資料

・ポスター


平成28年度文部科学省　がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
－ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン－
連携大学ICT特別講義
－高齢者のがん薬物療法の現状と課題－
【日　時】
平成28年11月22日(火)18:00～20:00
【会　場】
創立60周年記念館　9階　第1講義室
【対　象】
大学院生、インテンシブコース受講生、医師、看護師、薬剤師、ME従事者 等
プログラム
司会:伊藤　薫樹　先生(腫瘍内科学科　教授)
◆開会の辞:菅井　有　先生(病理診断学講座　教授／がんプロ　コーディネータ)
【第1部：講演】
(1)「薬学的管理で支える高齢者のがん治療」
二瓶　哲　先生(岩手医科大学附属病院　がん専門薬剤師)
(2)「看護師からみた高齢者がん薬物療法の現状と課題」
澁谷　幸子　先生(岩手医科大学附属病院　がん化学療法看護認定看護師)
【第2部：特別講演】
「高齢者がん患者に対する薬物療法
-高齢者機能評価とprecision medicine-」
礒部　威 先生(島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　教授)
◆閉会の辞:小原　航　先生(泌尿器科学講座　教授)
【主　　催】　がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
(順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学)
【問合せ先】　岩手医科大学　医学部教務課（がんプロ担当）
TEL ： 019-651-5111（内線3111、3223）　E-mail ： iganpuro@j.iwate-med.ac.jp

6. 共同カンファレンス等

6-1　がんプロ乳腺臨床・研究 TV カンファレンス

■概要

（１）名称

乳腺臨床・研究 TV カンファレンス

（２）日時、参加大学

・第 1 回

開催日時：平成 28 年 4 月 27 日（水）　19：00～20：00

参加大学：順天堂大学、島根大学、鳥取大学、岩手医科大学

・第 2 回

開催日時：平成 28 年 5 月 25 日（水）　19：00～20：00

参加大学：順天堂大学、鳥取大学、岩手医科大学

・第 3 回

開催日時：平成 28 年 6 月 29 日（水）　19：00～20：00

参加大学：順天堂大学、鳥取大学、岩手医科大学、東京理科大学

・第４回

開催日時：平成 28 年 7 月 27 日（水）　19：00～20：00

参加大学：順天堂大学、島根大学、鳥取大学、岩手医科大学

・第 5 回

開催日時：平成 28 年 9 月 28 日（水）　19：00～20：00

参加大学：順天堂大学、島根大学、岩手医科大学

・第 6 回

開催日時：平成 28 年 10 月 26 日（水）　19：00～20：00

参加大学：順天堂大学、島根大学、鳥取大学

・第 7 回

開催日時：平成 28 年 11 月 30 日（水）　19：00～20：00

参加大学：順天堂大学、鳥取大学、岩手医科大学

・第 8 回
開催日時：平成 28 年 12 月 21 日（水）　19：00～20：00
参加大学：順天堂大学、鳥取大学、岩手医科大学

・第 9 回
開催日時：平成 29 年 1 月 25 日（水）　19：00～20：00
参加大学：順天堂大学、鳥取大学、岩手医科大学

・第 10 回
開催日時：平成 29 年 2 月 22 日（水）　19：00～20：00

・第 11 回　開催予定
開催日時：平成 29 年 3 月 22 日（水）　19：00～20：00

6-2　がんプロ放射線 TV カンファレンス

■概要

（１）名称

がんプロ放射線 TV カンファレンス

（２）日時、参加大学

・第１回

開催日時：平成 28 年 6 月 3 日（金）

参加大学：順天堂大学、岩手医科大学、島根大学、鳥取大学

・第２回

開催日時：平成 28 年 10 月 28 日（金）

参加大学：順天堂大学、島根大学、鳥取大学

6-3　がんプロ薬剤師関連カンファレンス

■概要

（１）名称

薬剤師関連カンファレンス

（２）日時、参加大学

・第１回

開催日時：平成 28 年 6 月 6 日（月）

参加大学：順天堂大学、島根大学、明治薬科大学、東京理科大学

・第２回

開催日時：平成 28 年 9 月 5 日（月）

参加大学：順天堂大学、島根大学、鳥取大学、明治薬科大学、東京理科大学

・第３回

開催日時：平成 28 年 11 月 7 日（月）

参加大学：順天堂大学、島根大学、鳥取大学、岩手医科大学、明治薬科大学、
東京理科大学

・第４回

開催日時：平成 29 年 1 月 17 日（火）

参加大学：順天堂大学、島根大学、鳥取大学、岩手医科大学、東京理科大学

6-4　がんプロ共同研究

■概要

・共同研究①「肺癌患者の化学療法後好中球減少に関する NAMPT 活性および SIRT1 遺伝子変異に関する検討」
（島根大学-東京理科大学）

・共同研究②「がん化学療法に伴う好中球減少と NAMPT 活性および SIRT1 遺伝子発現に関する検討」
（順天堂－島根－鳥取－岩手医科－東京理科）

・共同研究③「小細胞肺癌の新規早期診断マーカーに関する検討」
（順天堂－明治薬科）

・共同研究④「GPCR の作働薬、拮抗薬の開発」
（順天堂　生化学第一研究室　－　東京理科　薬学部生化学教室）

・共同研究⑤「マクロファージ炎症反応阻害薬の開発」
（順天堂　生化学第一研究室－東京理科　薬学部生化学教室）

・共同研究⑥「抗がん剤によるＦＮ対応調査内容を検討」
（東京理科－順天堂－岩手医科－島根－明治薬科）

・共同研究⑦「がん放射線治療後の血漿中腫瘍由来 DNA を利用した癌診断・薬剤感受性に関する解析方法の確立」
（順天堂　腫瘍内科－東京理科　山下研究室）

・共同研究⑧「粒子線治療における原子核反応データの研究」
（立教大学－順天堂）

・共同研究⑨「テネイシン C の癌浸潤部での発現解析」
（順天堂－東京理科）

・共同研究⑩「乳癌化学療法時の最適制吐剤探求に関する臨床試験 TTT」
（順天堂－鳥取－岩手医科－島根－東京理科）

・共同研究⑪「ALDH2 遺伝子多型と吐気の強度に関する ACHIVE 試験」
（順天堂－東京理科）

・共同研究⑫「アカデミック・ディテーリングデータベースに関する試み」
（順天堂－東京理科）

・共同研究⑬「抗がん剤ならびに放射線治療における酸化ストレスと副作用発現との関連性について」
（立教大学－東京理科）

・共同研究⑭「小細胞肺癌患者・血液循環 RNA を用いた遺伝子解析」
（順天堂－東京理科）

・共同研究⑮「ファーマコジェノミクス解析による血小板減少薬の効果判定マーカーの同定<基礎と臨床を繋ぐ研究（translational research)>）
（順天堂－明治薬科）

・共同研究⑯「日本とタイにおける EGFR 遺伝子変異陽性進行非小細胞肺癌患者の治療実態に関する観察研究」
（順天堂－マヒドン大学（タイ）－島根大学－岩手医科－鳥取）

・共同研究⑰「GCIG/JGOG 3017 Translational Research 卵巣明細胞腺癌に対する新規バイオマーカーの検索と化学療法感受性に関する検討」
（岩手医科大学－順天堂大学－鳥取大学）

・共同研究⑱「（次世代がんプロジェクト）卵巣漿液性腺癌ＨＧに対する新規バイオマーカーの検索と化学療法感受性に関する後方視的検討」
（岩手医科、順天堂、鳥取、他 13 施設 → 産婦人科学講座）

・共同研究⑲「婦人科腫瘍のバイオマーカー探索に資する網羅的遺伝子解析研究」
理化学研究所(岩手医科、順天堂、鳥取 → 産婦人科学講座)

・共同研究⑳「創薬コンセプトに基づく戦略的治療デザインの確立」（卵巣がんにおける化学療法効果規定因子の探索）
（岩手医科大学、順天堂、鳥取、他７施設 → 産婦人科学講座）

6-5　がんプロ海外研修

■海外研修１

（１）名称

「Medical Innovation Tour 2017 －MD Anderson Cancer Center & Baylor Collage of Medicine－」

（２）期間、研修先

研修期間：平成 29 年 2 月 18 日（土）～ 2 月 26 日（日）

研 修 先：米国 Texas Medical Center

（３）参加者の概要

参加者数：順天堂大学（教員 1 名、学生 3 名）

東京理科大学（学生 2 名）

岩手医科大学（学生 1 名）

■海外研修２

（１）名称

山陰がん認定医療スタッフ育成コース（インテンシブ）海外研修

（２）期間、研修先

研修期間：平成 28 年 10 月 24（月）～10 月 28 日（金）

研 修 先：トーマスジェファーソン大学（アメリカ フィラデルフィア）

（３）参加者の概要

参加者数：４名

鳥取大学医学部附属病院　緩和ケアセンター　吉本　美和

鳥取大学医学部附属病院　女性診療科　小松　宏彰

島根大学医学部附属病院　呼吸器・化学療法内科　講師　津端　由佳里

島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　助教　沖本　民生

■資料

・ポスター

文部科学省 平成24年度「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」選定事業
～ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン～

Medical Innovation Tour 2017
MD Anderson Cancer Center & Baylor Collage of Medicine

【日程】2017年2月18日～26日 (9日間)

順天堂大学と包括同意協定を結んでいるMD Anderson Cancer Centerの先生方およびBaylor collage of medicineの山本慎也先生(Assistant Professor)の協力のもと、がんプロ所属の大学院生、インテンシブ・コース生、PD、RA/TA向けにアメリカの最大級のメディカルセンター, Texas Medical centerでの研修を企画いたしました。

三回目となる今年は、 Texas Children Hospitalの見学やMDACCの薬剤師さんの協力のもと、実際の業務を見学する機会を設ける予定でおります。9日間という短い期間ではありますが、現地で活躍する先生方のLecture、研究施設の見学、リサーチセミナーへの参加を通して、海外に留学することや研究することを身近に感じていただけたらと思っております。

研修への参加申し込みおよび研修に関する質問は、先導的がん医療開発研究センター（担当；今井）またはがんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局までお願い致します。



【対象】がんプロ大学院生, RA/TA, インテンシブ・コース登録生

参加者は、がんプロの趣旨を理解するとともに、継続的に活動に参加すること。現地で働くPI及びポスドクの方とのDISCUSSIONを行いますので、積極的にDISCUSSIONに参加する意思と英語力が必要となります。**RA/TA及びインテンシブコース登録生に関しては各大学参加条件が異なりますので、事務局までお問い合わせください。**

【応募人数】　若干名

【応募方法・選考】

1. 申し込み書及び履歴書（英文）を提出
2. 書類選考と英語のテスト

【研修内容】

2017.2.18	成田→ヒューストン
2017.2.19-20	**Baylor collage of medicineにて研修** - Lecture - Lab及び大学見学
2017.2.21	**Texas Medical centerの見学**
2017.2.22	**Texas Children Hospitalの見学（未定）**
2017.2.23-24	**MD Anderson Cancer Centerにて研修** - Lecture - Lab及び病院内（薬剤部など）の見学 - MD Anderson Cancer Centerの見学
2017.2.25	ヒューストン→成田 (26日午後帰国予定)

（参加者の構成・希望により変更の場合あり）

問い合わせ先；

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局　03-5802-1710
先導的がん医療研究開発センター　PHS;72558（担当；今井）

7. ニュースレター

7-1　ニュースレター第 17 号

順天堂大学
先導的がん医療開発研究センター

2016 第17号

Leading center for the development and research of cancer medicine

ニュースレター

国際共同研究

肺がん国際共同研究 Kick-off Meeting 報告

Division of Medical Oncology, Ramathibodi Hospital, Mahidol University

順天堂大学　医学研究科　呼吸器内科学　　教授　髙橋 和久
先導的がん医療開発研究センター　　助教　今井 美沙



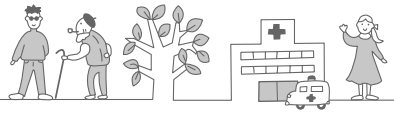


平成28年3月23日、がんプロフェッショナル養成基盤推進プランにおける国際共同研究を推進するため肺がん国際研究シンポジウムに登壇いただいた Thanyanan Reungwetwattana 先生が所属されているDivision of Medical Oncology, Ramathibodi Hospital, Mahidol University, Thailandを訪問し、共同研究および人材交流を含めた今後の国際交流の方向性について話し合いを行いました。

ミーティングは Medical Oncology Unit にて行われ、日本側のプロトコールコンセプト「日本とタイにおけるEGFR遺伝子変異陽性進行非小細胞肺癌患者の治療実態に関する観察研究」の説明、Ramathibodi Hospital Oncology team からの質疑応答に引き続き、プロトコールコンセプトについての意見交換が行われました。その結果、日本側のプロトコールコンセプトをもとにRamathibodi Hospital Oncology team内での話し合いが行われ、平成28年5月頃にタイと順天堂大学・岩手医科大学・島根大学・鳥取大学を結んだTV会議を行い、議論を深める予定となりました。ミーティングの最後には国際交流に関する話し合いも行われ、人的交流も含め、Division of Medical Oncology, Mahidol University とさらなる交流を行っていくことを約束いたしました。



Medical Oncology Unitにて記念撮影
Dr. Ekaphop Sirachainan（Na先生の上司の先生） & Dr.Thanyanan Reungwetwattana



平成28年度

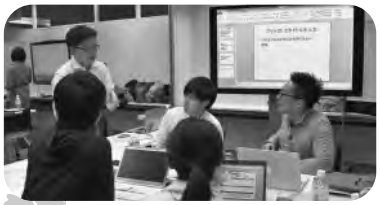
臨床研究研修会（合宿）報告
2/27（土）～28（日） at 順天堂大学

順天堂大学　医学研究科　乳腺・内分泌外科学
教授　齊藤 光江



2016年2月27・28日と通算で9回目のがんプロ臨床研究合宿が開催された。多職種広域エリア（岩手、鳥取、島根、東京、医学部、薬学部、看護学部、理工学部（統計学・物理学））から、総勢70名ほどの参加者があり、研修生もチューターも4つのグループに分かれて、今回のテーマである①抗癌治療の副作用データベースを構築する、②医療者の地域偏在を解消する、のいずれかをグループごとに話し合って選択してもらい、二日目の朝からのプレゼンテーションに備えるという実習を行った。全てのグループワークが大きな一つの教室で行われるとはいえ、グループ間交流は食事のときくらいであり、他はグループ内で活発な議論を展開、結局①：②が２：２と取り組む課題がいいあんばいにばらけ、しかもその後のグループワークで、見事にそれぞれが異なる方向に結論と将来展望を導き出した。グループダイナミックスの面白さである。全チューターも繰り返し集まっては、現状報告と問題点共有、そして介入のし方をディスカッションで決めていくというこの合宿伝統の流儀で、老若男女、経験者・初体験者の別を問わず、組織の不思議な力学に翻弄されたり抗ったりしながら、全ての参加者がどこかでリーダーシップを発揮し、コミュニケーションスキルを高め、evidence based medicineを意識し、医療のエンドユーザーである患者を中心に考えるというチーム医療の４つの大切なエッセンスを身をもって学ぶ機会となった。そして最後は達成感で実によい笑顔。若者たちがここでの学びで社会を動かしていく日を楽しみにしている。











▲ 順天堂大学センチュリータワーにて開催しました

立教小学校　がん教育授業について

3/15 (火)

立教大学　理学研究科物理学専攻　　特任准教授　洞口 拓磨

立教大学では、去る3月15日立教小学校において「親子で学ぶがん教育」と題したがん教育授業を、順天堂大学樋野興夫教授を講師としてお招きし、開催致しました。

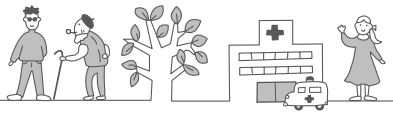
わが国では国民の2人に1人はがんに罹患し、3人に1人はがんで亡くなる現状において、がん対策推進基本計画の中でも、がんの教育・普及啓発が喫緊の目標として掲げられています。また、我々が取り組むがんプロフェッショナル養成基盤推進プランにおいても、社会に対する「開かれたがんプロ」の一環として、がん教育は非常に重要な位置づけにあります。

本学では、立教学院内に小学校及び中高一貫校二校を要し、がん教育授業へ向けての実施環境に恵まれていたこと、更にがんプロ連携校内での取り組みの中でがん教育に対する実施基盤が整いつつあったことが後押しとなり、本学院内での提案を経て、まずは小学校での授業実施に至りました。

立教小学校では、全国的にも先進的な保健体育教育への取り組みを行っており、今回の授業を実施するにあたり、「“がん”を通して“命の大切さ”を子どもたちに伝えて欲しい」とのメッセージを頂きました。授業は、タイトルの通り保護者参観の形で5年生3クラスを対象に、同じ内容を1クラスずつ計3回行いました。この授業で特筆すべきことは、樋野先生の素晴らしい講義もさることながら、小学生の純粋で聡明な理解力と、日中にも拘わらず授業に駆けつけてくださった熱心な保護者の方々の多さでした。そのことは、授業後に拝見した紙面をびっしりと埋められた小学生達の授業メモと、保護者アンケートの中の感謝の言葉に滲み出ていたことは言うまでもありません。今回のがん教育の提案・開催を通して、逆にがん教育への関心の高さと重要性を改めて認識させられた次第です。

今回、講師を引き受けて頂いた樋野興夫教授に改めて感謝申し上げます。また、ご協力頂きました順天堂大学先導的がん医療開発研究センター及び立教小学校の教員の皆様方には心より御礼申し上げますとともに、今後の私たちの活動にもご興味、参画頂けますようお願い申し上げます。





Leading center for the development and research of cancer medicine

情報コーナー

報告

下記のとおり大盛況のうちに終了いたしました。ありがとうございました。

- **立教小学校がん教育授業（立教小学校）**
  講師：順天堂大学大学院医学研究科　樋野 興夫 教授　2016年3月15日（火）4・5・6校時
- **セミナー（島根大学）**「出雲肺がんセミナー」
  講師：島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　礒部 威 教授　2016年3月16日（水）19：00～20：15
- **セミナー（島根大学）**「副作用とその対策②－吐き気・脱毛など－、海外医療機関研修報告」
  話し手：島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　礒部 威 教授　2016年4月28日（木）18：30～19：30
- **セミナー（鳥取大学）**「鳥取大学医学部附属病院がんセミナー」
  演者：鳥取大学医学部附属病院　がんセンター　大山 賢治 先生　他　2016年4月28日（木）18：15～20：00
- **セミナー**「本邦における臨床研究の現状と展望」
  講師：東北大学病院臨床研究推進センター特任教授・東北医科薬科大学医学部　産婦人科教室　渡部 洋 教授
  2016年5月17日（火）18：00～19：00
- **セミナー（島根大学）**「放射線治療の最新事情」
  話し手：島根大学医学部　放射線腫瘍学　猪俣 泰典 教授　2016年5月19日（木）18：30～19：30
- **連携ICT特別講義（明治薬科大学）**「Hematology / Oncology Clinical Pharmacy Practice in the USA」
  講師：Meagan Spencer Barbee, PharmD　2016年6月1日（水）18：30～20：00　ICT接続により連携大学に配信
- **セミナー（鳥取大学）**「鳥取大学医学部附属病院がんセミナー」
  演者：鳥取大学医学部附属病院　第一外科　齋藤 博昭 先生　他　2016年6月2日（木）18：15～20：00
- **がんプロ研究シンポジウム（立教大学）**「医学・理学・薬学連携で繋ぐがん医療研究の推進を目指して」
  講師：明治薬科大学薬学部　庄司 優 教授　他　2016年6月11日（土）13：00～16：20　ICT接続により連携大学に配信

今後のスケジュール

詳細はHPに随時掲載します

- **がんプロ国際シンポジウム（順天堂大学）**
  「がん分野におけるゲノム医療実現に向けた取り組み～クリニカルシークエンスがもたらすがん医療の将来像と問題点～」
  演者：Chair in Molecular Oncology, Memorial Sloan-Kettering Cancer Center　Marc Ladanyi, M.D.
  2016年7月15日（金）17：00～19：00　順天堂大学センチュリータワー北405教室　ICT接続により連携大学に配信
- **セミナー（順天堂大学）** 高校生セミナー「顕微鏡の世界－正常細胞とがん細胞の違い－」
  講師：順天堂大学医学部　病理・腫瘍学　佐伯 晴美 助教　他
  2016年7月16日（土）9：30～16：00　順天堂大学センチュリータワー地下1階　形態系実習室
- **ICT特別講義（鳥取大学）**
  講師：Dr. Maria Zajac-Kaye, Associate Professor, Department of Anatomy and Cell Biology College of Medicine, University of Florida　他
  2016年7月20日（水）16：00～18：00　鳥取大学医学部附属病院2Fがんセンターキャンサーボード　ICT接続により連携大学に配信
- **セミナー（島根大学）**「緩和ケアとは？」
  話し手：島根大学医学部　緩和ケア講座　中谷 俊彦 教授
  2016年7月21日（木）18：30～19：30　島根大学医学部医学部附属病院外来中央診療棟3階　だんだん
- **がんプロ研究シンポジウム（東京理科大学）**「がん治療における標的探索から臨床まで」
  講師：東京理科大学　薬学部　秋本 和憲 准教授　他
  2016年7月30日（土）13：30～17：00　東京理科大学葛飾キャンパス図書館ホール

編集後記

『南原繁シンポジウム～南原繁先生に学ぶ～』（主催：南原繁研究会、大中三高会　共催：東かがわ市、東かがわ市教育委員会　後援：赤澤記念財団、香川県、香川県教育委員会、四国新聞社）に赴いた。会場は、満員であった。筆者は、『今ふたたび南原繁～よき師・よき友・よく読書～』を語った。順天堂大学 保健看護学部（三島キャンパス）での学生の講義『がん病理学』の機会が与えられた。質問および、授業後の全員のレポートを拝読して、真摯な感想文には、大いに感動した。まさに、『教育とは、すべてのものを、忘れたあとに、のこるもの』（南原繁）の言葉が明確に甦った。アメリカで流行している『Facebook症候群』は、やがて日本国でも蔓延することであろう。「その予防・治療の発症前」の対策が、『がん教育の真髄』となる時代的予感がする。

恵泉女学園（新渡戸稲造を師とする河井道 創立）の高校生の授業『がん教育』の機会が与えられた。『武士道：第14章 婦人の教育および地位』（新渡戸稲造 著・矢内原忠雄 訳）は、まさに、「差異と不平等との区別」の重要な学びの時であった。

編集長・広報委員長 樋野 興夫

順天堂大学先導的がん医療開発研究センター
順天堂大学がん生涯教育センター
〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1　http://ganpro-ict-plan.jp/index.html
編　集　順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン　広報委員会
発　行　順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

7-2　ニュースレター第 18 号

順天堂大学
先導的がん医療開発研究センター

2016 第18号

Leading center for the development and research of cancer medicine

ニュースレター

がんプロ国際シンポジウム

「がん分野におけるゲノム医療実現に向けた取り組み」
～クリニカルシークエンスがもたらすがん医療の将来像と問題点～

7/15(金) 開催

順天堂大学大学院医学研究科　臨床腫瘍学　**教授　加藤 俊介**

7月15日、順天堂大学において「がん分野におけるゲノム医療実現に向けた取り組み～クリニカルシークエンスがもたらすがん医療の将来像と問題点～」と題した国際シンポジウムを行いました。昨年米国オバマ大統領が行った一般教書演説において科学技術に関する施策としてprecision medicine initiativeが取り上げられ、ゲノム情報に基づくより詳細な個別化医療への取り組みが注目されつつあります。日本においても、健康・医療戦略及び医療分野研究開発推進計画を踏まえ、ゲノム医療を実現するために「ゲノム医療実現推進協議会」が設立されましたが、その普及のためには、社会基盤整備、個人情報保護や二次的所見の取り扱いなどの倫理的課題など、解決すべき事項は山積みとなっています。今回のシンポジウムでは、米国Memorial Sloan Kettering Cancer CenterのMark Ladarnyi先生をお呼びし、同施設で行われているクリニカルシークエンス（MSK-IMPACT）の実績をご紹介いただきました。引き続き、臨床検査部の田部陽子先生、人体病理の林大久生先生を司会に、Ladarnyi先生、呼吸器内科の高橋史行先生、日米の認定遺伝カウンセラー資格を持っているFMC東京クリニックの田村智英子先生、医薬品医療機器総合機構の宮本大誠先生にパネラーとなっていただき、我が国にクリニカルシークエンスを導入された際の展望や問題点について討論が行われました。シンポジウムは2時間の予定を超過して終了し、参加者の今後の医療への期待の大きさを強く感じました。



がんプロ国際シンポジウム

「がん分野におけるゲノム医療実現に向けた取り組み」

順天堂大学大学院医学研究科　臨床病態検査医学　**先任准教授　田部 陽子**

去る7月15日、ICTで連携大学を結び、国際シンポジウム「がん分野におけるゲノム医療実現に向けた取り組み～クリニカルシークエンスがもたらすがん医療の将来像と問題点～」を開催しました。本シンポジウムでは、順天堂医院が日本で初めて日常診療に取り入れた世界最先端のクリニカルシーケンスシステム「MSK-IMPACT」について、これを主導するMarc Ladanyi教授（米国Memorial Sloan Ketteringがんセンター）に講演いただきました。続いて行われたパネルディスカッションでは、Ladanyi教授のほか、臨床医の立場から順天堂医院呼吸器内科の高橋史行医師、カウンセラーの立場から田村智英子 胎児クリニック東京医療情報・遺伝カウンセリング室長、行政の立場から宮本大誠 医薬品医療機器総合機構 体外診断薬審査室長という立場の異なるパネリストにより、がん医療におけるクリニカルシークエンスの可能性と課題についての討論が行われました。クリニカルシーケンスががん治療に役立つだけでなく、広く医学研究に活用できるという期待とともに、検査の品質管理や結果解釈、二次的所見の取り扱いやカウンセリングの充実など、今後の課題についても活発な議論がなされ、クリニカルシーケンスを日常診療に導入する上での具体的な課題を共有することができました。





順天堂大学大学院医学研究科
人体病理病態学　**准教授　林 大久生**

「国際シンポジウムについて」

平成28年7月15日、順天堂大学がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン主催で国際シンポジウム「がん分野におけるゲノム医療実現に向けた取り組み～クリニカルシークエンスがもたらすがん医療の将来像と問題点」が開催され、ICT接続により連携大学にも配信されました。当日はニューヨークのMemorial Sloan Kettering Cancer CenterよりMarc Ladanyi先生をお招きし、癌関連遺伝子を網羅的に解析する MSK-IMPACT検査10,000例の臨床データに関しご講演を頂いた後、Marc Ladanyi先生、当院呼吸器内科の高橋史行先生、日米遺伝カウンセラーの田村智英子先生、医薬品医療機器総合機構の宮本大誠先生をパネリストに迎え、クリニカルシーケンスをテーマにパネルディスカッションを行い活発な議論が交わされました。日本でもクリニカルシーケンケンスが癌医療の個別化を促進していくと考えられますが、二次的所見の取り扱いや検査導入に必要な社会的基盤整備等、早急に解決すべき問題点を参加者全員が共有でき、極めて有益なシンポジウムとなりました。



9/3（土）4（日）開催

平成28年度　連携7大学FD研修会　報告

総括

立教大学　理学部物理学科　**教授　小泉 哲夫**

9月3・4日に開催されたFD研修会に参加しました。今回は最終年度を迎えた本事業の総括を行い、11月に行われる外部評価委員会で使用するスライド作成を目指すというものでした。このために教育分野、地域分野、研究分野、国際化分野の４つのワーキンググループを作り、それぞれのテーマについて事業成果をまとめる作業を行いました。私は教育分野のグループに参加させていただきました。普段は理学部物理学科に所属しているので、医学教育・がん教育からは少し離れた立場にいるのですが、今回のグループワークを通して本事業で様々な成果が上がっていることが実感できました。特に本事業の主題である、医薬理の連携・都市と地方の連携については、それぞれの違いを認識しつつ、共通の課題に対処することがICTを活用することでかなりできていると感じました。初日はグループワークの中間報告までで、その後、私は連携7大学運営連絡会（およびその後の交流会ーこれがまた楽しい会でした）に参加したので、発表スライドの完成には寄与できませんでしたが、2日目の全体発表会では各グループとも完成度が随分と高くなっていたので少し驚きました。今後、外部評価、最終報告とまとめ上げ、がんプロ第3期につながることを期待します。





教育分野

明治薬科大学　薬物体内動態学 PD　**井上 裕貴**

私は今回のFD研修で教育グループに参加し、がん医療教育の成果と課題、今後の展望について討論を行いました。社会に貢献できるがん教育とは何か、ということを考えさせられる討論となりました。また教育分野の達成目標であるがん医療教育の充実は、いくつか課題は残っているものの概ね達成できていると感じました。全体を通して、7大学が連携し問題の解決にあたることで難しい問題も乗り越えられることを実感できた研修会となりました。

Leading center for the development and research of cancer medicine



地域連携分野

順天堂大学　先導的がん医療開発研究センターPD
臨床検査医学　**関原 和正**

昨夏盛岡で開催されたFD研修会に続き、参加させて頂きました。「教育」、「地域」、「研究」、「国際化」の4グループに分かれ、中間評価で指摘された課題および今後の取り組みについて、非常に活発な議論が行われました。特にがんプロを通した山陰・東北における取り組みは非常に素晴らしいもので、大変感銘を受けました。さらに夜には高橋先生のご配慮で、意見交換会にて素晴らしい交流が出来ました。これからのがんプロの活動にたいへん有意義な合宿だったと思います。ありがとうございました。

研究分野

順天堂大学　先導的がん医療開発研究センター研究支援者
下部消化管外科　**非常勤助教　深谷 緑**

私は今年度下部消化管外科に採用していただき、がん研究に着手したばかり。今回の研修は「連携」を多彩なメンバーとのグループワークの中で実感し、がんプロの全体像を学ばせていただく得難い機会となりました。

グループワークでは、がんプロの活動は多くの画期的研究を生んできたものの、この成果が、実は外部には伝わりにくいことが明らかになってきました。活発に意見を出しあった結果、このギャップを埋めるには、大学間・分野間などの連携、ICT活用・循環型といった定性な評価基準を付して特長を可視化すること、また個々の研究課題を、各大学からだけでなく「がんプロ」としての統合的Webサイトから発信するなどの案が生成しました。さらに濃密な全体発表・総合討論も私にはexcitingなものでした。

異分野（生物学）での長い経験を活かしつつ、がん研究に微力を尽くしたいと改めて思いました。今後共どうぞよろしくお願い申し上げます。

国際化分野

順天堂大学　臨床腫瘍学　**大学院博士課程１年　清水 麗子**

今回の連携FD研修会は、がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン第2期、約4年半の総括の意味合いもある研修会でした。国際化分野では今までの成果として、がんプロが主体となって行ってきた海外研修やシンポジウム、海外からの講師の招請、またそれらから得られたものの社会への還元などが上がり、その活動が多岐に渡るものだということが実感される話し合いになりました。それと同時に今まで行ってきたことを、継続発展させていく取り組みが期待される分野であると感じました。

高校生病理セミナー

7/16(土)
開催

顕微鏡の世界 ―正常細胞とがん細胞の違い―

～顕微鏡で観る細胞の世界、一緒に覗いてみませんか～

順天堂大学　病理・腫瘍学講座　**助教　佐伯 春美**

平成28年7月16日（土）に第１回高校生セミナーが順天堂大学お茶の水キャンパス センチュリータワー地下1階形態系実習室にて開催されました。都内・東京近郊の中学校、高等学校から多数の参加希望を頂き、当日は約80名程度の中学生・高校生が参加しました。本セミナーは「がん教育」の一環として、がんプロフェッショナル養成基盤推進プランの後援を頂いております。病理・腫瘍学講座の樋野興夫教授による開会の挨拶、「がん教育」のお話しから始まり、順天堂大学練馬病院 病理診断科の小倉加奈子先生、順天堂大学浦安病院 病理診断科の橋爪茜先生、佐伯で、「がん」はどのような病気か、顕微鏡でがん細胞はどのようにみえるのか、診断をする際のプロセスを午前中に講義を行いました。午後は、当講座スタッフ、附属病院病理医の指導のもと、病理標本実習を行いました。

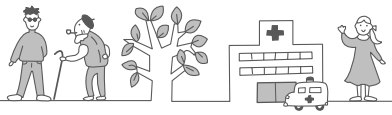


グループ毎に10種類の病理組織標本を顕微鏡で観察し、それぞれについて診断をしてもらう実習であり、中学生には難しい部分もあったかと思いますが、グループ内で意見を出し合い、まとめ、協力して診断をしている姿も見られ、参加者の積極性を感じました。通常では中学校や高等学校ではみることがないがん細胞を、実際に顕微鏡で観察し、診断を自分で考えてみることは貴重な経験となったことでしょう。総括では腫瘍内科学講座の加藤俊介教授に分子生物学も含むお話しを頂きました。

現在、文部科学省は「がんの教育総合支援事業」を展開しており、全国的にも青少年を対象とした「がん教育」が行われつつあります。そのような中、本セミナーは講義の他、実際に顕微鏡を覗いて目でみてもらう実習も行い、より実践的なセミナーとなるよう企画しました。セミナー後のアンケートでは、このような実習が出来るセミナーがもっとあって欲しいといった意見もあり、今後も今回のような実習を含むセミナーを継続的に開催していけたらと考えております。







Leading center for the development and research of cancer medicine

情報コーナー

報告　下記のとおり大盛況のうちに終了いたしました。ありがとうございました。

- **セミナー（鳥取大学）**「鳥取大学医学部附属病院がんセミナー」
  講師：鳥取大学医学部附属病院　胸部外科　村田 陽子 先生　他　2016年7月7日（木）18：15～20：00
- **がんプロ国際シンポジウム（順天堂大学）**
  「がん分野におけるゲノム医療実現に向けた取り組み～クリニカルシークエンスがもたらすがん医療の将来像と問題点～」
  講師：Chair in Molecular Oncology, Memorial Sloan-Kettering Cancer Center Marc Ladanyi, M.D.
  2016年7月15日（金）17：00～19：00　ICT接続により連携大学に配信
- **セミナー（順天堂大学）**高校生セミナー「顕微鏡の世界－正常細胞とがん細胞の違い－」
  講師：順天堂大学医学部　病理・腫瘍学　佐伯 春美 助教　他　2016年7月16日（土）9：30～16：00
- **ICT連携特別講義（鳥取大学）**「鳥取大学医学部附属病院がんセミナー」
  講師：Dr. Maria Zajac-Kaye, Associate Professor, Department of Anatomy and Cell Biology College of Medicine, University of Florida　他
  2016年7月20日（水）16：00～18：00　ICT接続により連携大学に配信
- **セミナー（鳥取大学）**「緩和ケアとは？」 話し手：島根大学医学部　緩和ケア講座　中谷 俊彦 教授　2016年7月21日（木）18：30～19：30
- **セミナー（順天堂大学）**「クローナル造血の臨床的意義」
  講師：MDアンダーソンがんセンター Assistant Professor 高橋 康一 先生　2016年7月26日（火）16：00～17：30
- **がんプロ研究シンポジウム（東京理科大学）**「がん治療における標的探索から臨床まで」
  講師：東京理科大学　薬学部　秋本 和憲 准教授　他　2016年7月30日（土）13：30～17：00
- **セミナー（鳥取大学）**「鳥取大学医学部附属病院がんセミナー」
  講師：鳥取大学医学部附属病院　耳鼻咽喉科　藤原 和憲 先生　他　2016年8月4日（木）18：15～20：00
- **セミナー（岩手医科大学）**臨床研究セミナー「臨床研究プロトコールの作り方　初心者、中級者を対象に」
  講師：国立がん研究センター中央病院日本臨床腫瘍研究グループデータセンター長　福田 治彦 先生　2016年9月2日（金）17：00～20：00
- **市民公開講座（岩手医科大学）**「知っ得、なっ得、乳がんの“いろは”」
  講師：岩手医科大学　外科学講座　小松 英明 助教　2016年9月10日（土）11：00～14：55（二部制）
- **ICT連携特別講義（東京理科大学・明治薬科大学）**「がんチーム医療における薬剤師」
  講師：千葉県こども病院薬剤部　浅子 恵利 部長　2016年9月13日（火）18：30～20：00　ICT接続により連携大学に配信
- **がんプロ地域シンポジウム（岩手医科大学）**「『地域連携における在宅がん医療』－がん緩和医療を中心に地域での取り組みを考える－」
  講師：岩手医科大学　緩和医療学科　木村 祐輔 教授　他　2016年9月21日（木）18：30～20：00　ICT接続により連携大学に配信

今後のスケジュール　詳細はHPに随時掲載します

- **がんプロ肺癌国際シンポジウム（岩手医科大学）**「地域から首都圏、そしてアジアまで俯瞰する肺がん研究 2016」
  講師：タイ王立マヒドン大ラマティボディ病院　医学部内科学臨床腫瘍学講座　Thanyanan Reungwetwattana 先生　他
  2016年10月20日（木）15：00～17：40　岩手医科大学創立60周年記念館９階第1講義室　ICT接続により連携大学に配信予定
- **講演会（岩手医科大学）**「頭頸部悪性腫瘍に使用される分子標的治療薬の実際－効果と副作用、臨床における役割と展望－」
  講師：国立がん研究センター東病院　頭頸部内科　岡野 晋 先生　他　2016年10月28日（金）18：30～20：30　岩手医科大学創立60周年記念館９階第1講義室
- **ICT連携特別講義（島根大学・鳥取大学）**「がんプロによって構築された地域連携と生涯教育の将来展望」
  講師：国立がん研究センター東病院　頭頸部内科　岡野 晋 先生　他　2016年11月16日（水）18：30～20：00　ICT接続により連携大学に配信
- **講演会（岩手医科大学）**「『大腸がんの予防』～内科的・外科的治療および予防法について～」
  講師：岩手医科大学　消化器内科消化管分野　川崎 啓祐 助教　他　2016年11月17日（金）16：00～18：30　岩手医科大学創立60周年記念館９階第2講義室
- **がんプロ市民公開シンポジウム（鳥取大学・島根大学　同日開催）**「がんと上手くつきあうために」
  2016年11月20日（日）時間未定　鳥取会場（国際ファミリープラザ）　島根会場（島根大学医学部附属病院みらい棟4階ギャラクシー）
- **ICT連携特別講義（岩手医科大学）**「（超）高齢者のがん医療の現状と課題（仮）」
  講師：島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　磯部 威 教授　他
  2016年11月22日（火）18：30～20：00　岩手医科大学創立60周年記念館9階第2講義室　ICT接続により連携大学に配信予定
- **市民公開講座（鳥取大学・島根大学　同日開催）**「緩和ケア講座・緩和ケアセンター市民公開講座」
  2016年11月23日（水・祝）時間未定　島根大学医学部　臨床講義棟
- **講演会（岩手医科大学）**腫瘍センター講演会「がんのゲノム医療実現に向けて」
  講師：東京大学大学院　新領域創成科学研究科　メディカル情報生命専攻　クリニカルシークエンス分野　松田 浩一 教授
  2016年11月29日（火）18：00～19：00　岩手医科大学創立60周年記念館９階第1講義室

編集後記

「高校生セミナー：顕微鏡の世界～正常細胞とがん細胞の違い～」で、10校から参加された生徒の『真摯な魂と輝く眼』には、大いに感動した。文京区教育委員会教育センター主催 平成28年度文京区立小学校教員対象講習会『小学校段階で必要ながん教育の在り方を考える』では、筆者は講演「『がん教育』～課題と展望～」の機会が与えられた。今後、『がん教育』は、全国の教育委員会でも、展開される予感がする。『がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン ＩＣＴと人で繋ぐがん医療維新プラン 平成28年度 連携ＦＤ研修会』に、参加した。作業部会「教育分野」・「地域分野」・「研究分野」・「国際化分野」の全体発表・総合討論は、「がん教育」・「多種間のチーム医療」・「地域医療連携システム」の、大いなる学びの時であった。

編集長・広報委員長 樋野 興夫

順天堂大学先導的がん医療開発研究センター
順天堂大学がん生涯教育センター
〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1
編　集　順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン　広報委員会
発　行　順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
http://ganpro-ict-plan.jp/index.html

7-3　ニュースレター第 19 号

順天堂大学
先導的がん医療開発研究センター

2016 第19号

Leading center for the development and research of cancer medicine

ニュースレター

岩手医科大学

肺がん国際シンポジウム

10/20（木）

地域から首都圏、そしてアジアまで俯瞰する肺がん研究 2016



岩手医科大学　内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野　**教授　山内 広平**

各大学（岩手医科大学、島根大学、鳥取大学、順天堂大学）の若手医師による研究発表について、各大学間に加えて、タイ：マヒドン大学の医師を交えて活発な討議があり、肺癌治療及び研究を行なっている若手医師に対する刺激と励みになったと考えられる。特別講演では、米国MDアンダーソンがんセンターの森川直人博士、及びタイ、マヒドン大学Thanyanan Reungwetwattana博士より最新の肺癌治療及び研究が示され、世界及びアジアの視点での肺癌治療の問題点について理解が深められた。今後の日本とタイの共同研究の成果に期待が持たれる。

島根大学　医学部内科学講座呼吸器・臨床腫瘍学　**助教　沖本 民生**

去る平成28年10月20日、岩手医科大学で肺癌国際シンポジウムが開催されました。まず、各大学から現在行っている臨床研究に関する発表が行われ、その後に国際共同研究に関するディスカッションが行われました。シンポジウムはICT接続により国内の連携大学に加え、タイのマヒドン大学にも配信され双方向の討議が行われました。予定時間を大幅に超過しても議論は続き、国際共同研究に対する期待・熱意が感じられました。

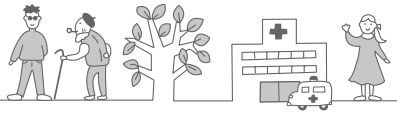
鳥取大学　医学部附属病院　第三内科診療科群　**助教　武田 賢一**

肺がんの研究は多岐にわたり、ハイボリュームセンターを中心にした多施設共同大規模臨床試験から、一般診療の中から新たな気づきを拾い上げ、確かめる個別の臨床研究まであります。今回我々の演題はその後者に当たるものです。研究はまだ始まったばかりで、十分なデータをお示しできませんでしたが、発表の機会を与えていただき、多くの先生に貴重なご意見をいただきましたことに感謝申し上げます。

順天堂大学　医学部内科学教室・呼吸器内科学講座　**助教　高 遼**

前半は参加各施設における肺癌に関する研究成果についての発表の他、森川直人先生からはMD Anderson Cancer Centerでの研究報告、Thanynan Reungwetwattana先生からはアジアにおける肺癌治療に関するレクチャーを頂きました。後半は日本とタイの共同研究「日本とタイにおけるEGFR遺伝子変異陽性肺癌患者の治療実態に関する観察研究」の実施に向けての議論を行い、近日中に開始できる見込みとなりました。





第５回 臨床研究研修合宿

10/29(土)、30(日) @ 順天堂大学

生物統計家とともに実現可能な本格的臨床研究プロトコールを作成しよう！

大阪大学　大学院医学系研究科　臨床統計疫学寄附講座

寄附講座准教授　山本 紘司

2016年10月29・30日にがんプロ臨床研究合宿が順天堂大学にて開催された。「生物統計家とともに実現可能な本格的臨床研究プロトコールを作成しよう！」というテーマのもと、研修生・チューターあわせて約60名の参加者があった。研修生もチューターも4つのグループに分かれ、2つのクリニカルクエスチョン（①化学療法中は生ものを避けなくてはならないというのは本当か？②腋窩郭清をした側の上肢に静脈注射をしてはいけないというのは本当か？）のうち1つを選び、それに答えるための臨床研究計画を立案するという実習を行った。今回は初めて各グループに生物統計家のチューターを1名配置した。研修生と同様に、チューターも何回も集まってはミーティングを行い、よりよい方向に導くためにはどのような介入を行えばよいか話し合った。こうして研修生もチューターも1つになり、最終的には各グループともすばらしい研究計画が発表された。このような経験はなかなかできるものではなく、参加者の将来に活かされる日が来ることを願っている。



岩手医科大学　外来化学療法室

主任看護師　澁谷 幸子

10月29日・30日に開催された「第５回臨床研究研修会」に参加させて頂きました。日頃の疑問から、「化学療法中は生ものを避けなくてはいけないというのは本当か?」の課題で、「生ものって、やっぱり寿司と刺身だよね。」という意見も全員が一致し、ユニークな展開となりました。分からないことは立ち止まり、納得できるように説明を繰り返し、笑いも絶えない状況でのグループワークでした。心の暖かいメンバーに恵まれ、楽しい２日間の研修でした。



東京理科大学　大学院薬学研究科

薬科学専攻修士課程　1年　**泉 祐毅**

今回の臨床研究研修会では、実現可能な本格的臨床研究プロトコールの作成というテーマで行われ、他職種の方々との盛んなディスカッションがとても印象的でした。特に患者さんの立場から臨床研究をデザインすることのむずかしさや重要性を強く感じる内容でした。また専門知識や価値観の異なる様々な職種の方々との交流は大変刺激的であり、他職種コミュニケーションの重要性も実感できたため、大変有意義な研修会となりました。

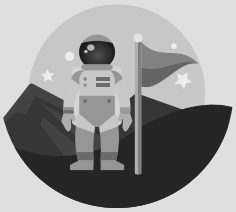


NASA宇宙飛行士との

宇宙服アートプロジェクト 2016



がんプロ共催企画



順天堂大学　大学院医学研究科　小児思春期発達・病態学
教授　清水 俊明

順天堂大学附属順天堂医院の小児科・思春期科には多くの小児がんの子ども達が入院しており、私達は病気に対する治療のみならずいかにして入院生活を楽しく、子どもらしく送ってもらうかを常に考えています。具体的には長期の入院を余儀なくされている子ども達、そしてその親御さんに対し、十分な遊びや娯楽、あるいは学習の機会を医師、看護師、CLS、保育士、心理士、栄養士、音楽療法士そしてボランティアの皆さんとともにチームで提供しています。

そんななかで先日（平成28年9月8日）、入院中の子ども達にとって夢のようなイベントが小児病棟で開催されました。順天堂大学と包括的協力協定を結んでいるMD Andersonがんセンターとアメリカ航空宇宙局（NASA）の共同企画により、入院中の子ども達が日本の女性で2番目のNASA宇宙飛行士として有名な山崎直子さんやアメリカのNASA宇宙飛行士であるNicole Stottさんらと一緒に、パッチワーク宇宙服を作る「宇宙服アートプロジェクト2016」が開催されたのです。

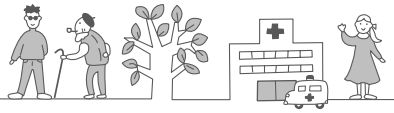
このプロジェクトは、入院中の子ども達が彩色した布でパッチワーク宇宙服を作り、この宇宙服を子ども達の夢とともにNASAの国際宇宙ステーションに届けるというものです。アメリカ最大のがんセンターであるMD AndersonがんセンターとNASAによって、毎年アメリカ国内で開催されていましたが、今年は国際宇宙ステーションを共同運営する日本、ロシア、カナダ、ドイツでも国際プロジェクトが企画されました。子ども達は山崎直子飛行士やNicole Stott飛行士と一緒にパッチワークの布に絵具で思い思いの色を塗って、沢山の個性的な作品を作りました。

最後に本企画を当初よりお手伝いいただいた田部陽子先生に心より御礼申し上げます。子ども達の夢を載せた宇宙服は、来年国際宇宙ステーションに向け飛び立ち、宇宙から帰ってきた後に再び順天堂医院に戻ってくる予定です。









Leading center for the development and research of cancer medicine

情報コーナー

報告

下記のとおり大盛況のうちに終了いたしました。ありがとうございました。

- **がんセミナー(鳥取大学)**「NSCLCにおけるラムシルマブの位置づけ」
  講師：鳥取大学医学部付属病院　第三内科　阪本 智宏 先生　他　2016年10月6日（木）18：15～20：00
- **がんプロ肺癌国際シンポジウム(岩手医科大学)**「地域から首都圏、そしてアジアまで俯瞰する肺がん研究　2016」
  講師：タイ王立マヒドン大学ラマティボディ病院　医学部内科学臨床腫瘍学講座　Thanyanan Reungwetwattana 先生　他
  2016年10月20日（木）16：00～18：40　ICT接続により連携大学に配信
- **講演会(岩手医科大学)**「病理診断」
  講師：東京大学大学院医学系研究科・医学部　人体病理学・病理診断学　深山 正久　2016年10月28日（金）18：00～19：00
- **講演会(岩手医科大学)**「婦人科がんに対する妊孕性温存治療の現状と課題」
  講師：慶應義塾大学医学部　産婦人科学教室　山上 亘 助教授　他　2016年11月1日（火）16：00～18：00　ICT接続により連携大学に配信
- **ICT連携特別講義(東京理科大学・順天堂大学)**「日本における医薬品開発の現状と課題、医薬品審査の観点から」
  講師：（独）医薬品医療機器総合機構 新薬審査第五部 審査専門員　柴田 憲広先生
  2016年11月11日（金）18：30～20：00　ICT接続により連携大学に配信
- **ICT連携特別講義(島根大学・鳥取大学)**「がんプロによって構築された地域連携と生涯教育の将来展望」
  講師：鳥取大学医学部附属病院医療スタッフ研修センター認定看護師育成支援室　深田 美香 先生
  2016年11月16日（水）18：30～20：00　ICT接続により連携大学に配信
- **講演会(岩手医科大学)**「『大腸がんの予防』～内科的・外科的治療および予防法について～」
  講師：岩手医科大学　消化器内科消化管分野　川崎 啓祐 助教　他　2016年11月17日（木）16：00～18：30　ICT接続により連携大学に配信
- **がんプロ市民公開シンポジウム(鳥取大学・島根大学　同日開催)**　2016年11月20日（日）
  「がん患者を支える」13：00～17：00　鳥取会場（国際ファミリープラザ）、
  「がんと上手くつきあうために」13：00～16：00　島根会場（島根大学医学部附属病院みらい棟4階ギャラクシー）
- **ICT連携特別講義(岩手医科大学)**「高齢者のがん薬物療法の現状と課題」
  講師：島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　礒部 威 教授　他　2016年11月22日（火）18：00～20：00
  ICT接続により連携大学に配信
- **市民公開講座(鳥取大学・島根大学　同日開催)**「緩和ケア講座・緩和ケアセンター市民公開講座」
  2016年11月23日（水・祝）13：00～16：00
- **講演会(岩手医科大学)**　腫瘍センター講演会「がんのゲノム医療実現に向けて」
  講師：東京大学大学院　新領域創成科学研究科　メディカル情報生命専攻　クリニカルシークエンス分野　松田 浩一 教授
  2016年11月29日（火）18：00～19：00　ICT接続により連携大学に配信
- **がんプロ肺癌国際シンポジウム(岩手医科大学)**「今後の国際共同試験のあり方について」
  講師：東北大学医学部　産婦人科学教室　島田 宗昭 准教授　他　2016年11月30日（木）15：00～18：00　ICT接続により連携大学に配信
- **研究を楽しむためのセミナー2016(順天堂大学)**
  「Updated Fluid-Mosaic Membrane Model and the Use of Membrane Lipid Replacement for Chronic Illnesses and Cancer」
  講師：Garth L. Nicolson, Ph.D. Founder, President, Chief Scientific Officer and Emeritus Professor of Molecular Pathology The Institute for Molecular Medicine
  2016年12月12日（月）11：00～12：00　ICT接続により連携大学に配信
- **講演会(岩手医科大学)**「若年乳がん患者における妊孕性の温存」
  講師：順天堂大学医学部附属浦安病院産婦人科　菊地 盤 准教授　他　2016年12月15日（木）18：00～19：00　ICT接続により連携大学に配信

今後のスケジュール

詳細はHPに随時掲載します

- **研究を楽しむためのセミナー2016(順天堂大学)**「Understanding human disease pathogenesis using genomics approaches」
  演者：Murim Choi, PhD Assistant Professor, Seoul National University
  2017年1月20日（金）18：30～20：00　順天堂大学センチュリータワー北4F406教室　ICT接続により連携大学に配信
- **腫瘍センター講演会(岩手医科大学)**「がん薬物療法の曝露対策の現状と課題」
  講師：岩手医科大学　薬学部研修・教育部門主任薬剤師　佐藤 淳也 先生　他
  2017年1月30日（月）18：00～19：45　岩手医科大学創立60周年記念館9階 第2講義室　ICT接続により連携大学に配信

編集後記

市民公開講演会（対馬市交流センターに於いて）で、講演『医療の協働体 ～Medical Villageの時代に向けて ～』の機会が与えられた。筆者にとって、対馬は、初めての訪問であった。将来構想で、話が盛り上がった。第３回リンチ症候群研究会『シンポジウム～故 Knudson博士追悼シンポジウム～』（順天堂大学に於いて）が開催された。大いに勉強になった。まさに『純度の高い専門性』の学びであった。『小さなことに、大きな愛をこめて』の日々の鍛錬である。

編集長・広報委員長 樋野 興夫

順天堂大学先導的がん医療開発研究センター
順天堂大学がん生涯教育センター
〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1　http://ganpro-ict-plan.jp/index.html
編　集　順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン　広報委員会
発　行　順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

7-4　ニュースレター第 20 号

順天堂大学
先導的がん医療開発研究センター

2017 第20号

Leading center for the development and research of cancer medicine

ニュースレター

「ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン 5年間のまとめ」

事業推進代表者

順天堂大学
学長　**新井 一**

Juntendo University



Arai Hajime

「本プランをふり返って　～がん医療・研究への貢献～」

がんは、日本における死因第1位の疾患であり、国民にとって重大な問題となっています。平成18年に制定された「がん対策基本法」において、がん医療に携わる専門的な医師や医療従事者の育成が求められ、これを受けて文部科学省が「複数の大学が個性や特色・得意分野を活かしながら相互に連携・補完して教育を活性化し、がん専門医療人養成のための教育拠点を構築すること」を目的として、「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」を平成24年度から実施し、全国で15拠点が選定されました。本プランはその中の一つであり、「ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン」をプログラム名に、順天堂大学、島根大学、鳥取大学、岩手医科大学、東京理科大学、明治薬科大学、立教大学が連携して5年間にわたって活動してきました。医学・薬学・理学・工学連携による多学的な研究の促進は、現場へのがん研究の成果の迅速かつ効率的な導入に繋がり、研究成果を速やかに地域がん医療に還元することを可能にしました。また、地域と首都圏の間で様々な交流を行い、がんの診療現場のニーズを共有することで、シーズが生まれ、がん診療を実践する専門医療職が先導的がん医療の開発現場に関わることで、臨床試験、創薬、バイオマーカー検索に携わることが可能となり、新薬の開発が加速する等、我が国のがん医療の均てん化と底上げに貢献できたと思います。

「ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン ５年間のまとめ」

事業推進責任者

順天堂大学　医学部長
大学院医学研究科長　**代田 浩之**

Juntendo University

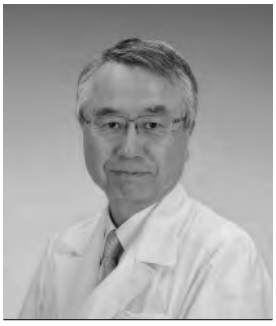

Daida Hiroyuki

これまで、がん医療人は各々の専門性は高いものの、工学、理学、薬学との連携あるいは基礎と臨床の交流は盛んとは言えず、専門性の高い技術が医療の現場に効率良く還元されていない可能性がありました。また、地域においては既に地域内診療ネットワークや研究基盤が整備され、運用されているところがあるものの、首都圏の基礎・臨床研究拠点である先導的がん医療開発拠点とのネットワーク整備は不十分でありました。そこで本プランでは、本学及び連携医科系大学と非医科系大学をICTと循環型人材交流で結び、地域から世界まで、さらに基礎から臨床まで俯瞰するがん研究者・医療人の養成を目的として活動してきました。順天堂大学に先導的がん医療開発研究センターを新設し、順天堂大学、島根大学、岩手医科大学に各々がんに特化した講座を新設しました。これらを拠点として連携大学及び最先端の研究を行っている国内外の研究施設と協力し、世界に発信する研究者ならびに研究指導者の養成を目指しました。地域と首都圏をICTと人材交流で結び、首都圏の臨床・研究拠点を核として研究力、教育力を備えたがん医療者の養成とがん医療の均てん化を同時に実践した本プログラムは、まさに「がん医療維新プラン」であったと思います。

統括コーディネーター

順天堂大学　大学院医学研究科　呼吸器内科学
教授　**髙橋 和久**

Juntendo University


Takahashi Kazuhisa

本プランでは、順天堂大学、岩手医科大学、島根大学、鳥取大学、東京理科大学、明治薬科大学、および立教大学が連携して、地域から世界まで、さらに基礎から臨床まで俯瞰するがん研究者・医療人の養成を目的として活動してきました。その中心は本学に整備した先導的がん医療開発研究センターであり、医・理・薬学部との連携強化と実質化を図り、山陰と東北の地域内診療ネットワークと首都圏のがん医療開発拠点との新たな連携を推進してまいりました。地域、首都圏だけでなく海外(タイ)をICTで結び、さらに循環型人材交流を行いました。年に各1回、FD研修会と臨床研究合宿を行い本事業の進捗状況を確認しつつ、多職種によるチーム医療研修、共同研究が実施できる人材養成も行ってきました。その結果、高いコミュニケーション能力を持ち自ら行動できる医師、メディカルスタッフが数多く育ちそれぞれの職場に戻っていきました。本拠点はがんプロの15拠点の中でも最も広域であり、当初事業の目標到達が危惧されましたが、センターを中心に、各大学をICTと人の循環で繋いだ結果、予想以上の成果を得ることができました。うれしい限りです。本事業にご参加いただいたすべての方に感謝申し上げるとともに巣立っていった真の「がんプロフェッショナル」が臨床、研究の現場で活躍してくれることを願っています。みなさん、またお会いしましょう！

コーディネーター

島根大学　医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学
教授　**礒部 威**

Shimane University


Isobe Takeshi

島根大学では、鳥取大学と連携し山陰地区において「地域貢献」を2期がんプロのミッションとし、がんに関する専門的医療人の生涯教育と、患者ならびに地域住民への啓発事業を進めてきた。医療人育成では、大学院「地域がん専門医育成コース」、インテンシブコース「山陰がん認定医療スッタフ育成コース」を設定し5年間に大学院6名、インテンシブコース60名を養成した。ICTを用い、山陰両県にまたがる41施設の連携事業として、テレビカンファレンスによる教育セミナーを毎年開催し、生涯教育の実践に努めてきた。がん治療認定医、がん薬物療法専門医、がん薬物認定薬剤師資格取得し、地域の病院診療に貢献する者も出てきた。今後も地域で活躍できる人材のサポートをしていく。また、連携大学事業「臨床研究研修会（合宿）」にて作成したプロトコールをきっかけに共同研究を企画し、東京理科大学・順天堂大学と連携して解析を進め、論文投稿に至っている。また、「がん教育」への取り組みとして、小学生の病院見学の受入と小学校教員との連携を開始した。また、がん患者、家族の支援するために、「神在の国メディカルカフェ」「患者さんと家族のためのセミナー」を開催することで、双方向的なコミュニケーションが実現している。

コーディネーター

鳥取大学　医学部附属病院　がんセンター　センター長
教授　**辻谷 俊一**

Tottori University


Tsujitani Shunichi

本学では、平成24年度より『がん化学療法看護認定看護師教育課程』を開講し、平成24年度受講生7名全員、平成25年度受講生9名中8名が認定試験に合格した。平成26年度から『乳がん看護認定看護師課程』を開講し、平成26年度受講生4名中3名、平成27年度受講生3名中2名が認定試験に合格した。平成28年度は『がん化学療法看護』課程を再開し、6名が受講中である。平成27年度からは『がん看護専門看護師養成課程』を開講し、平成27年度1名、平成28年度1名が入学した。また、島根大学と『山陰がん認定医療スタッフインテンシブコース』を開講し、近隣のがん拠点病院とICTで繋ぐ毎月の「がんセミナー」、年1回の「夏季セミナー」、定期的な海外研修などを行い、連携大学とのICTカンファレンスを活用して専門的がん医療人を育成した。在宅医療を促進する「中海緩和ケア研究会」、がん拠点病院の「院内がん登録研修会」などで地域のがん医療環境を整備し、「鳥取県がんフォーラム」「がんセンター市民公開講座」など数十人から数百人規模の講演会を繰り返し開催して住民にがん情報の普及啓発をはかり、あわせて連携大学との人材交流を促進した。

コーディネーター

岩手医科大学　医学部病理診断学講座
教授　**菅井 有**

Iwate Medical University


Sugai Tamotsu

第2期がんプロの補助事業としてこれまで、1）本学単独事業、2）連携大学共同事業、3）がん診療連携拠点病院・腫瘍センターとの連携事業、の3つの分野について取り組んできました。本学単独事業としては、大学院修士及び博士課程に「緩和ケア医療学」を設置したのに加え、「先導的がん臨床研究に精通した医療人養成コース」も設置しました。「緩和医療学科」、「放射線腫瘍学科」についても本学大学院に研究科目を設置し、これらの領域における研究、教育、人材育成に貢献しました。さらに多くの各種講演会・国際シンポジウム、臨床研究セミナー等が開催されました。これらの講演会はICTによって連携大学に中継され、熱心に討論ができ連携大学の絆も深まったものと思います。連携大学共同事業はICTにより連携校に配信され、最新のがん診療の知識を得ることができました。また短期ではありましたが、国外の施設（MDアンダーソンがんセンター）への視察もでき、連携大学に多くの知見を与えていただきました。またe-learningはICTを通じた未来型の学習環境に最適なもので、今後のプラットホームの完成が期待されるところです。一方TVカンファランスによる連携大学間の共同カンファランスは実務の上でも得るものが多かったことから、今後の発展が望まれます。がん診療連携拠点病院・腫瘍センターとの連携事業においてはキッズキャンサーセミナー・高校生キャンサーセミナーを実施できました。子供たちや学生たちにがんについての知識を提示できたことは本県のがん教育においても極めて有用です。さらに「緩和ケアテレカンファランス」・「合同キャンサーボード」・「がん登録研修会」もがんプロ共催で行うことができたことも本県のがん医療にとって大いに貢献できたものと思われます。本学において第2期がんプロは多くの知見、有意義な経験を残してくれました。加えて岩手県のがん診療においても将来に多くの遺産を残してくれました。これまでご支援をいただいた主幹校の順天堂大学をはじめとして連携大学の皆様にこの場を借りて厚く御礼を申し上げます。

コーディネーター

東京理科大学　薬学部　生命創薬科学科
教授　**深井 文雄**

Tokyo University of Science


Fukai Fumio

7大学連携の表記の取組みにおいて、本学はがん創薬研究者養成を目的とした活動を行ってきた。大学院修士課程の学生を対象に設定した「がんシステム・創薬研究者養成コース」においては、①制がん剤の作用機序を細胞内シグナル伝達系の集積による「システム的統合」として捉え、②がん分子標的薬開発を標的タンパク質の立体構造情報に基づいて理論的に創薬する「in silico創薬」を理解できる人材の養成のための教育・研究活動が行われた。本コースには5年間で45名の学生が参加し、修士課程での研究活動と併せて、国際学会を含めて91件の学会発表が行われると共に、欧文学術雑誌に8報の論文が発表される等の大きな成果に繋がった。

また、がん関連の講演会や連携大学ICT特別講義などを積極的に企画・担当したが、それらに加えて「臨床研究チーム合宿」への積極的な参加は特筆すべきで、本学からは計63名もの学生が多施設・多職種チームによる研究プロトコル作成を体感した。本合宿で採択されたプロトコルが土台となって、島根大学、順天堂大学との共同研究がスタートし、複数の学会で共同発表するまでの成果が挙げられたことも大きな意義であったといえる。

「ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン 5年間のまとめ」

コーディネーター

明治薬科大学　副学長／薬物治療学
教授　**越前 宏俊**

Meiji Pharmaceutical University


Echizen Hirotoshi

本学は順天堂大学医学部のリーダーシップの元に文部科学省の「ガンプロフェッショナル養成基盤助成事業」に通算2期10年間に渡って参加した。この10年は薬学教育が6年制に移行し、薬剤師教育が医療指向性の高いものに変貌する時期と重なり、がんプロ事業への参加は大学内の医療薬学教育、とりわけ「がん医療」に関わる薬剤師の役割を学内に周知し、教員と大学院生を巻き込んだ教育変革を起こす大きな原動力となった。第2期の5年間を振り返って、最も印象に残るのは恒例の多職種合同ＦＤ研修会を通じた人的交流である。東北、山陰、東京と3拠点を巡りながら、地方と都市におけるがん医療の異なる問題を知り、解決に向けた真剣な討議にチューターとして参加できたことは、教員としての自己研鑽の意味でも大きな意義があったと考えている。また、順天堂チームの特徴であるICTを利用した遠隔講義は本学の大学院生と教員に大変好評であり多くの参加者を動員できた。ささやかながら、本学からもICT講義を毎年発信出来たことはコーディネーターとして幸いであった。第３期は異なるテーマで船出されると思うが、順天堂チームの医療維新がこれまで以上に推進されて行く事を祈念して止まない。

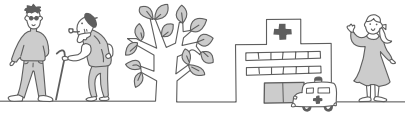
コーディネーター

立教大学　理学研究科物理学専攻
特任准教授　**洞口 拓磨**

Rikkyo University


Horaguchi Takuma

立教大学では、がんプロフェショナル養成基盤推進プラン「ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン」のもと、放射線の本質を理解し最先端の放射線計測技術の成果を臨床現場のニーズに合わせて活用できる能力を有する医学物理研究者及び医学物理士の養成を目的として、理学研究科博士後期課程の学生を対象に「医学物理研究コース」を設置しました。現在は、上記入学者のうち2名が無事コースを修了し、それぞれ医学物理研究者及び医療機関での医学物理士として活躍しています。また、本コースの設置を通じて、本拠点におけるICTの活用とFace to Faceの循環型交流の特徴を活かしながら、複数の共同研究プロジェクトを立ち上げることが出来ました。更に、本コースの発展的継続として「医学物理学副専攻」を本学理学研究科に設置し、がんプロ終了後も引き続き医学物理教育を推進していくことが決定しています。本学は、非医科系大学であり理工系学部としての立場ではありましたが、本拠点の特徴である地理的にも分野的にも広域に渡る連携を通して非常に貴重な経験をさせて頂きました。本プロジェクトを遂行するにあたり、順天堂大学をはじめとする連携校の皆様方には様々なご助力、ご指導を頂きましたことをこの場を借りて心より御礼申し上げます。



Leading center for the development and research of cancer medicine

情報コーナー

報告　下記のとおり大盛況のうちに終了いたしました。ありがとうございました。

● **がんセミナー（鳥取大学）**

「経口ＦＸの阻害剤　リクシアナ錠のＶＴＥ領域における有効性について」
講師：鳥取大学医学部附属病院　第二内科　武田 洋平　先生　他
2017年1月5日（木）18：15～20：00

● **研究を楽しむためのセミナー2016（順天堂大学）**

「Understanding human disease pathogenesis using genomics approaches」
講師：Murim Choi, Ph.D. Assistant Professor, Seoul National University
2017年1月20日（金）18：30～20：00
ＩＣＴ接続により連携大学に配信

● **腫瘍センター講演会（岩手医科大学）**

「がん薬物療法の曝露対策の現状と課題」
講師：岩手医科大学　薬学部研修・教育部門主任薬剤師　佐藤 淳也　先生　他
2017年1月30日（月）18：00～19：45
ＩＣＴ接続により連携大学に配信

● **トランスレーショナルリサーチセミナー（島根大学）**

講師：島根大学医学部内科学講座　呼吸器・臨床腫瘍学　礒部 威　教授　他
2017年1月30日（月）17：30～21：00

編集後記

『文部科学省 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 平成28年度全国がんプロ教育合同フォーラム』（東京大学山上会館に於いて）に出席した。日々勉強である。まさに「がん医療の新たな課題に対応」出来る「がん専門医療人材の育成」である。大政奉還150周年記念に相応しい「医療維新」となろう。

長野県東御市 健康保健課主催の『がん哲学外来カフェ ～樋野興夫教授による参加者との対話～』・『がん哲学外来シンポジウム：がん哲学外来へようこそ～ことばの処方箋～』に招待された。健康保健課長の司会のもと 東御市民病院外科部長・北御牧中学校長・東御市長 とのパネルディスカッションは、大変有意義な一時であった（信濃毎日新聞 2017年1月27日付け）。東御市教育委員会編『学校現場から生まれた副読本：日本初！まんがで知る「がん哲学」教育：「がん」の話～知る・出会う・向き合う～』が、今春に、発行されるとのことである。筆者は『監修』の役目を頂いている。時代の大きな流れを感ずる。

前橋市教育委員会 生涯学習課 中央公民館での講演会『がん哲学外来について』に招かれた。会場は、400人以上の参加があり、満員であった。『上毛カルタ』について語った。『「こ」＝心の燈台 内村鑑三』、「「へ」=平和の使徒 新島襄」』は、筆者の若き日から、暗記し親しんだものである。群馬の誇りであろう。



第２次がんプロ（5年間）は、今回で終了である。第1次、第２次と10年続いた。第３次がんプロの継続も決定された。まさに、『沈黙の春』の最終章17章「べつの道」第1行「私たちは、いまや分かれ道にいる」である。新規の公募・採択に向けて、階段を登り、version upを図り、身長が伸びたと思えるものを、「速効性と英断」で「賢明な寛容」を持って、「時代の事前の軛取り」となるものを企画・展開したいものである。学是である「不断前進」の覚悟である。『見あげれば、必ずどこかに青空』があろう。

編集長・広報委員長 樋野 興夫

順天堂大学先導的がん医療開発研究センター
順天堂大学がん生涯教育センター
〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1

編　集　順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン　広報委員会
発　行　順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
http://ganpro-ict-plan.jp/index.html

第４編

各委員会議

1. 運営連絡会

1-1　がんプロ連携 7 大学運営連絡会（28-1）

(1) 日時・場所

開催日時：平成 28 年 4 月 26 日（火）14：15～

開催場所：順天堂大学　本郷・お茶の水キャンパス　センチュリータワー北棟 4 階 406 教室

(2) 議題

１．全国がんプロ協議会 協議会総会(H28.5.19)の開催について

２．全国がんプロ協議会 市民公開シンポジウム(H28.6.11)について

３．平成 28 年度補助金調書の提出について

４．平成 27 年度実績報告の提出について

５．平成 26 年度実績報告への疑義照会について

６．平成 28 年度外部評価委員会について

７．先導的がん医療開発研究センターからの報告について

８．各連携大学からの連絡事項（シンポジウム等の開催情報）

1）島根大学　　［終了報告１件］［開催連絡２件］

2）鳥取大学　　［開催連絡１件］

3）岩手医科大学　［終了報告１件］［開催連絡１件］

4）東京理科大学　［開催連絡１件］

5）明治薬科大学　［終了報告１件］［開催連絡１件］

6）立教大学　　［終了報告１件］［開催連絡１件］［その他１件］

7）順天堂大学　　［終了報告１件］［開催連絡２件］［その他１件］

９．その他

1-2　がんプロ連携7大学運営連絡会（TV会議）（28-2）

(1) 日時・場所

開催日時：平成28年6月21日（火）14：15～

開催場所：各大学内会場

(2) 議題

１．全国がんプロ協議会 協議会総会(H28.5.19)について

２．全国がんプロ協議会 市民公開シンポジウム(H28.6.11)について

３．平成28年度 交付申請書の提出について

４．FD研修会(H28.9.3,4)について

５．平成28年度外部評価委員会(H28.11.10)について

６．先導的がん医療開発研究センターからの報告について

７．各連携大学からの連絡事項（シンポジウム等の開催情報）

1）島根大学　　[終了報告3件][開催連絡6件]

2）鳥取大学　　[終了報告2件][開催連絡1件]

3）岩手医科大学　[終了報告1件]

4）東京理科大学　[終了報告1件][開催連絡1件]

5）明治薬科大学　[終了報告1件]

6）立教大学　　[終了報告1件][その他1件]

7）順天堂大学　　[開催連絡1件][その他2件]

８．その他

1-3　がんプロ連携7大学運営連絡会（28-3）

(1) 日時・場所

開催日時：平成28年9月3日（土）18：00～

開催場所：順天堂大学　本郷・お茶の水キャンパス　センチュリータワー北棟3階306教室

(2) 議題

1．第5回 臨床研究研修会(H28.10.29,30)について

2．平成28年度外部評価委員会(H28.11.10)について

3．先導的がん医療開発研究センターからの報告について

4．各連携大学からの連絡事項（シンポジウム等の開催情報）

1）島根大学　　［終了報告1件］［開催連絡6件］

2）鳥取大学　　［終了報告3件］

3）岩手医科大学　［終了報告1件］［開催連絡9件］

4）東京理科大学　［終了報告1件］［開催連絡1件］［その他1件］

5）明治薬科大学

6）立教大学

7）順天堂大学　　［終了報告2件］［その他2件］

5．その他

1-4　がんプロ連携7大学運営連絡会（28-4）

(1) 日時・場所

開催日時：平成28年11月10日（木）外部評価委員会終了後

開催場所：順天堂大学　本郷・お茶の水キャンパス　センチュリータワー北棟3階306教室

(2) 議題

1．平成28年度補助金交付請求書の提出について

2．臨床研究研修会について（終了報告）

3．外部評価委員会について

4．平成28年度養成実績調査について

5．平成28年度がんプロ事業成果調査について

6．平成28年度全国がんプロ合同フォーラムについて

7．先導的がん医療開発研究センターからの報告について

8．各連携大学からの連絡事項（シンポジウム等の開催情報）

1）島根大学　　［終了報告2件］［開催連絡5件］

2）鳥取大学　　［終了報告3件］［開催連絡1件］

3）岩手医科大学　［終了報告6件］［開催連絡6件］

4）東京理科大学　［終了報告2件］［開催連絡1件］

5）明治薬科大学

6）立教大学　　［その他1件］

7）順天堂大学　　［開催連絡1件］

9．その他

・第3期がんプロについて

1-5　がんプロ連携 7 大学運営連絡会（28-5）

(1) 日時・場所

開催日時：平成 29 年 1 月 24 日（火）全国がんプロ協議会 合同フォーラム 終了後

開催場所：順天堂大学　本郷・お茶の水キャンパス　センチュリータワー北棟 4 階 405 教室

(2) 議題

１．全国がんプロ協議会 合同フォーラムについて

２．外部評価委員会 評価結果について

３．全国がんプロ事業成果調査について

４．交付請求書の提出について

５．平成 27 年度がんプロ事業における実績報告書への疑義照会について

６．平成 29 年度カリキュラムについて（連携大学 ICT 特別講義）

７．先導的がん医療開発研究センターからの報告について

８．各連携大学からの連絡事項（シンポジウム等の開催情報）

1）島根大学　　［終了報告４件］［開催連絡４件］

2）鳥取大学　　［終了報告６件］

3）岩手医科大学　［終了報告６件］［開催連絡２件］

4）東京理科大学　［終了報告１件］

5）明治薬科大学　［開催連絡１件］

6）立教大学

7）順天堂大学　　［その他１件］

９．その他

・第３期がんプロについて

1-6　がんプロ連携 7 大学運営連絡会（TV 会議）（28-6）

(1) 日時・場所

開催日時：平成 29 年 3 月 14 日（火）14：15～

開催場所：各大学内会場

文部科学省　平成 24 年度
「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」選定事業

平成28年度活動報告書

発行：順天堂大学先導的がん医療開発研究センター
順天堂大学がん生涯教育センター
東京都文京区本郷 2-1-1

許可なく転載・複製を禁じます。